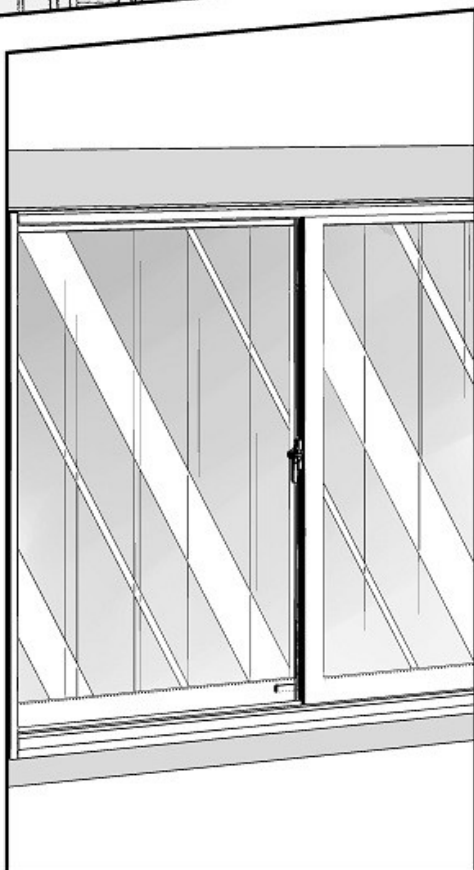
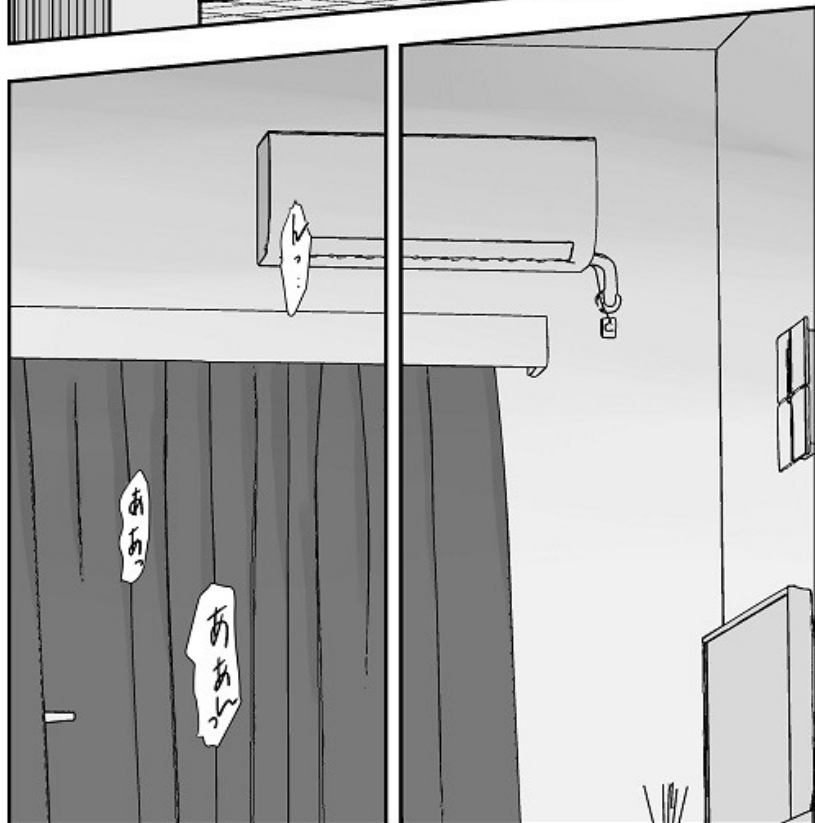
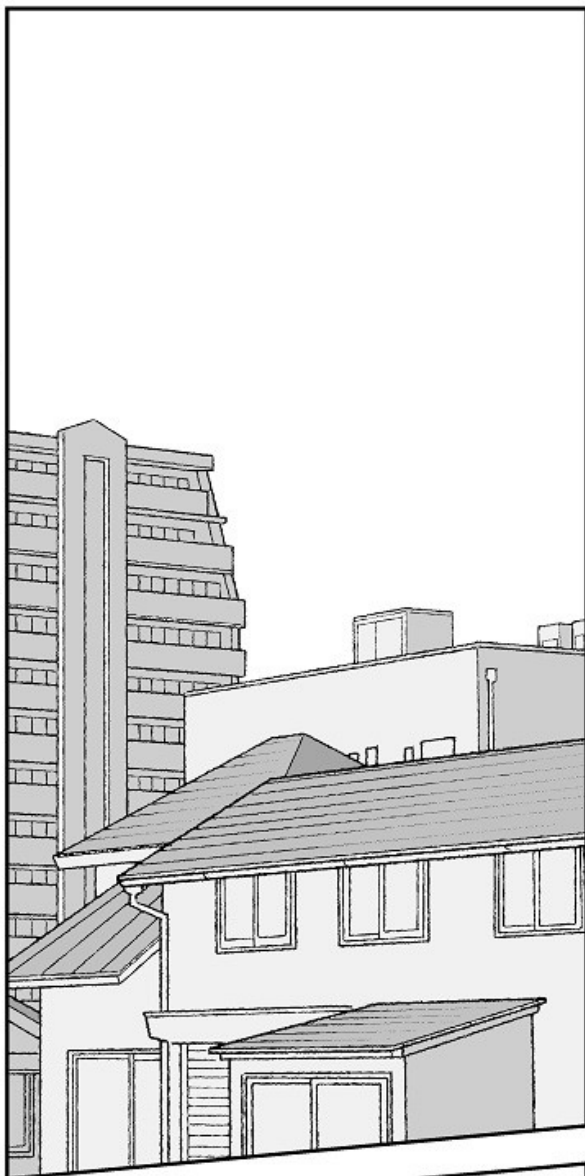
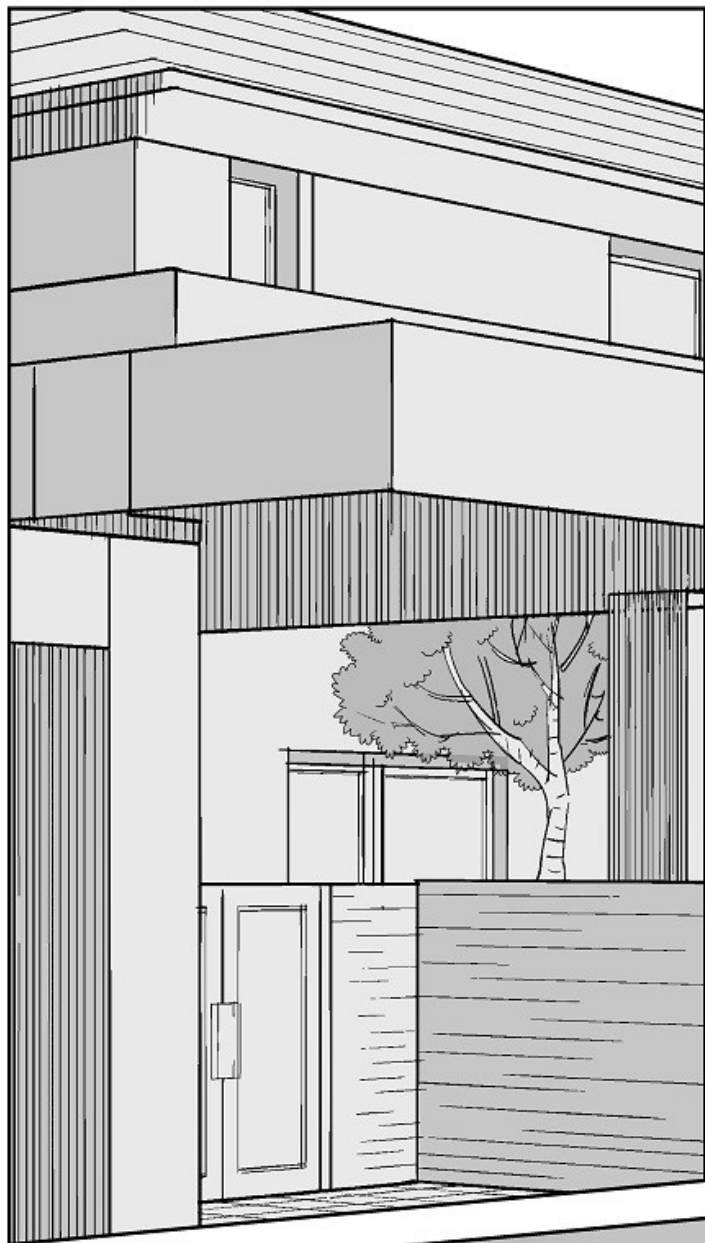
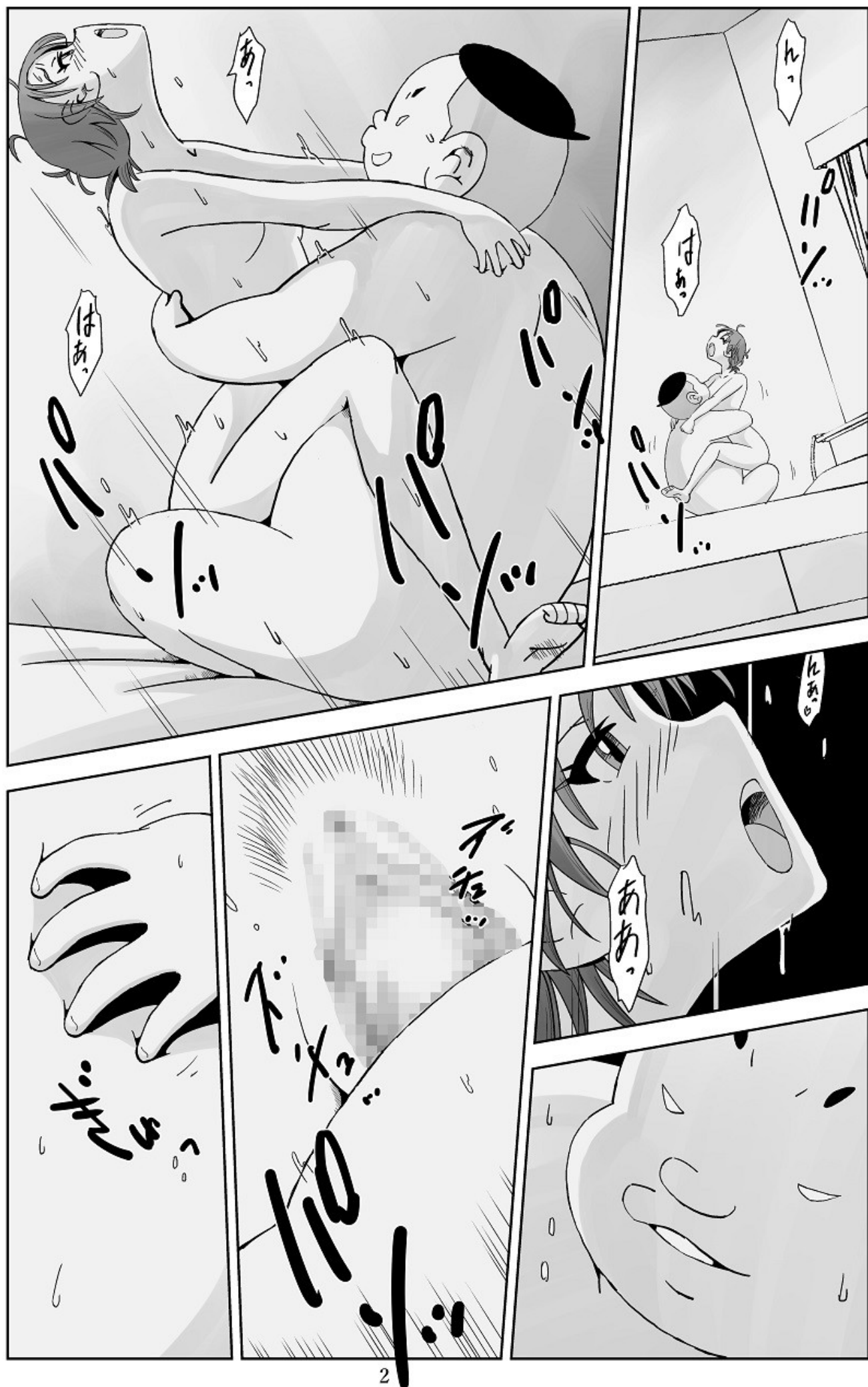
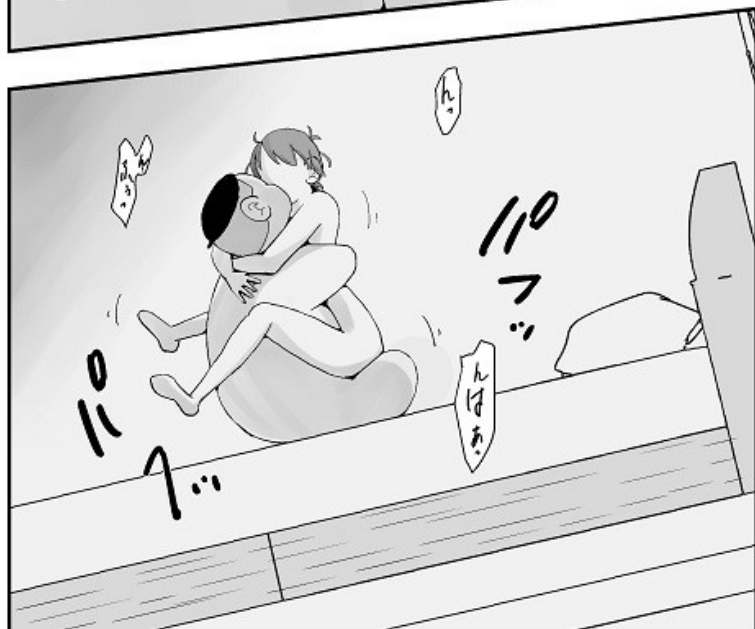
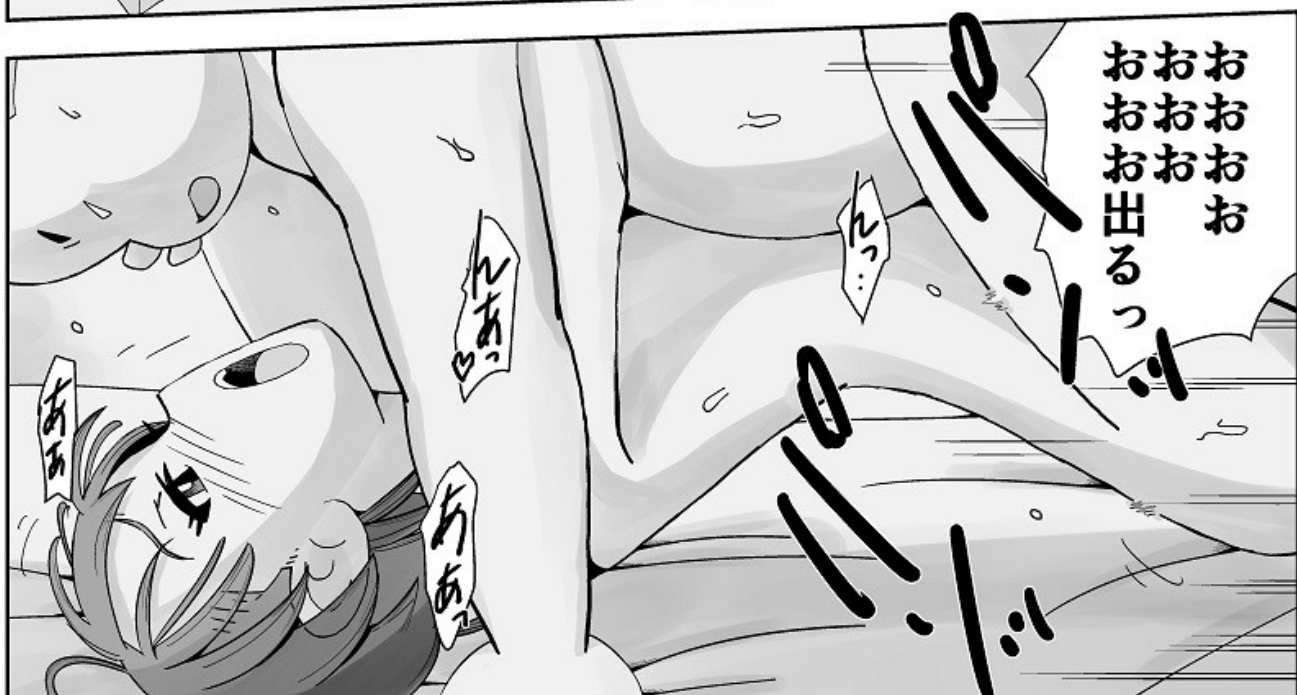
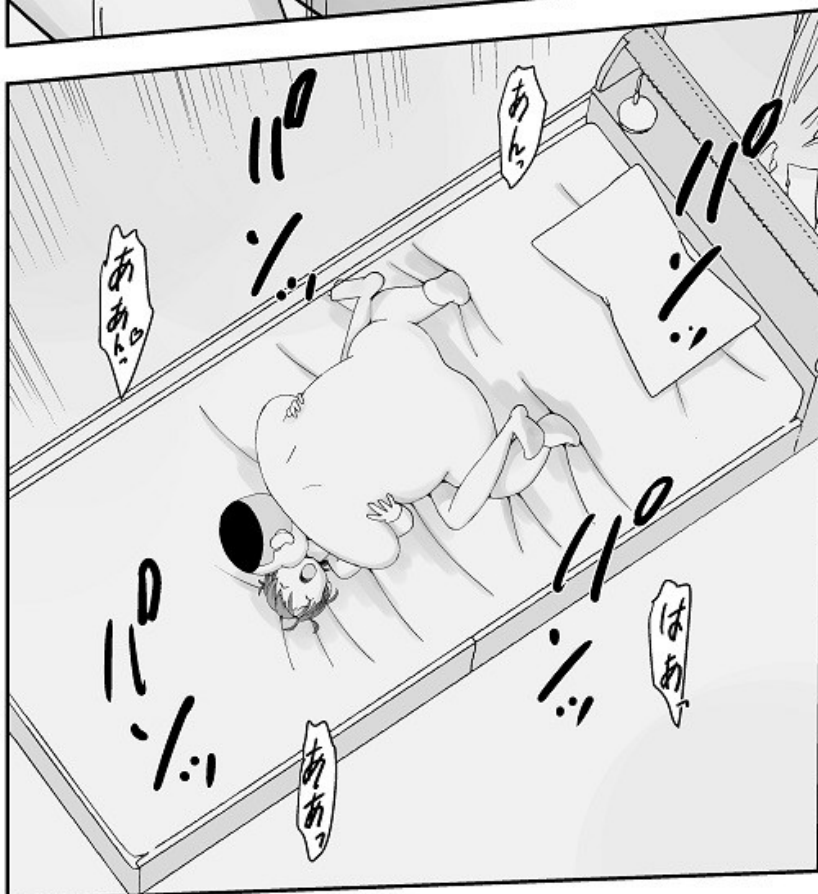




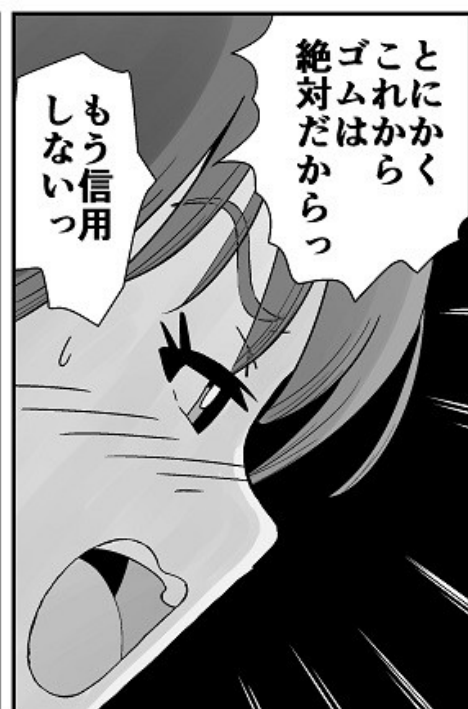










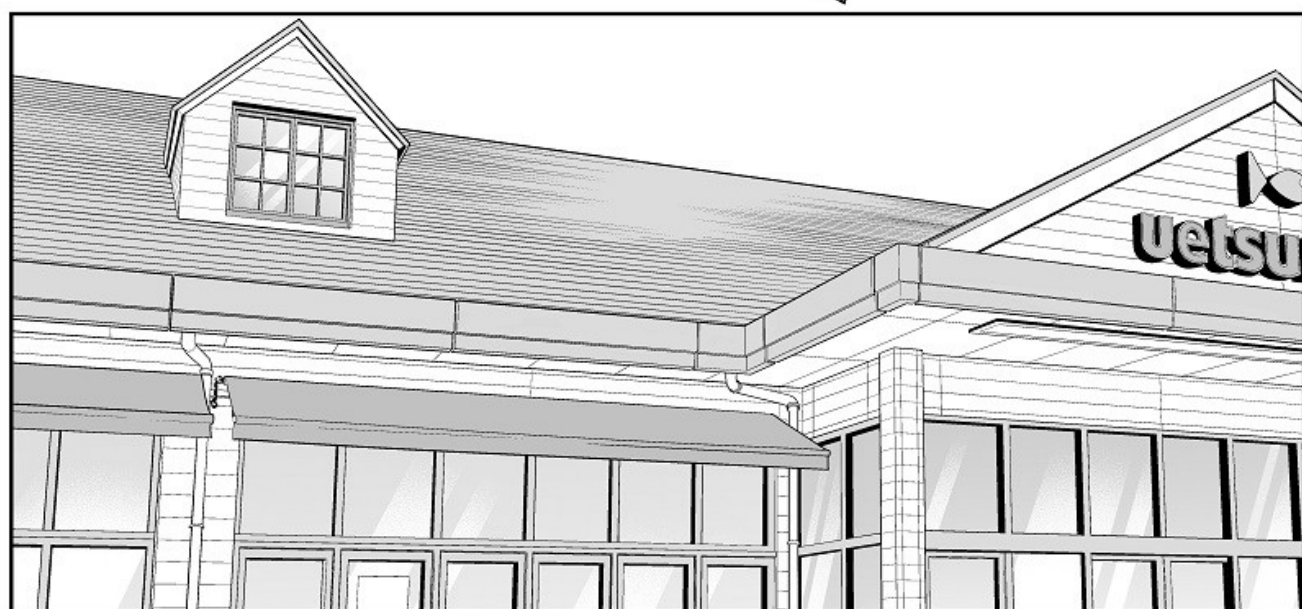


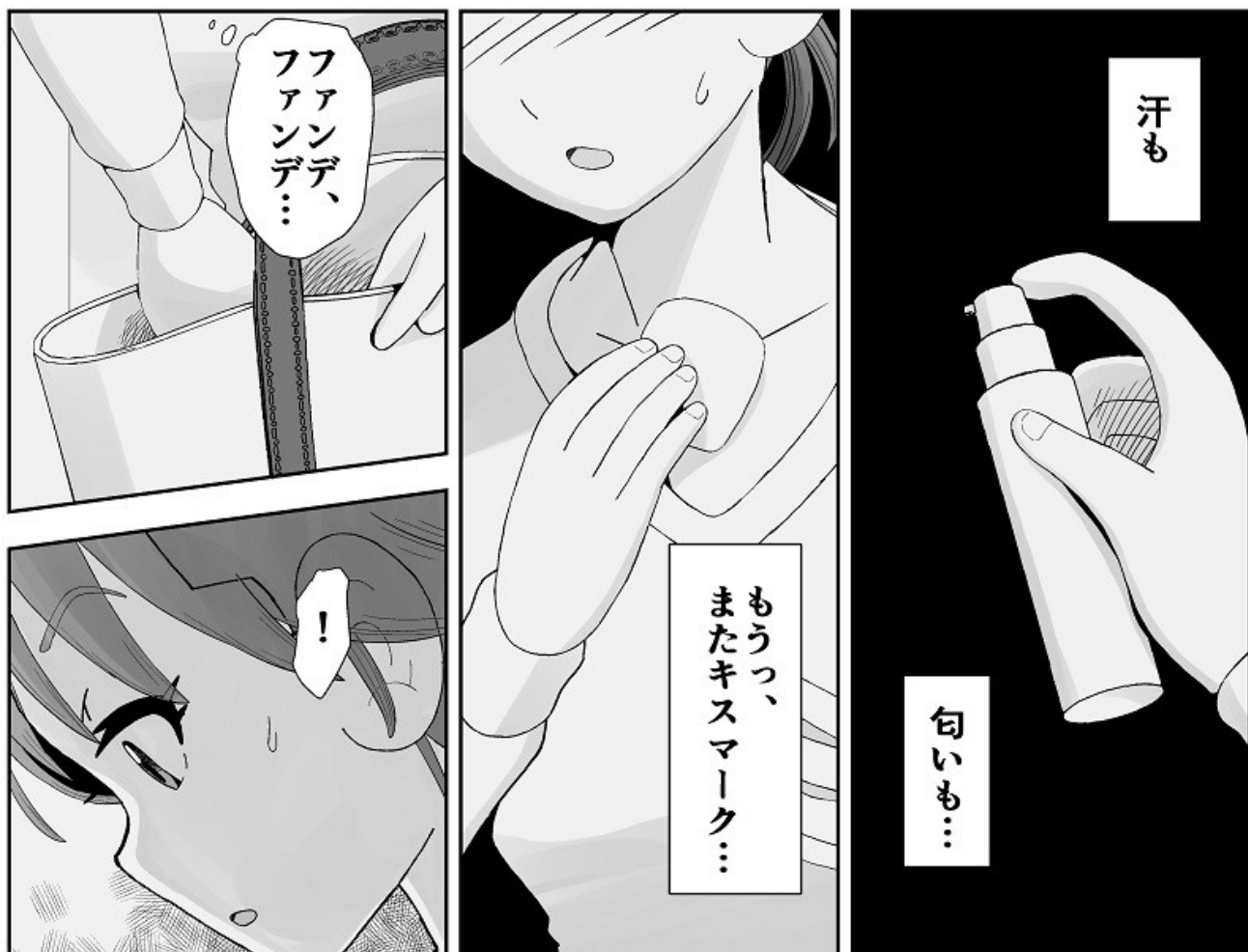
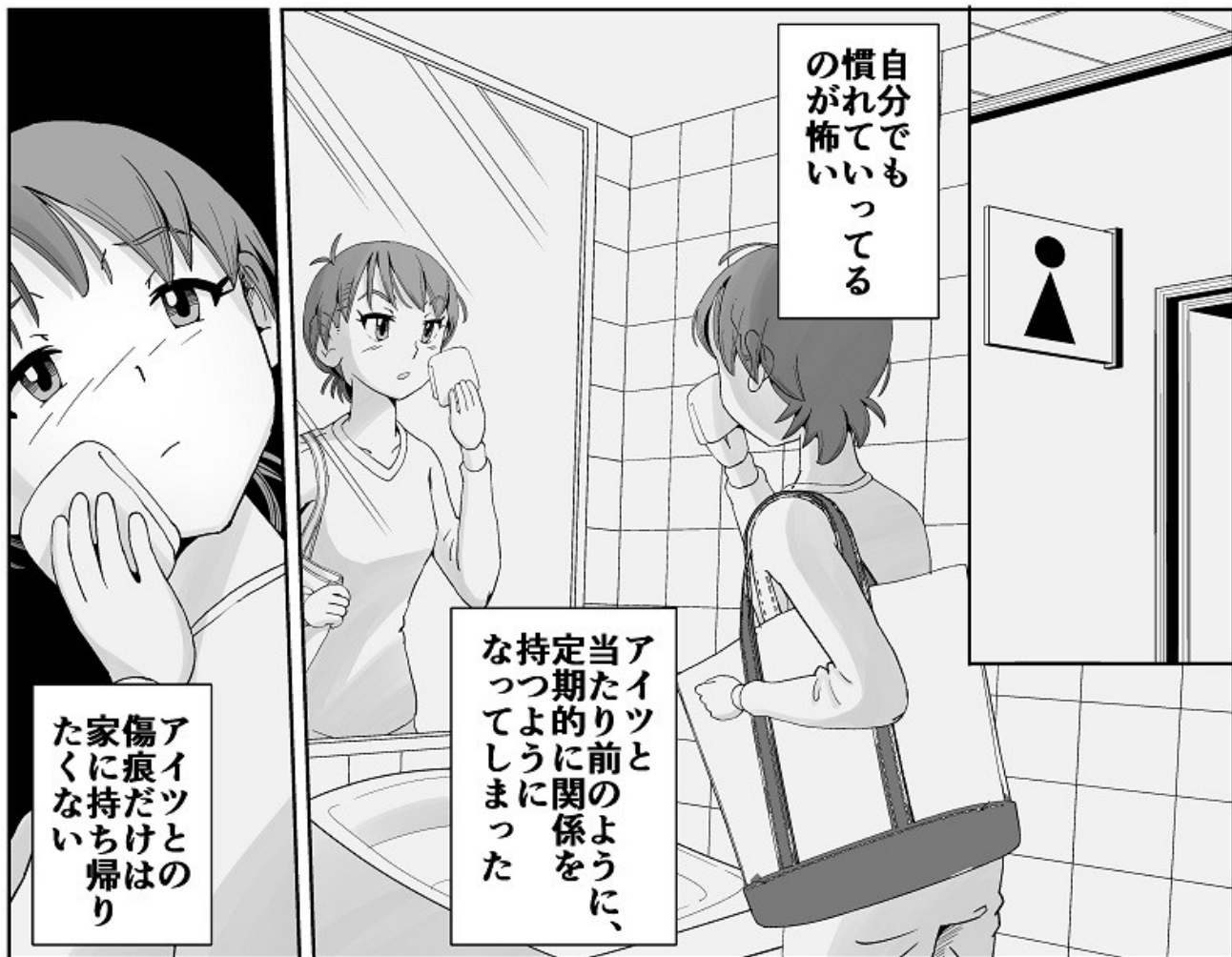


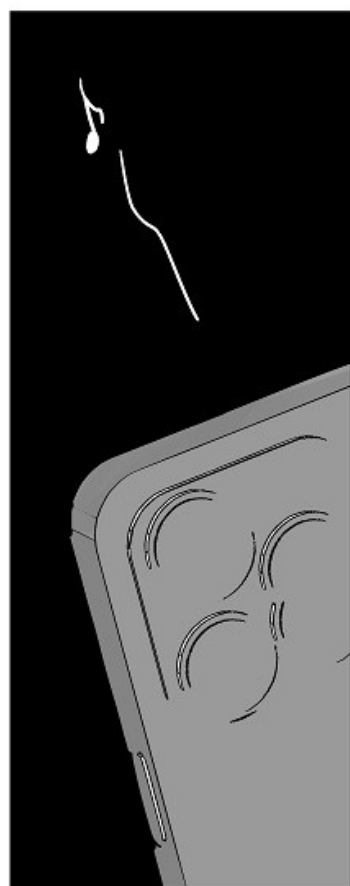
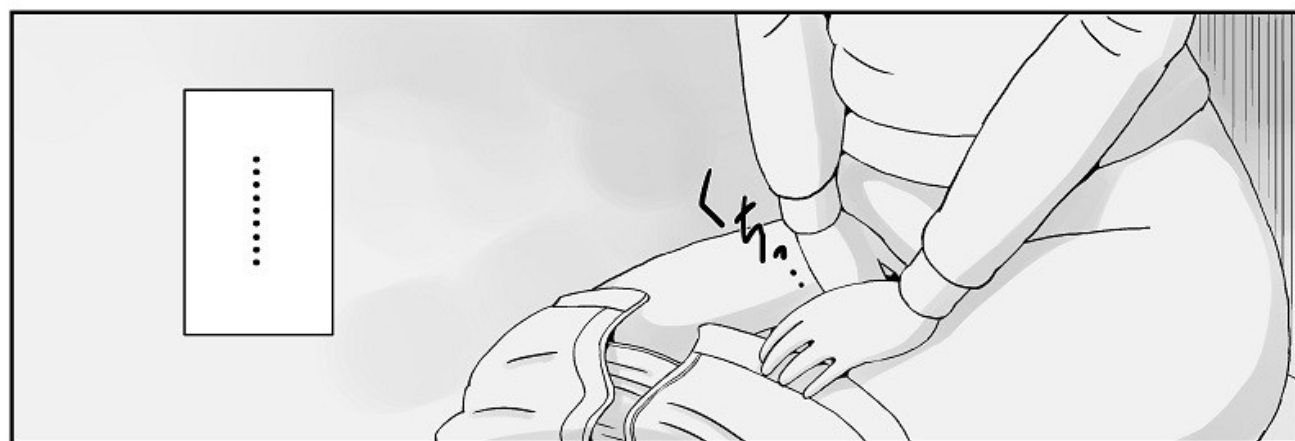
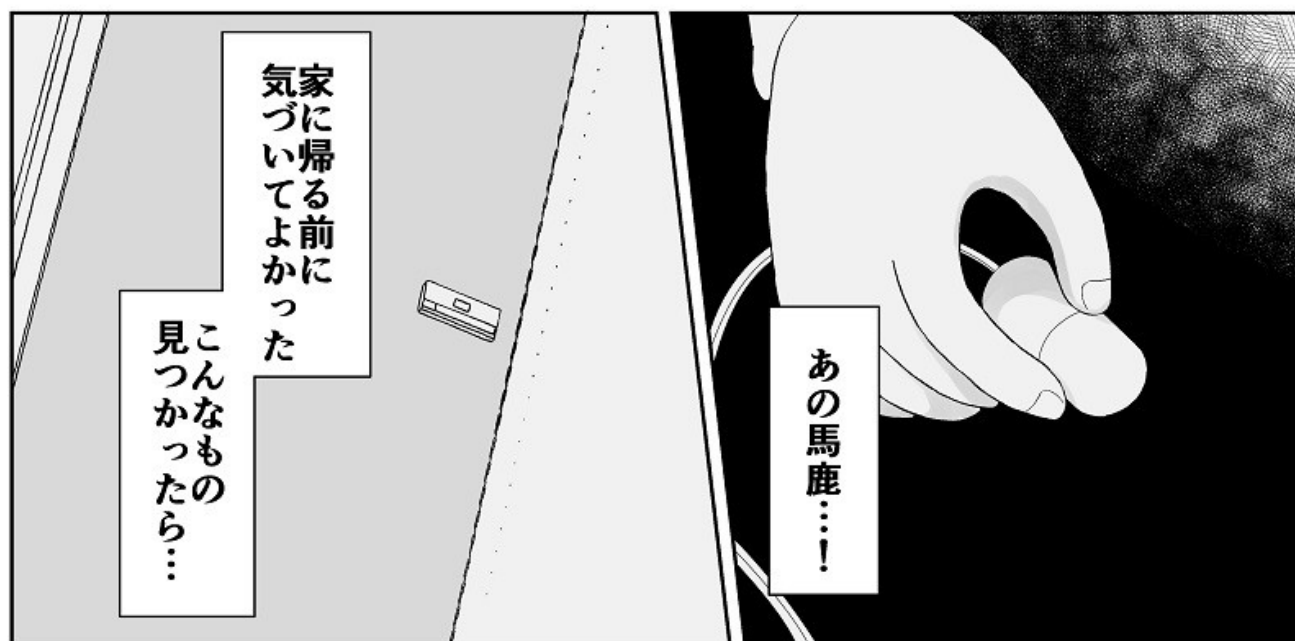


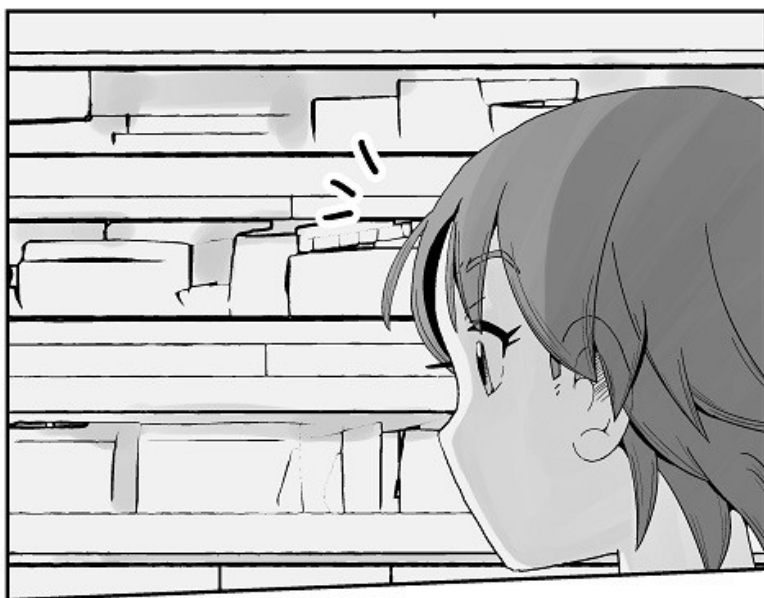


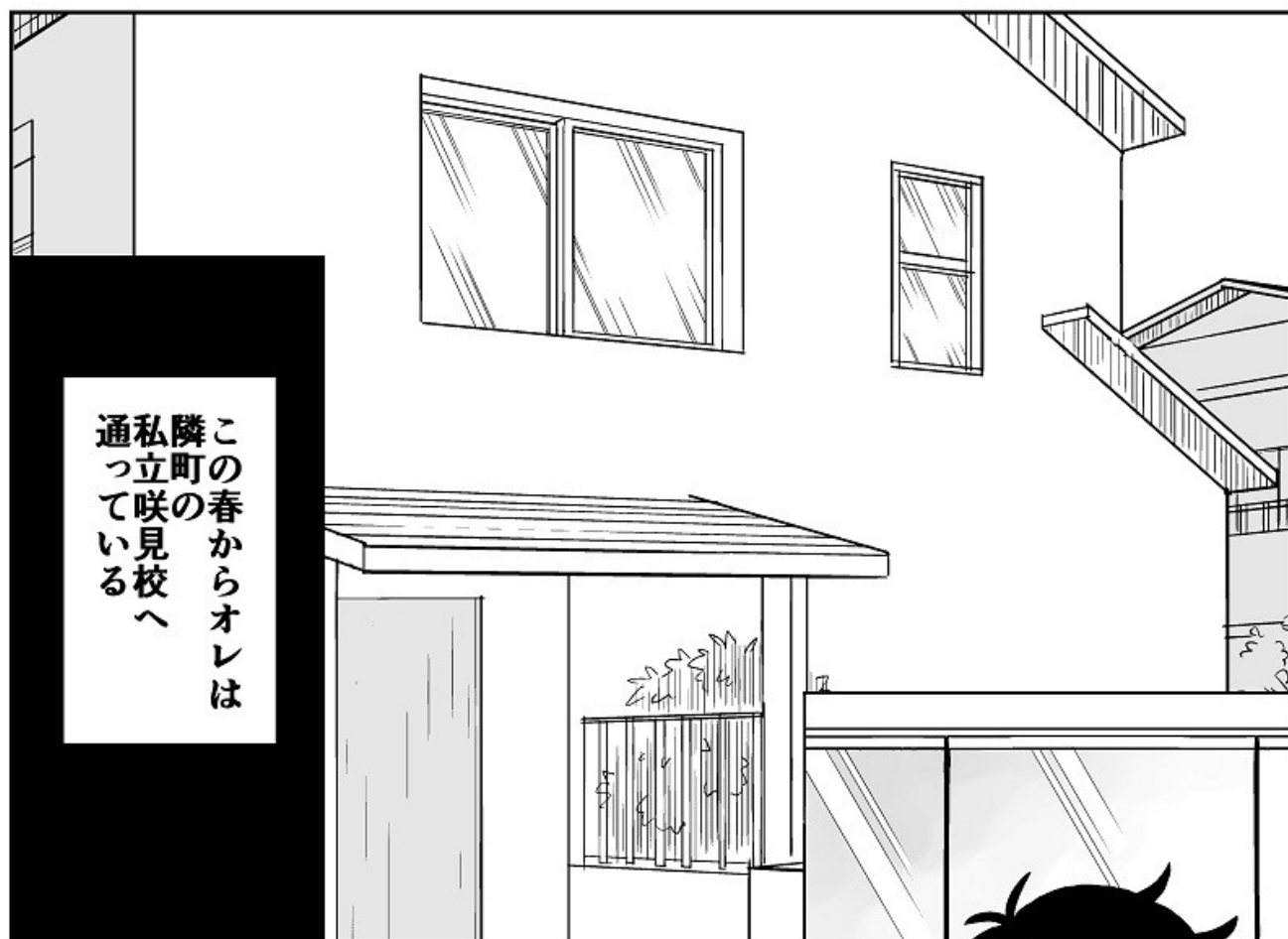












この春からオレは
隣の咲見校へ
通立っている



カーサン、
やっぱ制服、
このイイ服、
デカいよ

身長すぐ
伸びるん
だから
それくらい
丁度いい

あたしなんか
一年でんな
短くなった
だよ

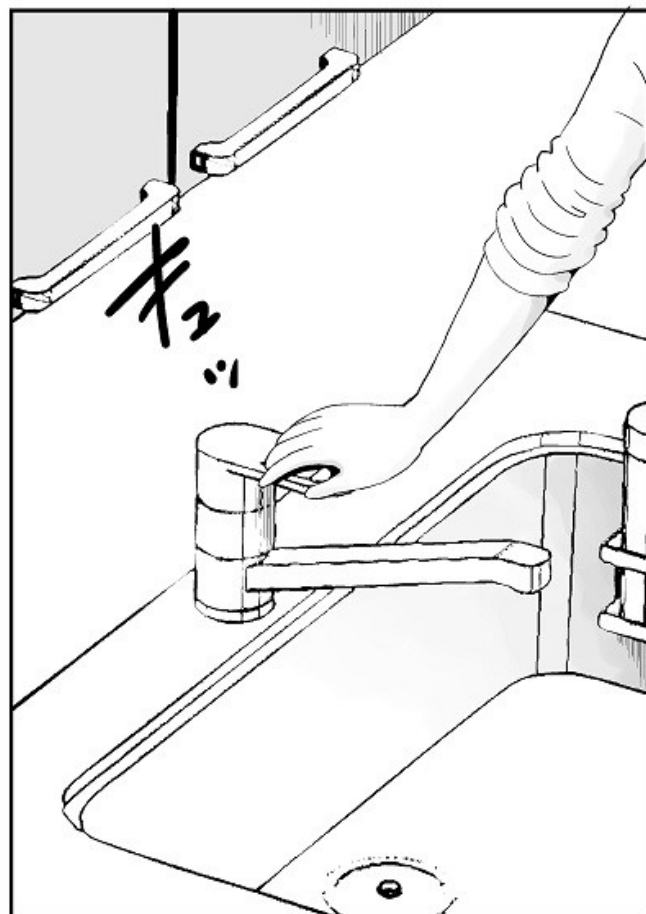
担任が
父さんと
カーサンと
しつこく薦めた

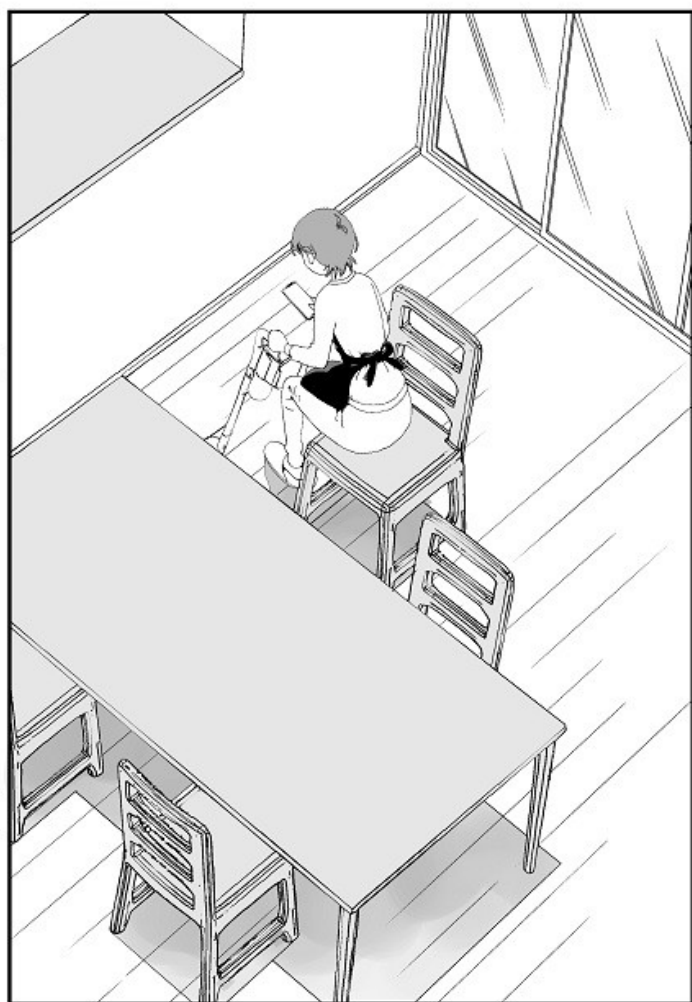
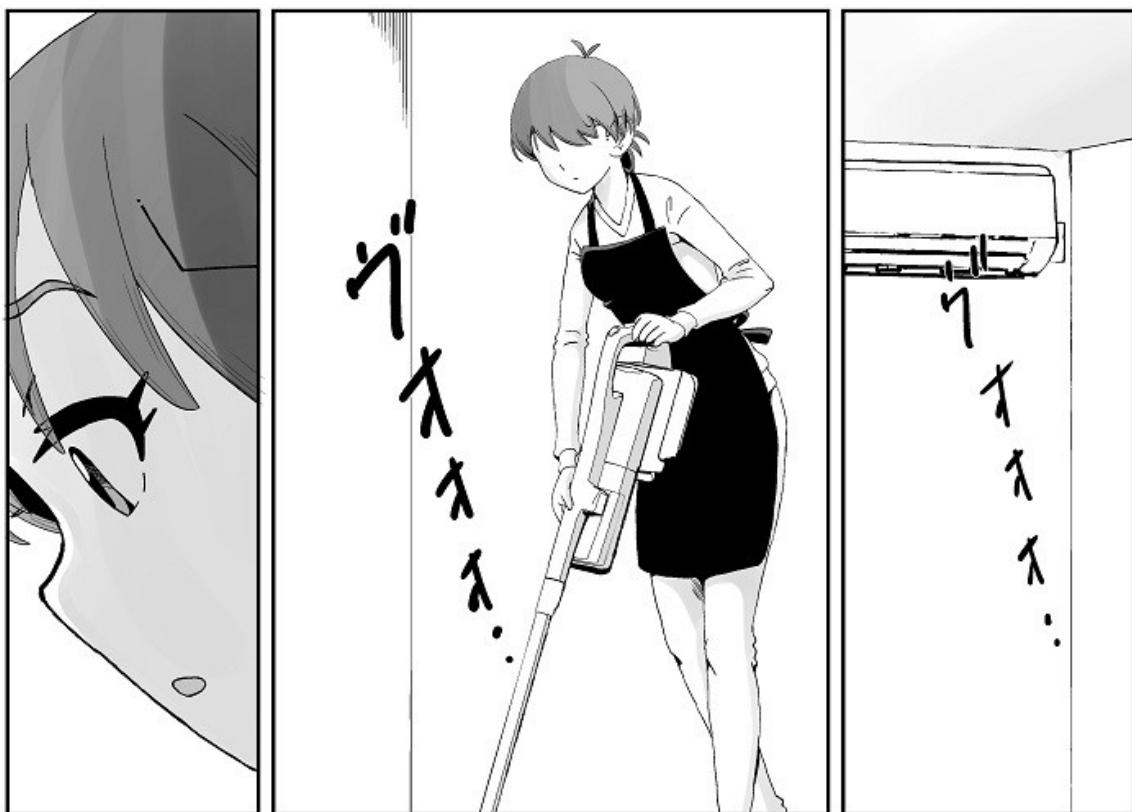


ずっと一緒だった
リョースケと
ケンゴは公立

進学校なんて
行きたいとも
思わなかったが
ほんとは







>おはよーさん

>あいかわらず無視かいな

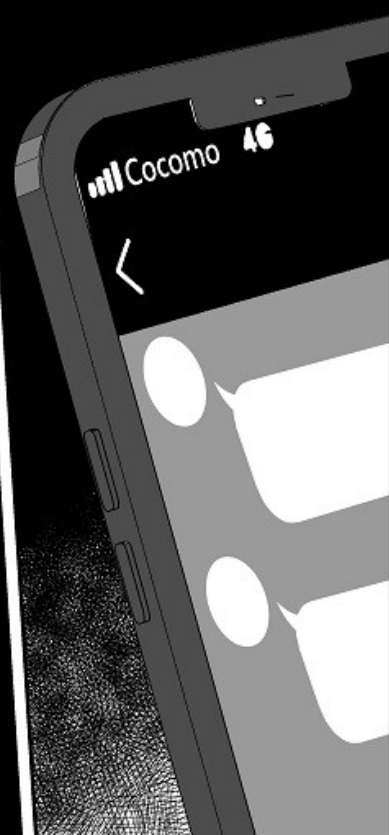
>今日オレ3時に
学校終わりやねん

知らない
わよ

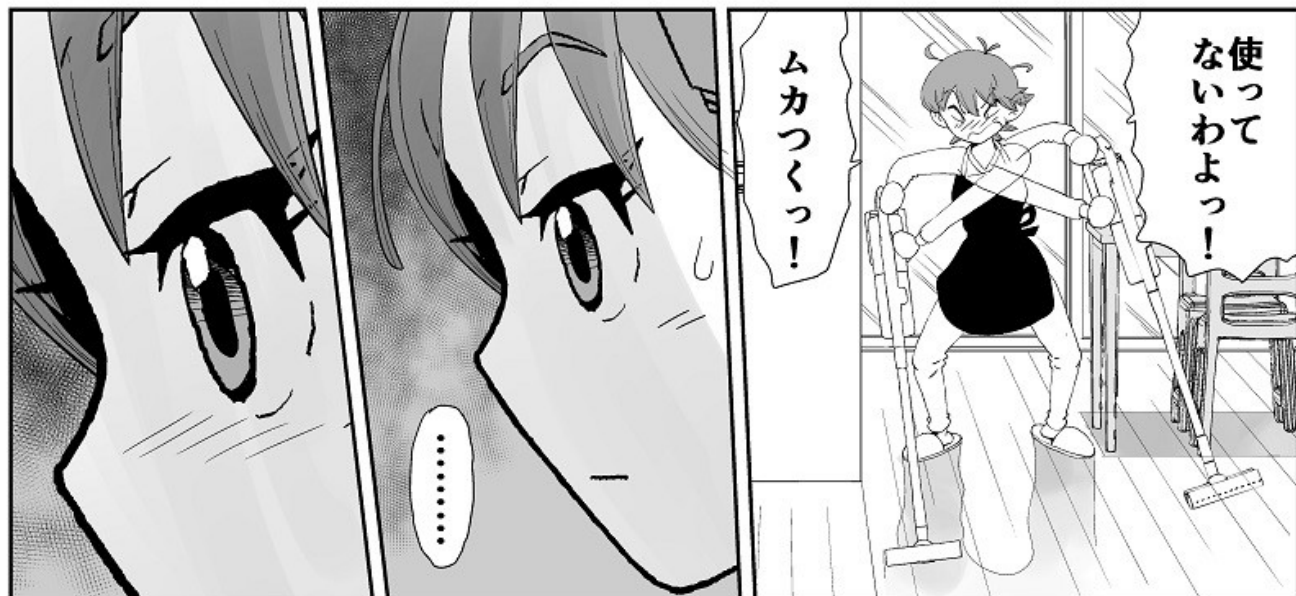
>会えへん?

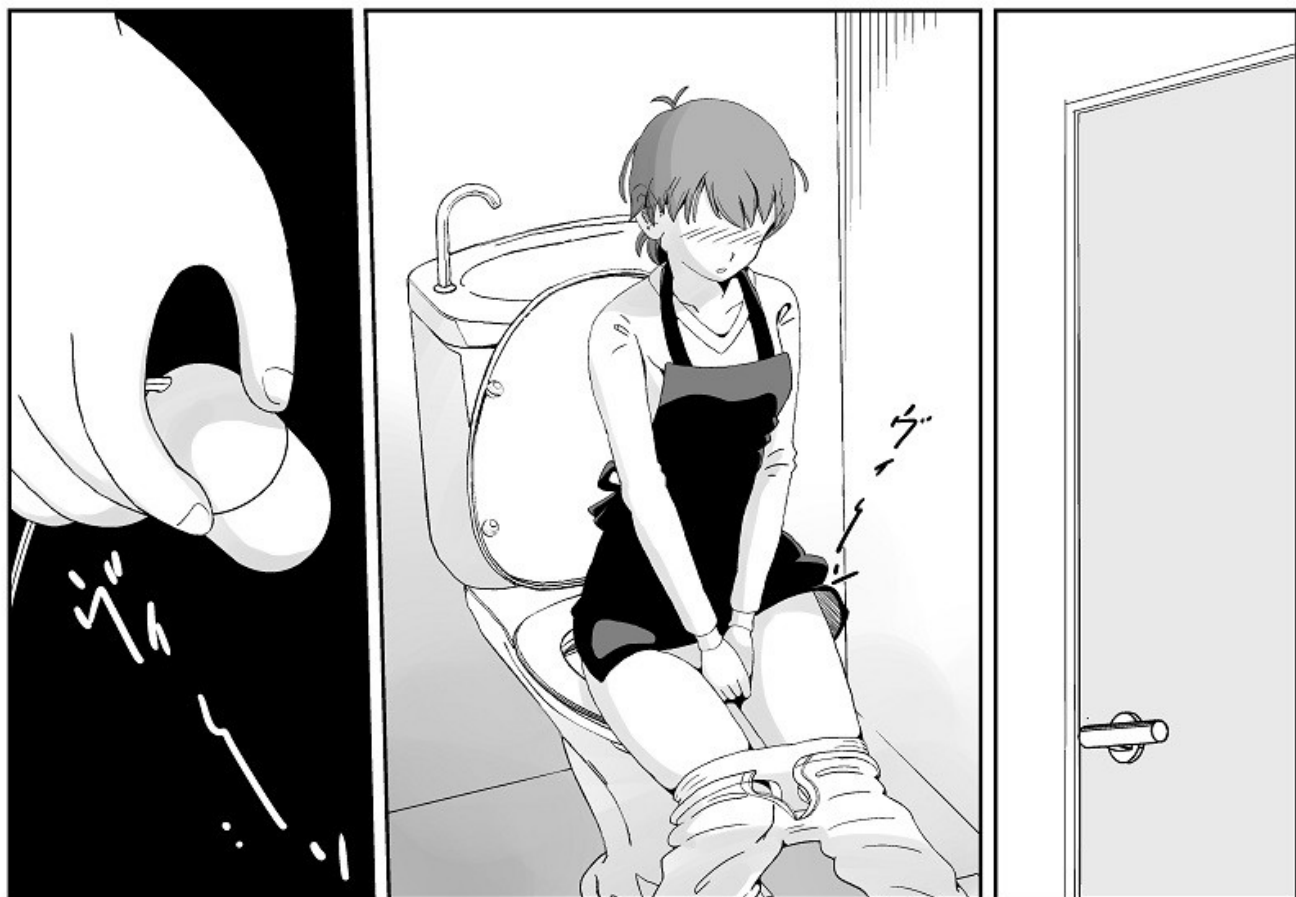
会わないし

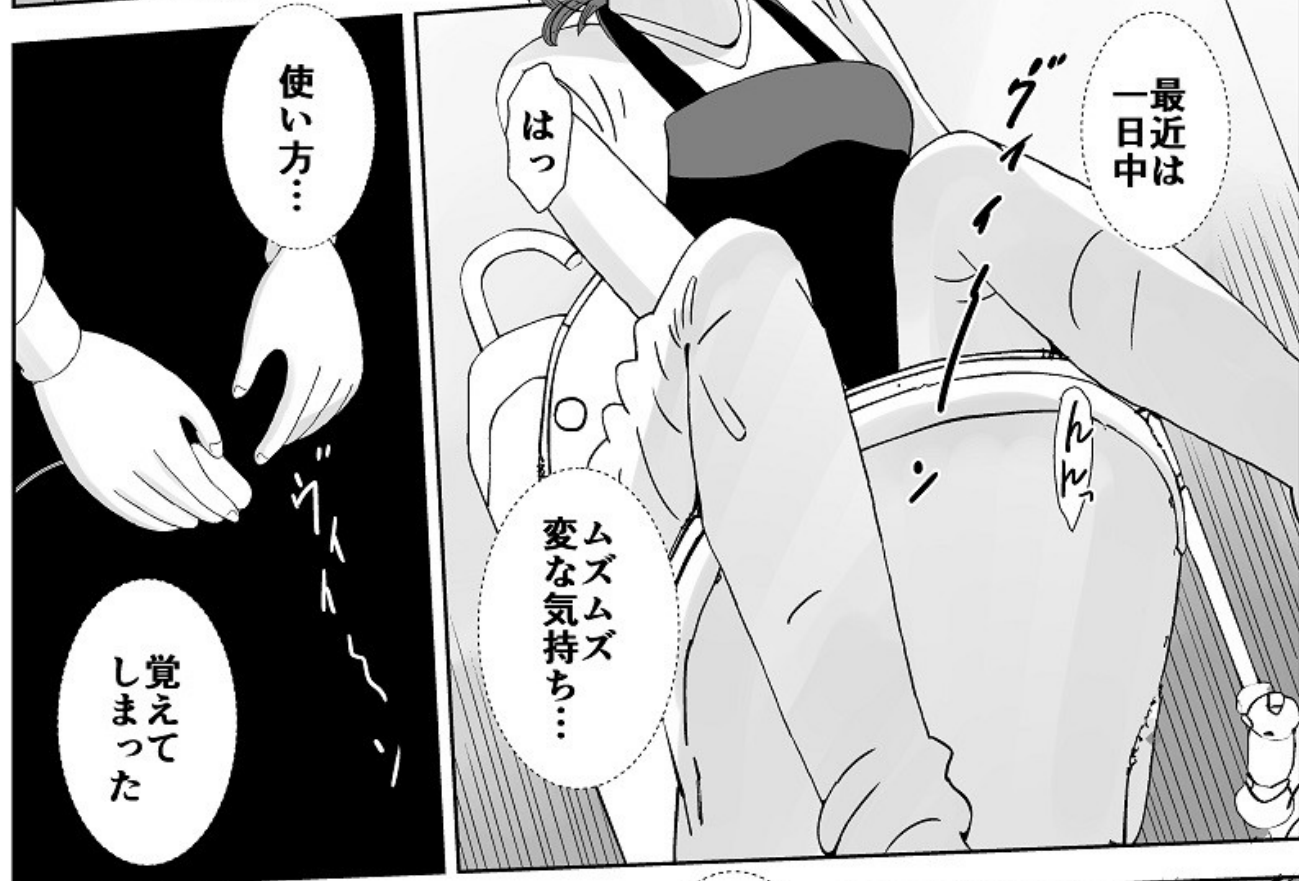
主婦は
朝一の
忙しい
番よ



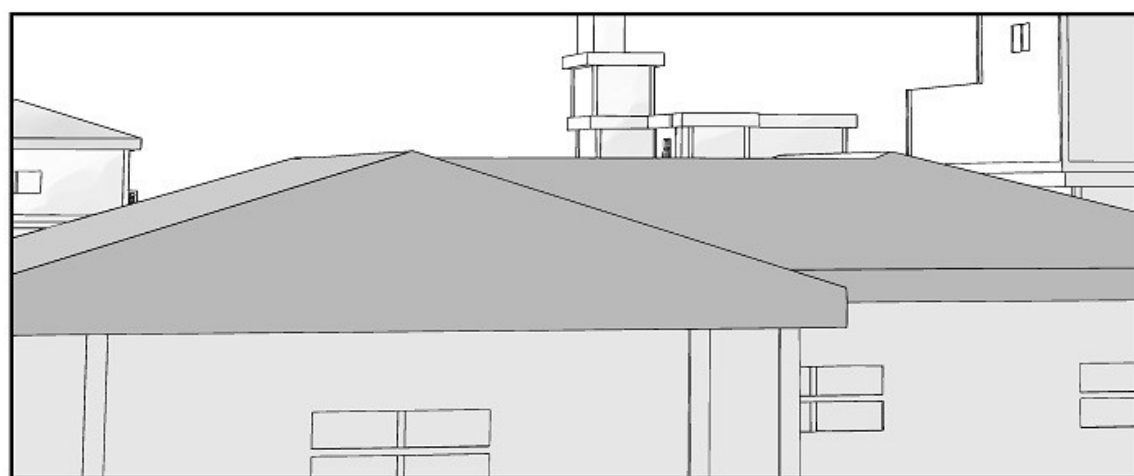
オモチャちゃんとうてる?

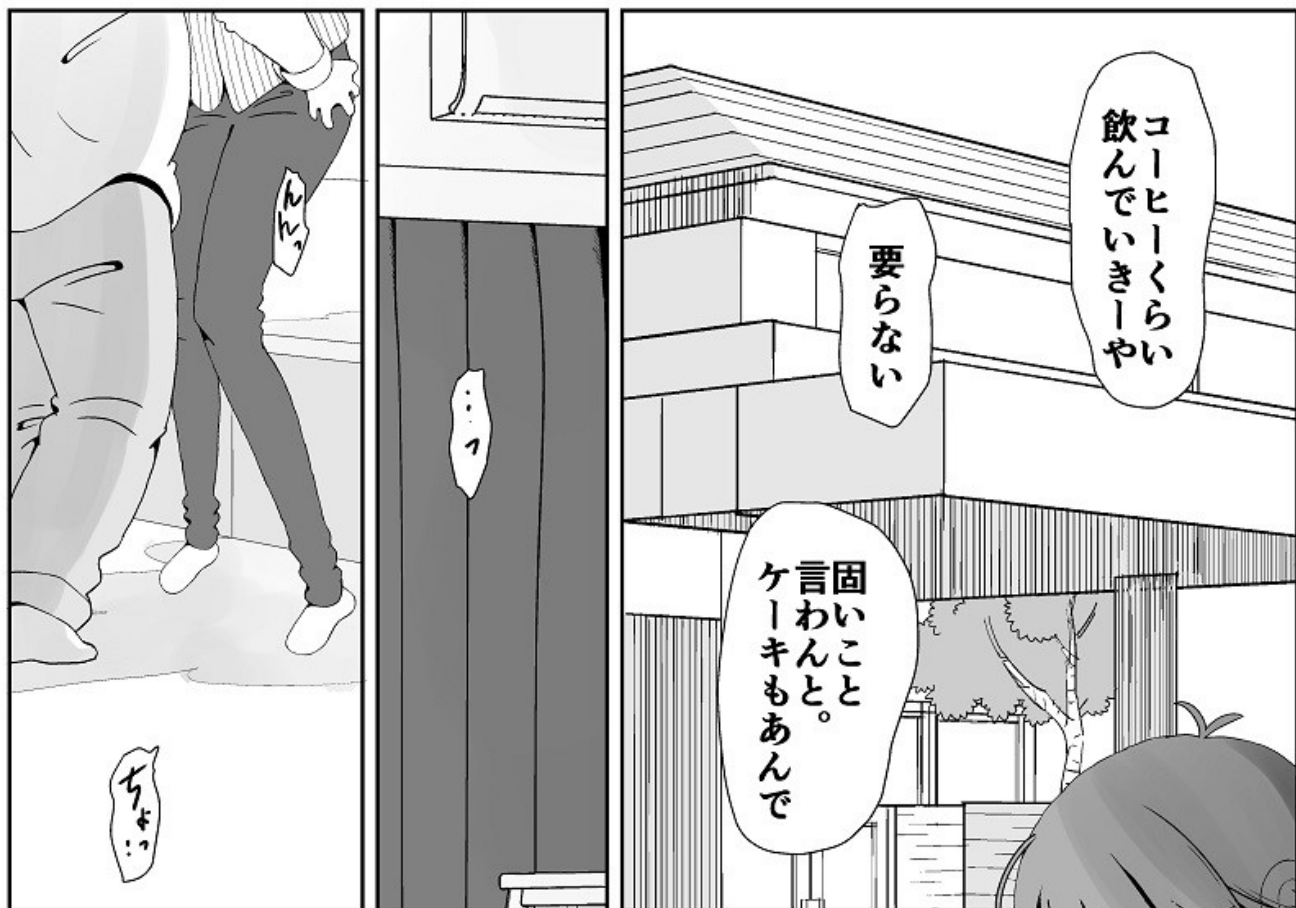


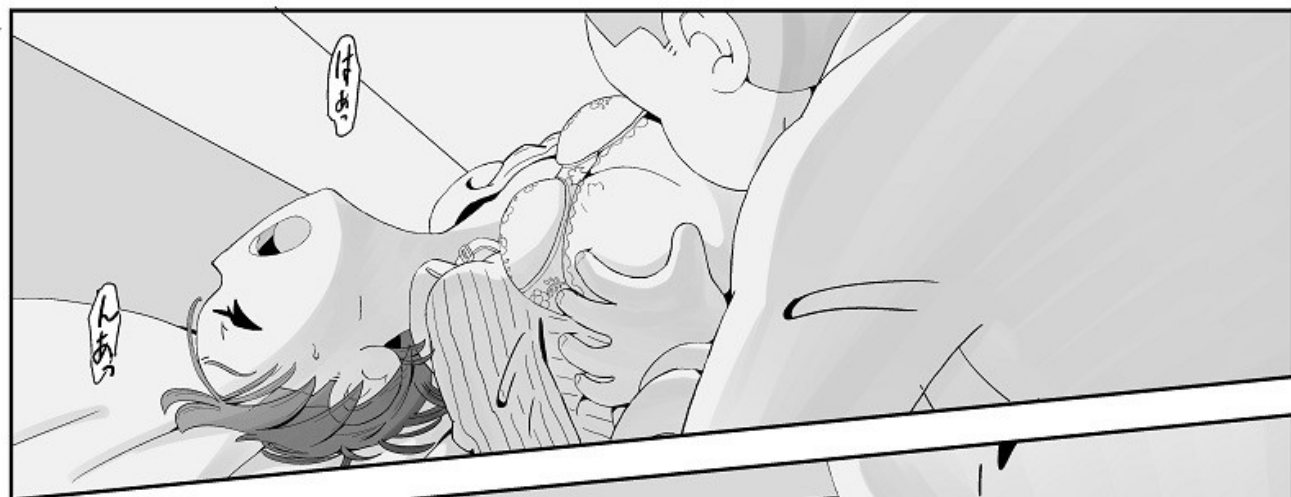






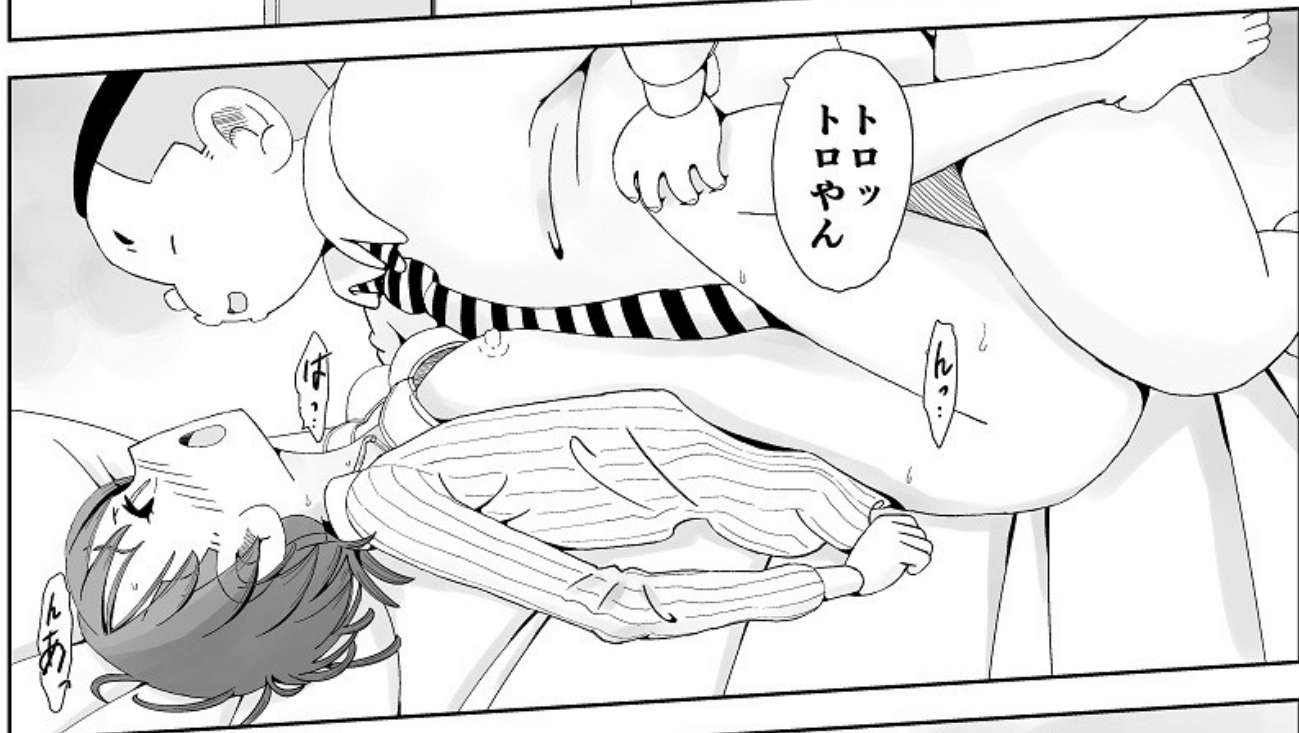


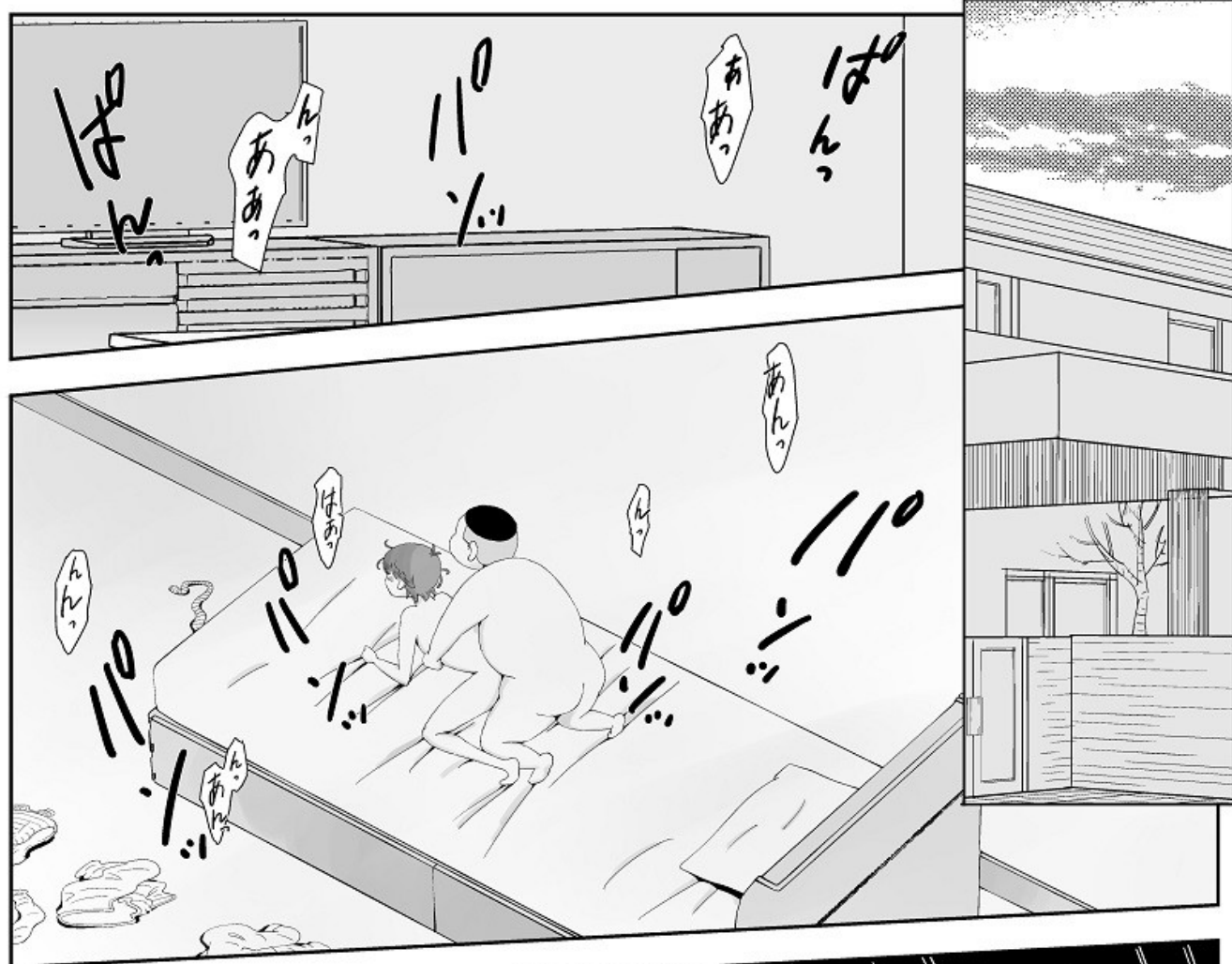
















中は、ダメ…

ああああーっ、
でっ、出っ！

駄目よ…！

だっ、だめっ、
な、なかっ…！

抜かなきゃ！

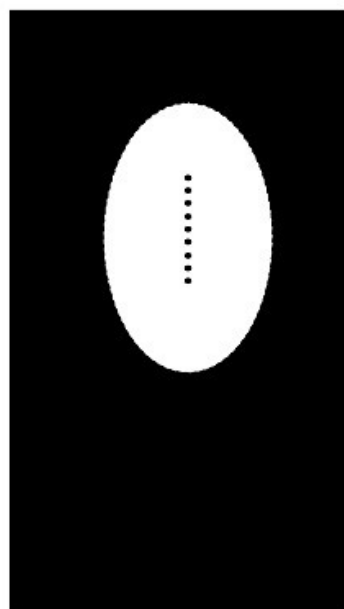
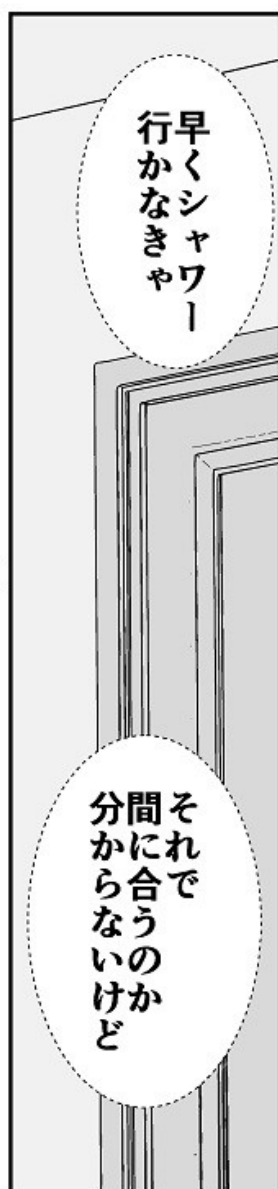
香

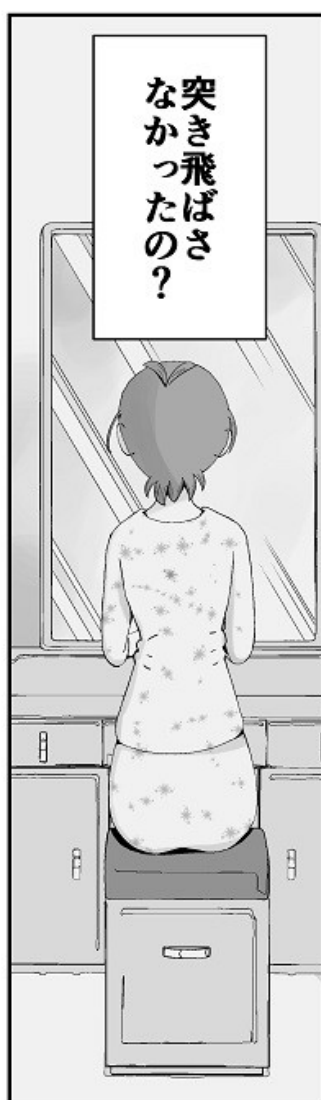
っ！

ヒュルル！

ヒュルル



















初めて見た

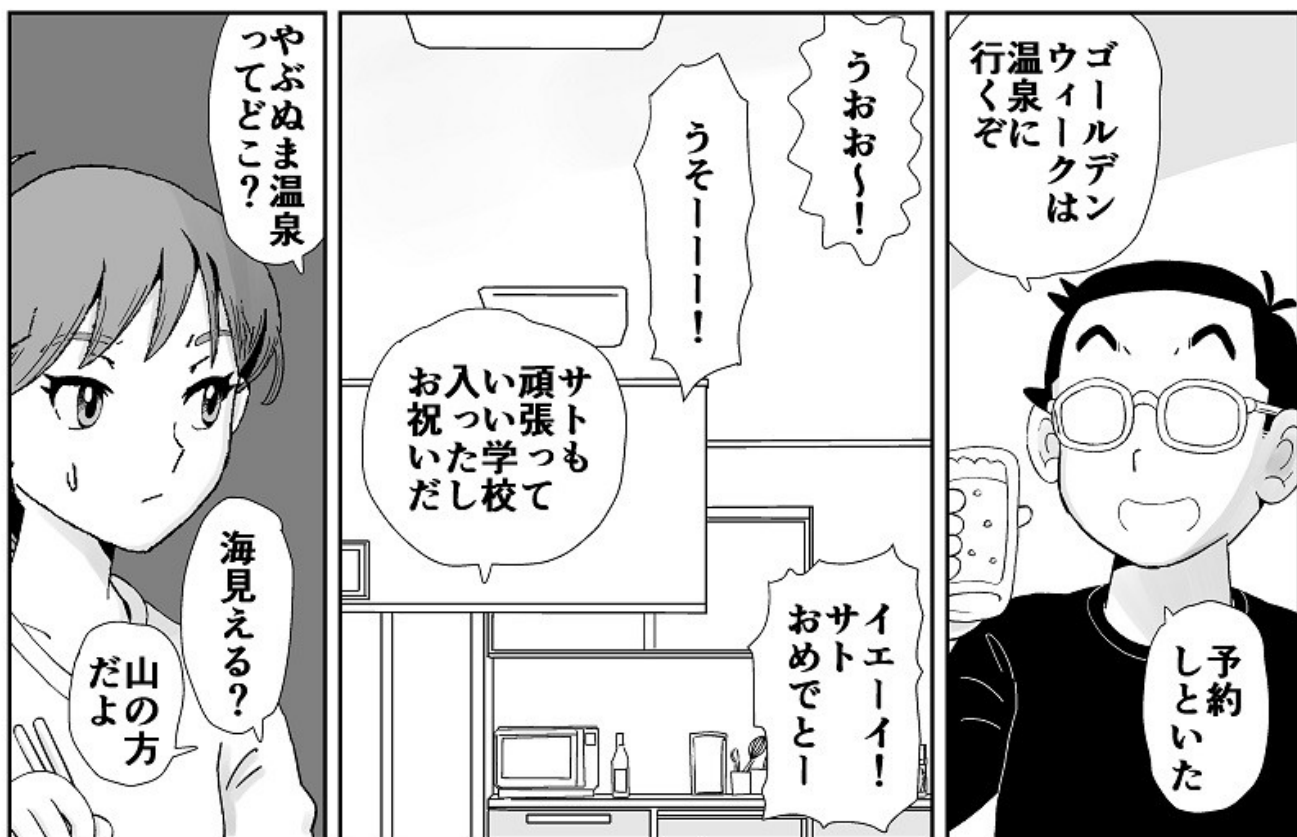
あの人の

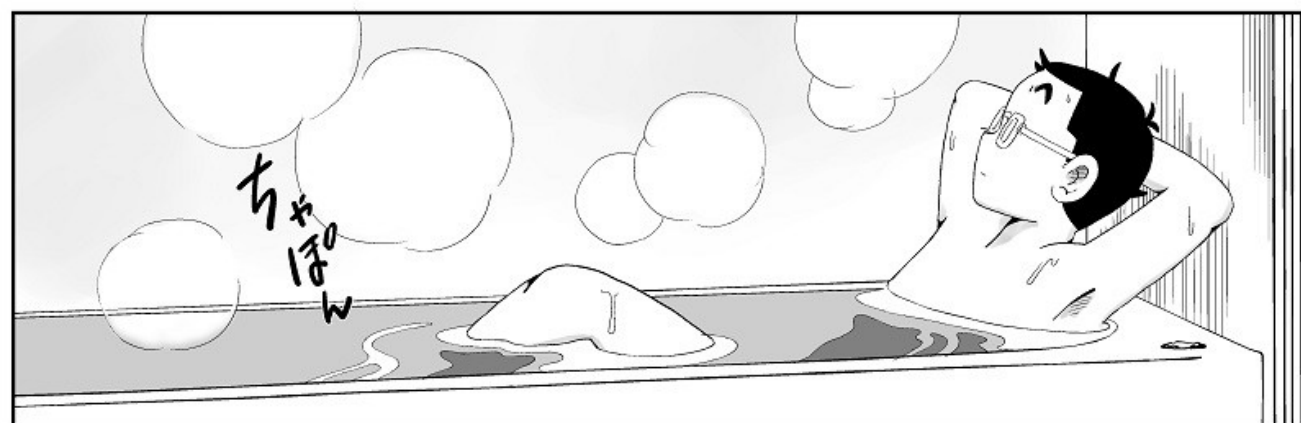
あんな
悲しそうな
顔……



どうして、あんなこと...









温泉、
結婚15年目の記念も
兼ねてるからさ

ハハハ

いつも世話に
なりっぱなし
だからさ



15年前の

あの、
風薫る五月に

私たちは
結婚したのだ

何てことだ…

ショックだった

15年…

結婚記念日が
近いことも

そして
節目の15年目
ということすら
自分では
忘れていた

あの新緑の
教会で結婚し

学生時代に
出会い

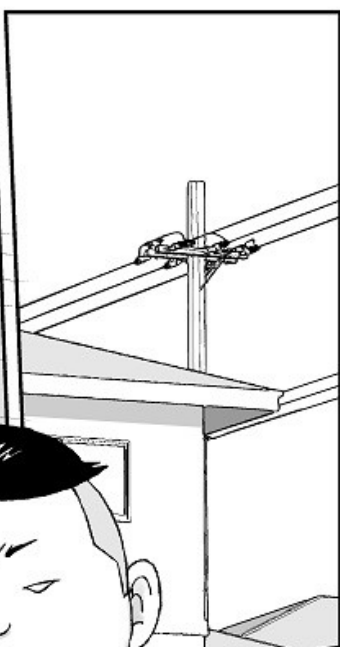
4年の
交際を経て

年が明けて
智美が生まれ

そして翌年
サトルが生まれた





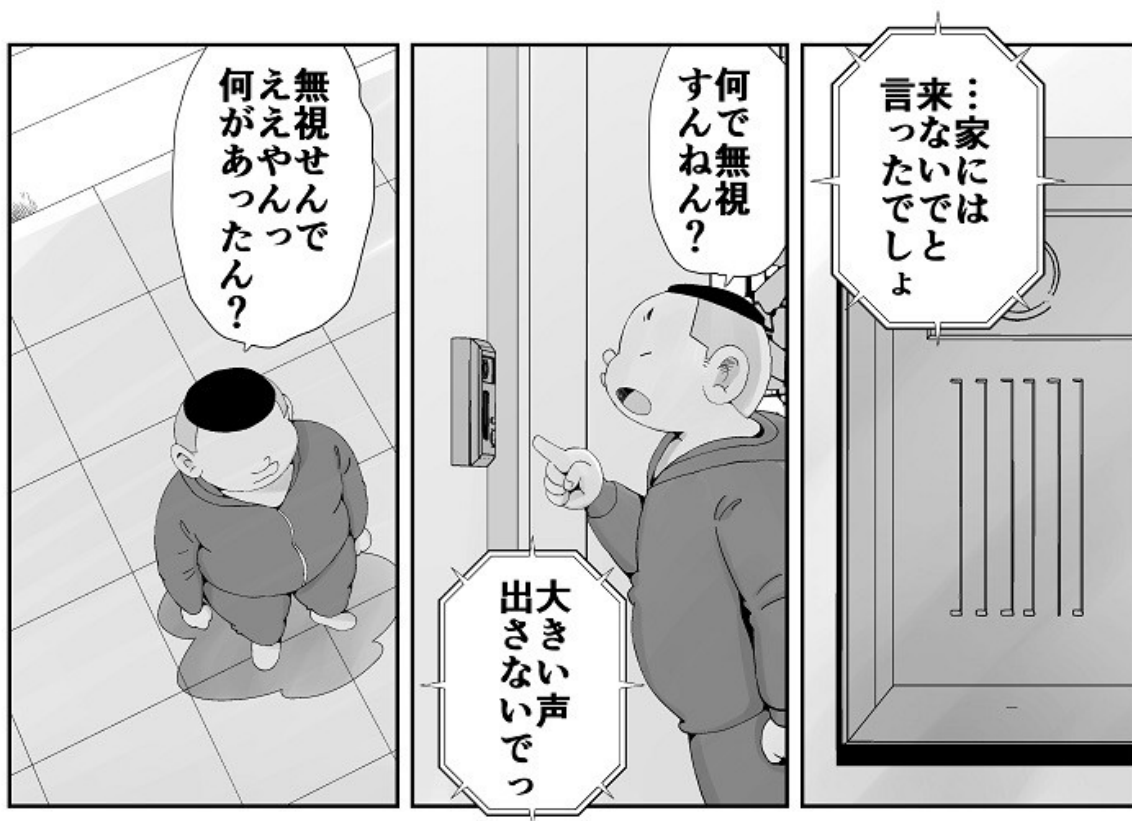


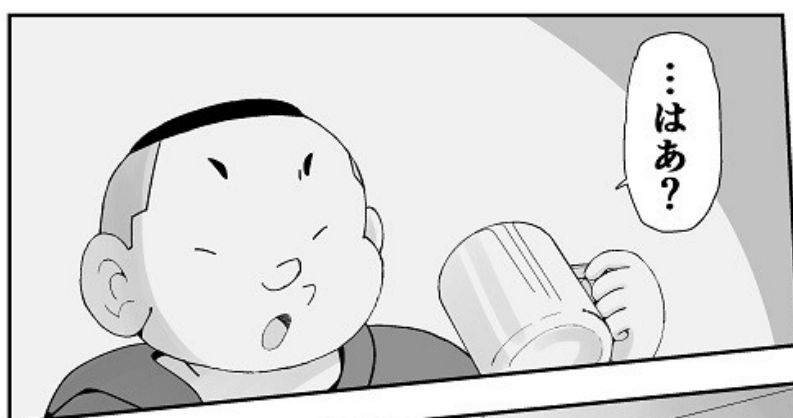






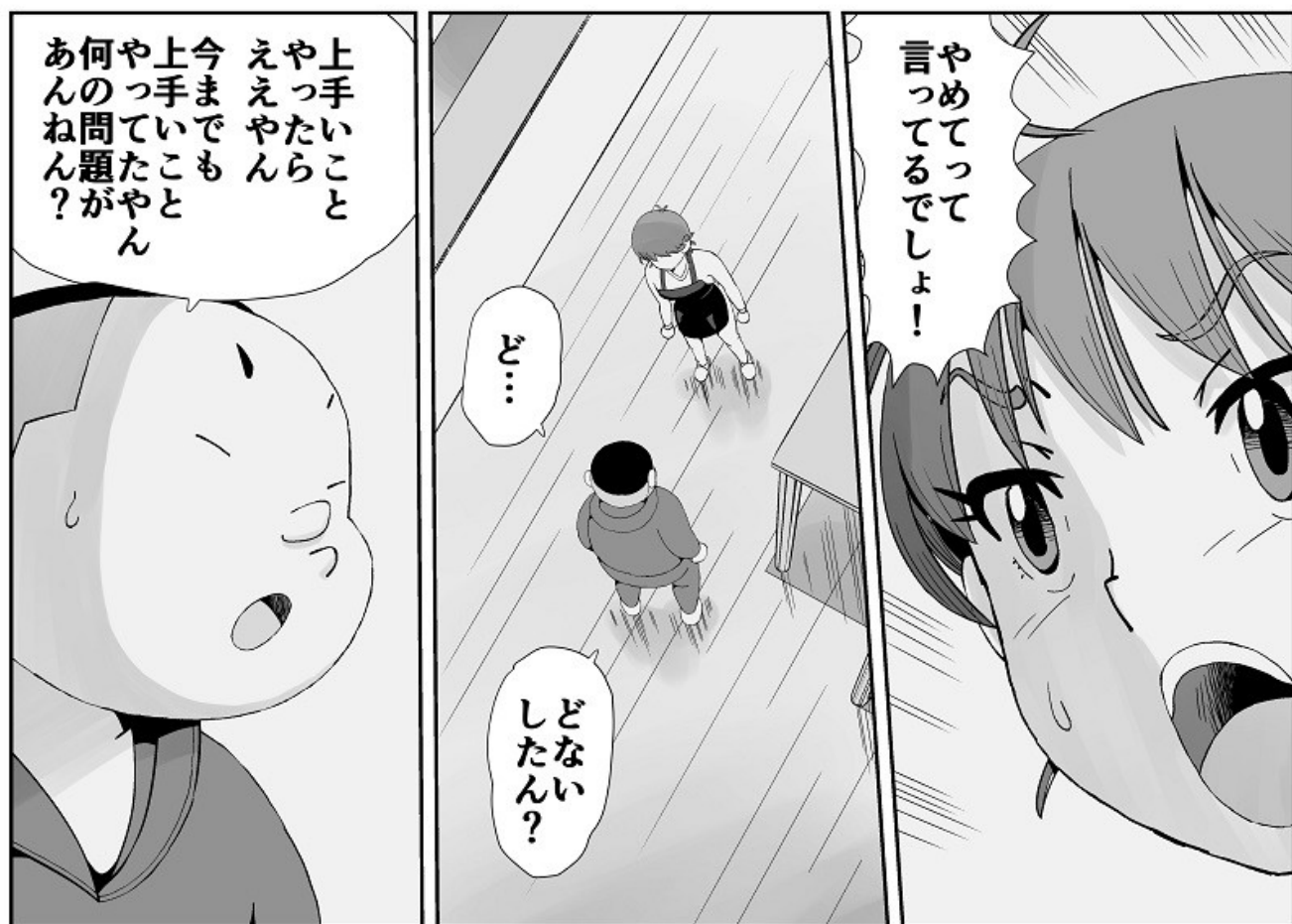


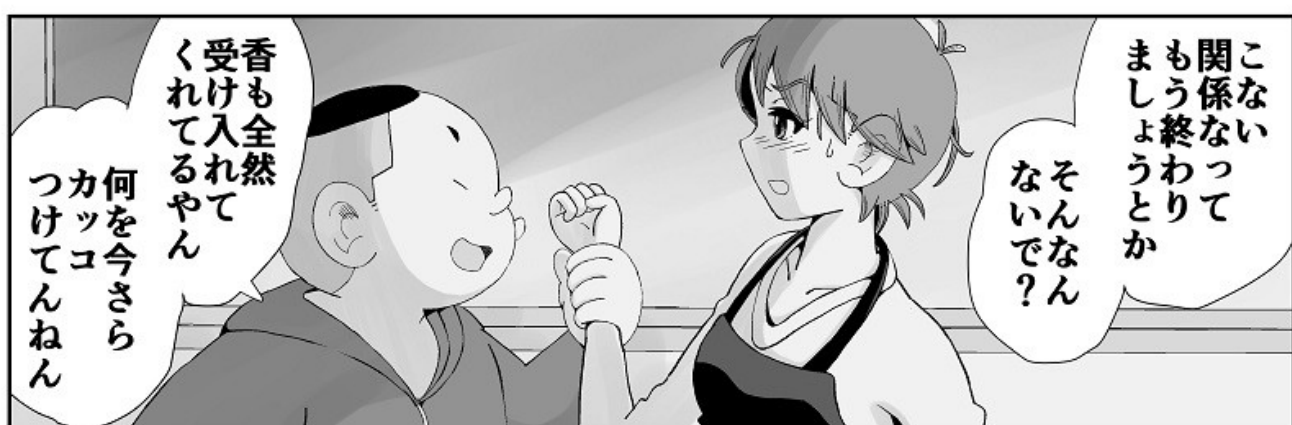
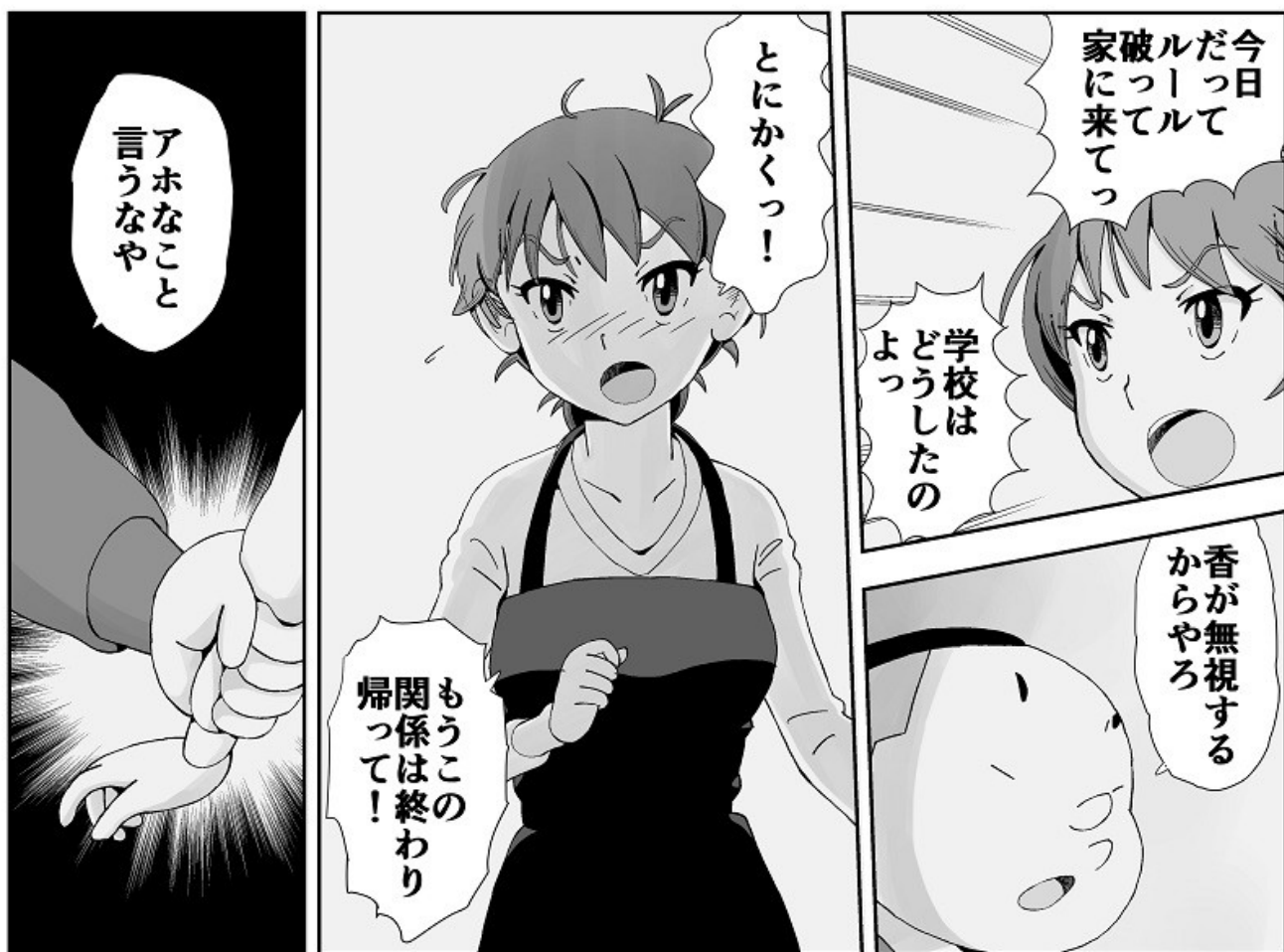


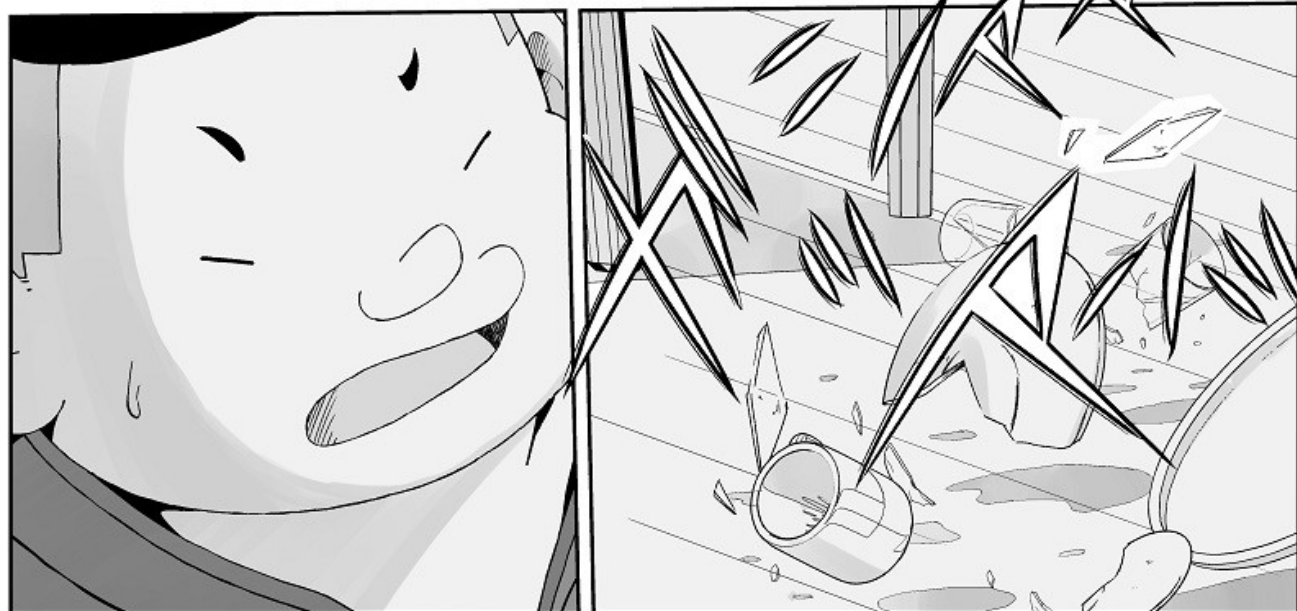
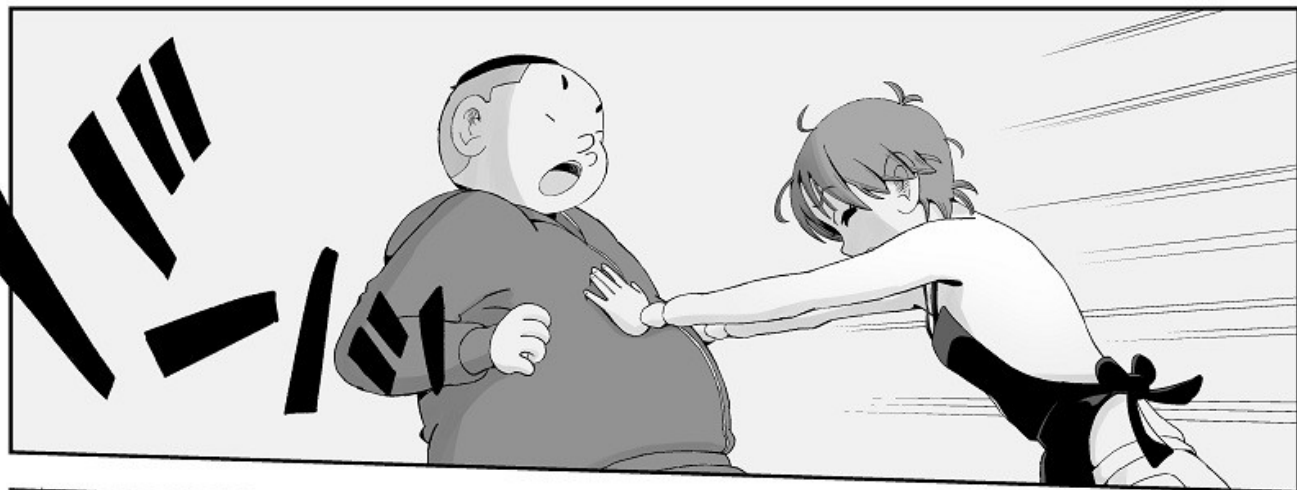


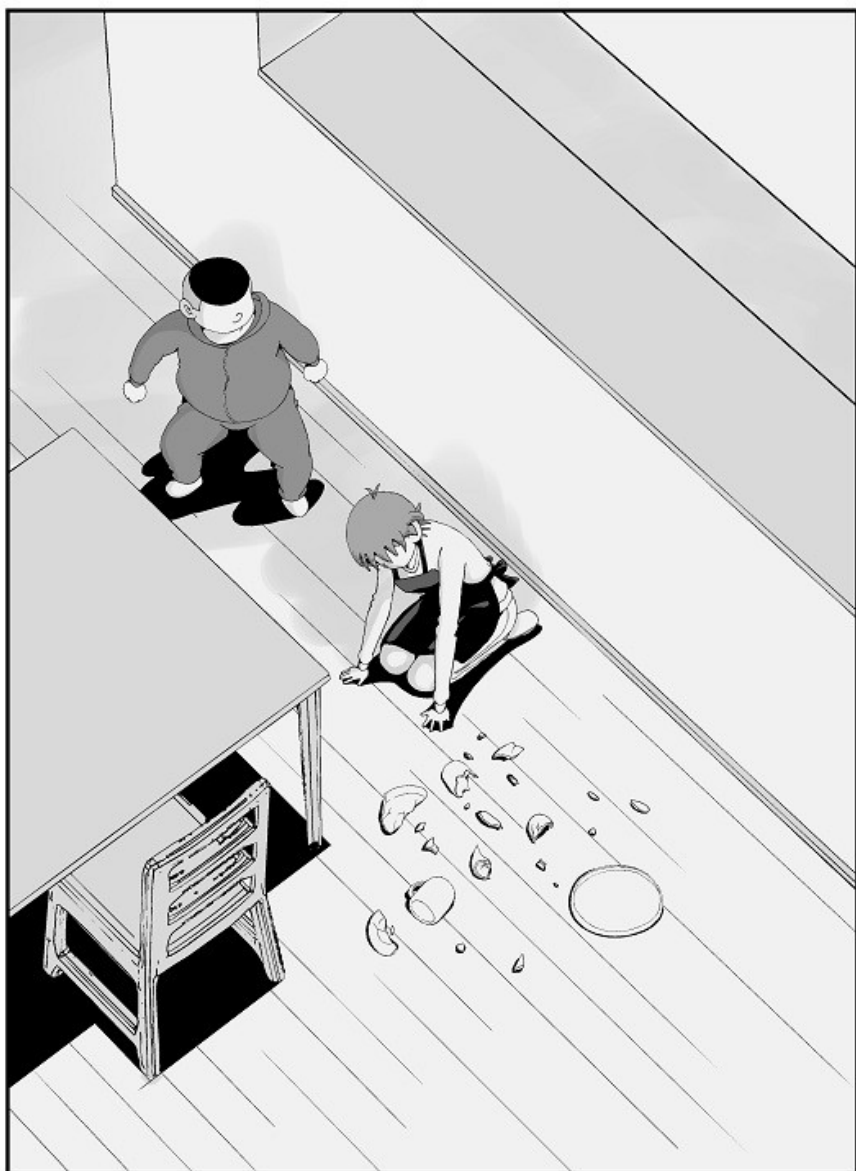




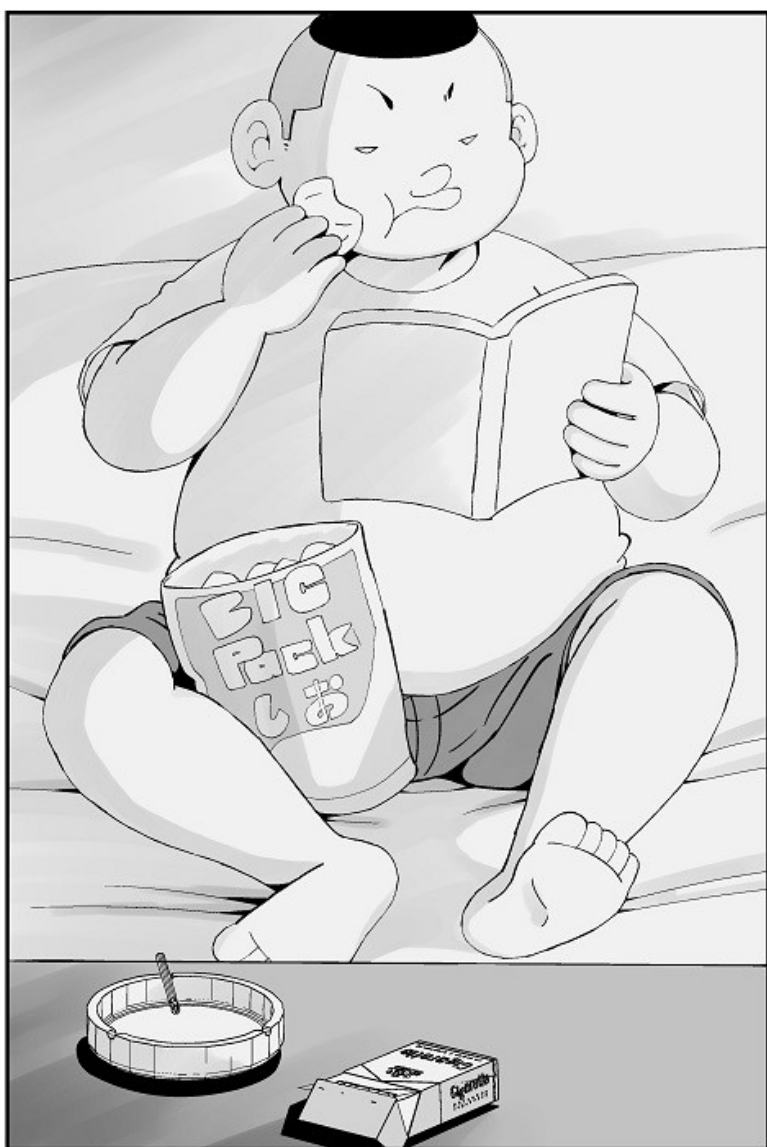
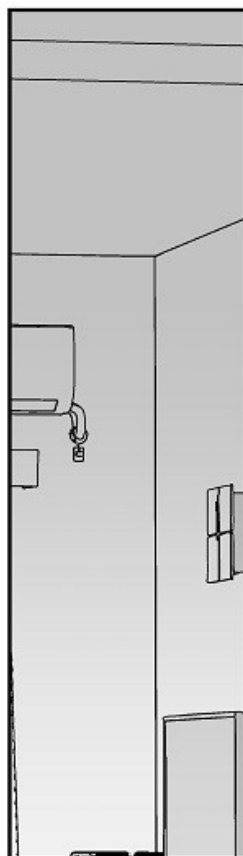


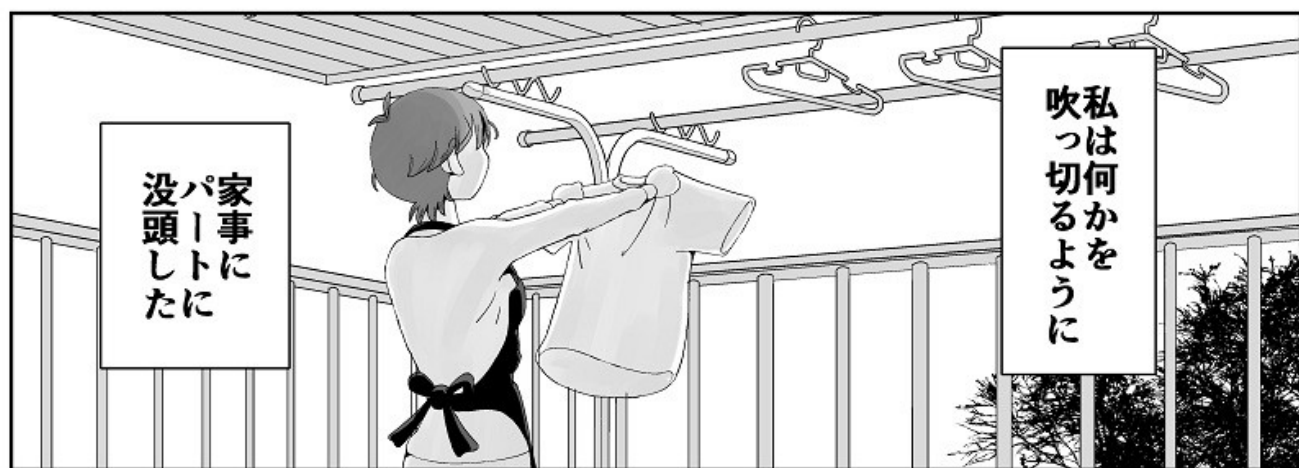
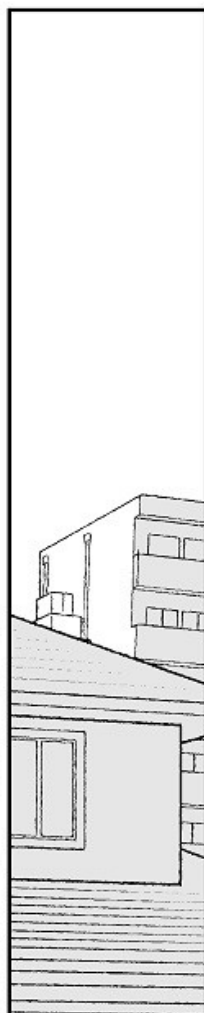
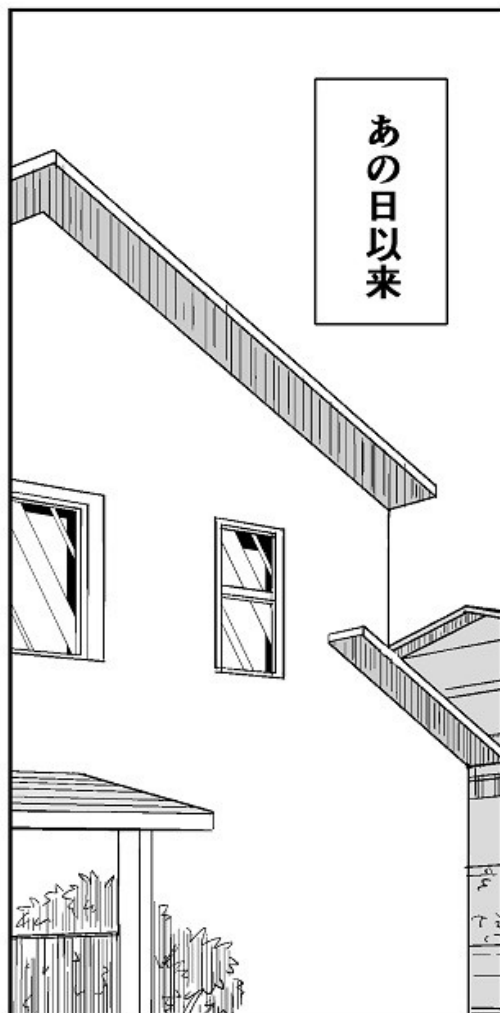


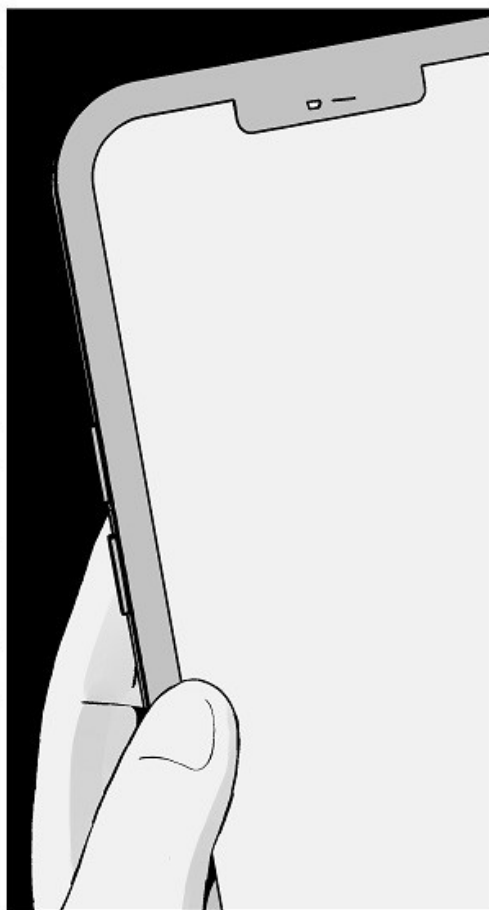






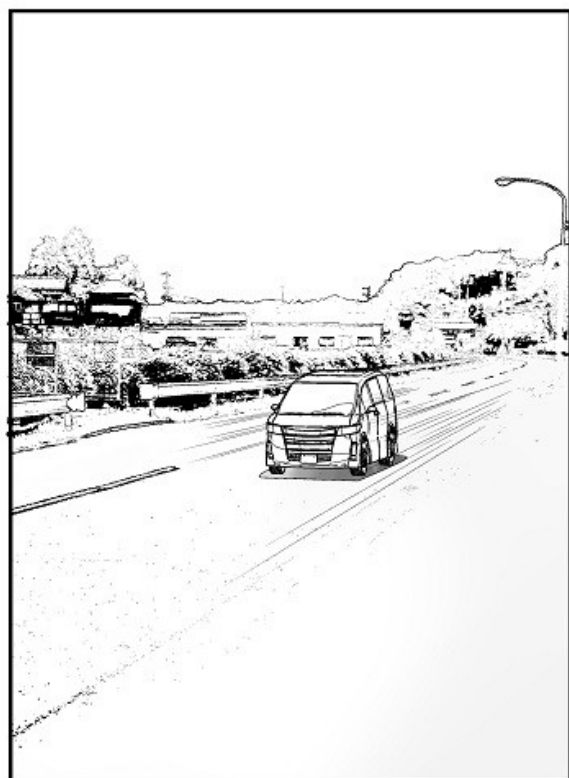
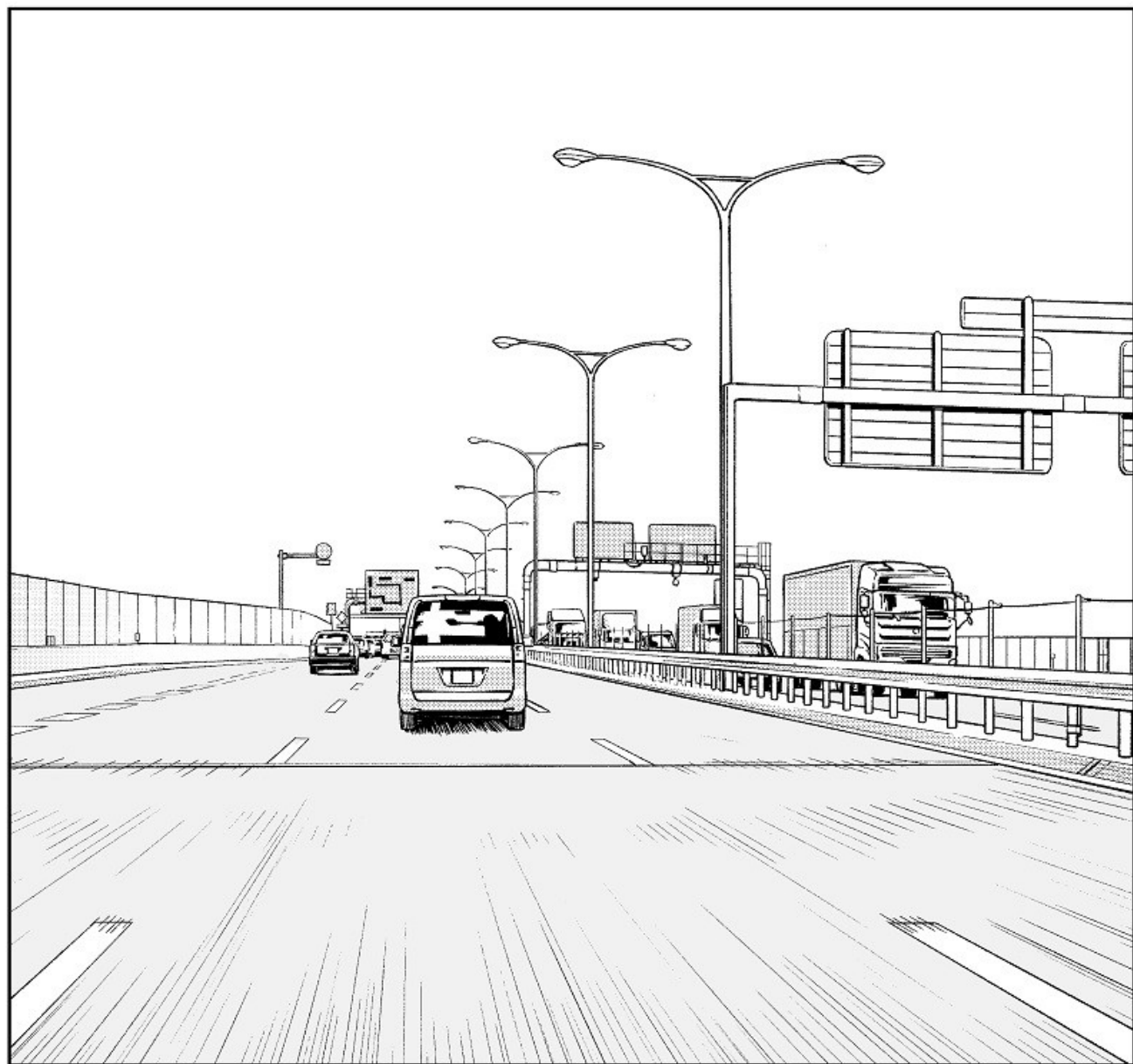


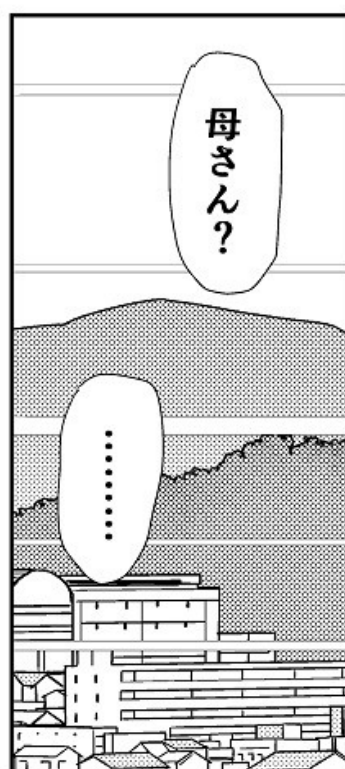


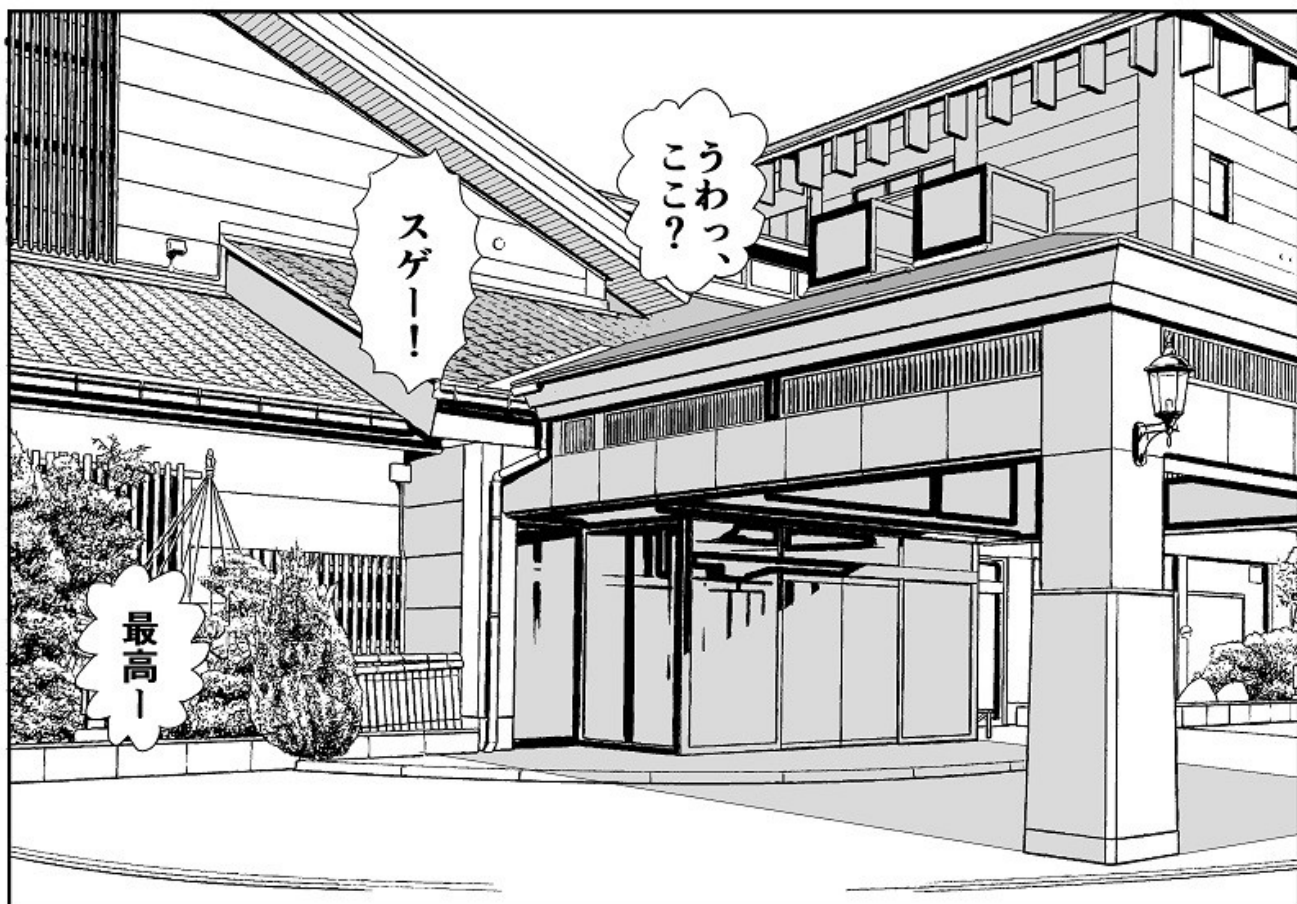


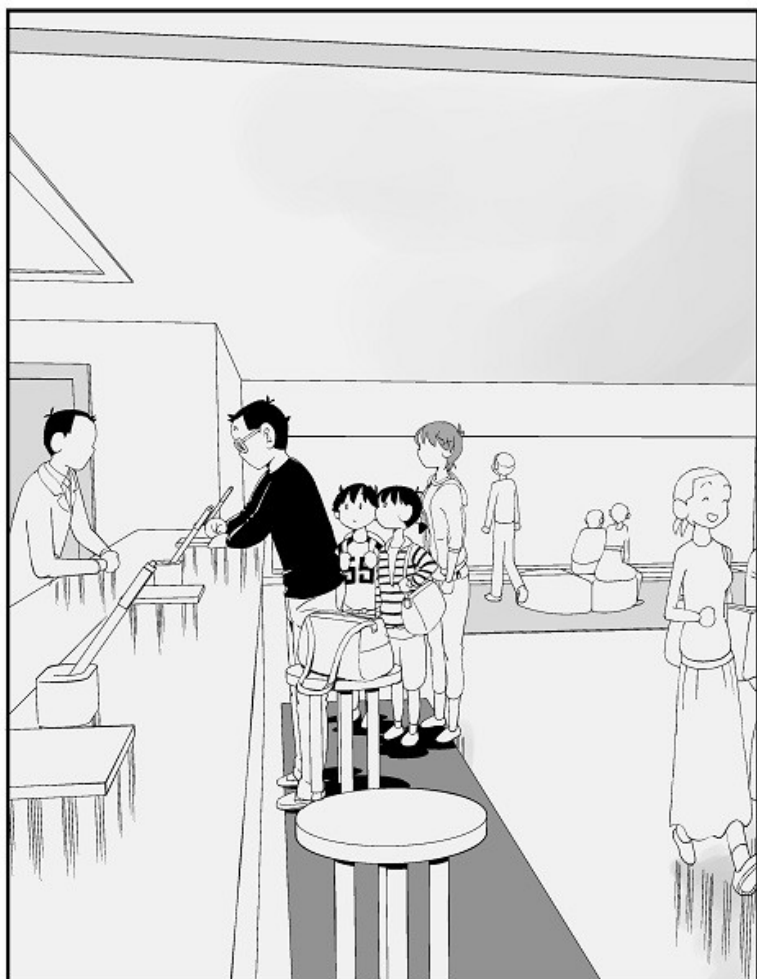
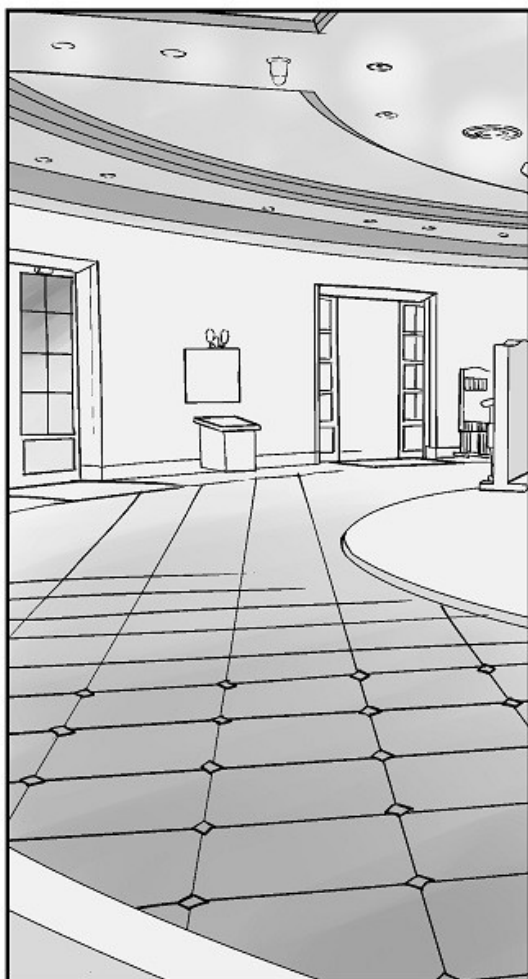
そんな一週間が
過ぎた頃だった

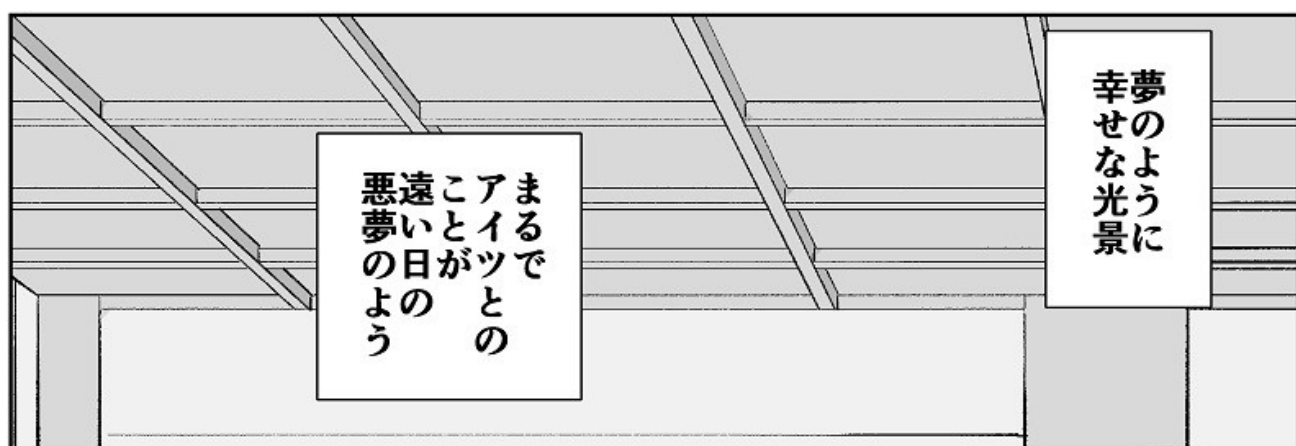




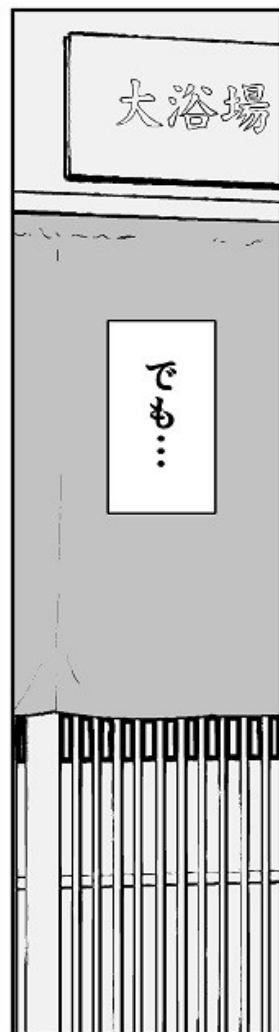


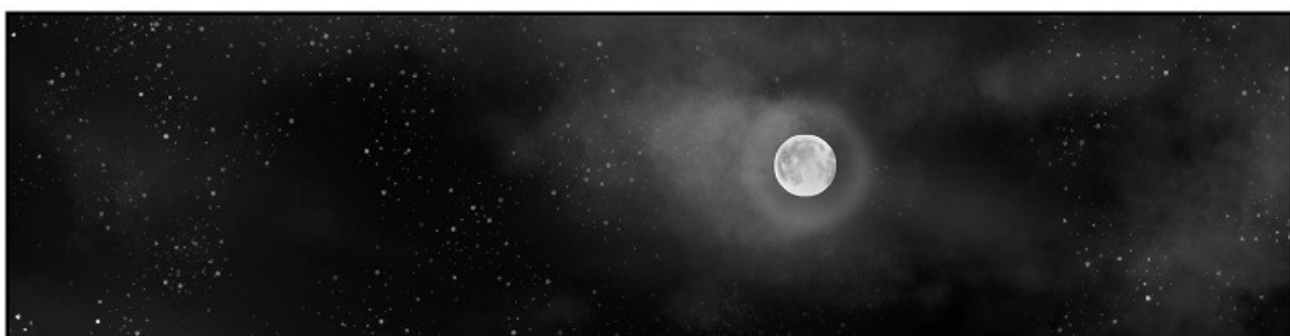


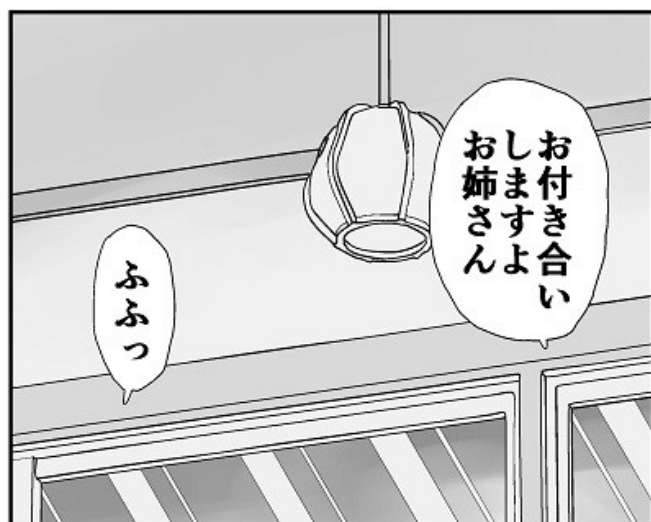




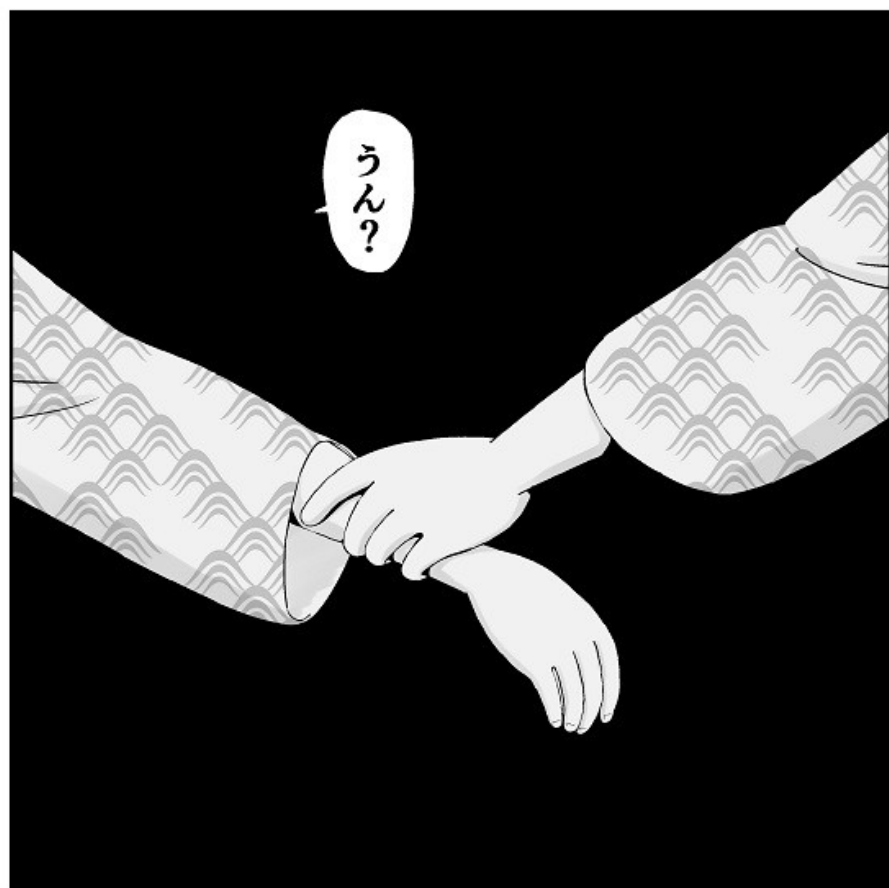






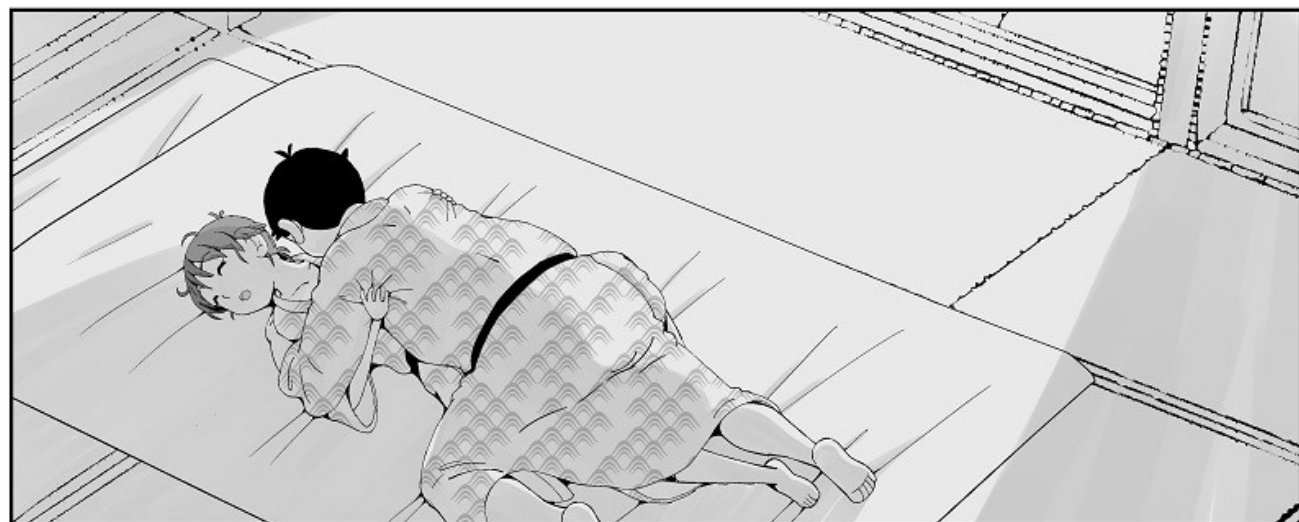


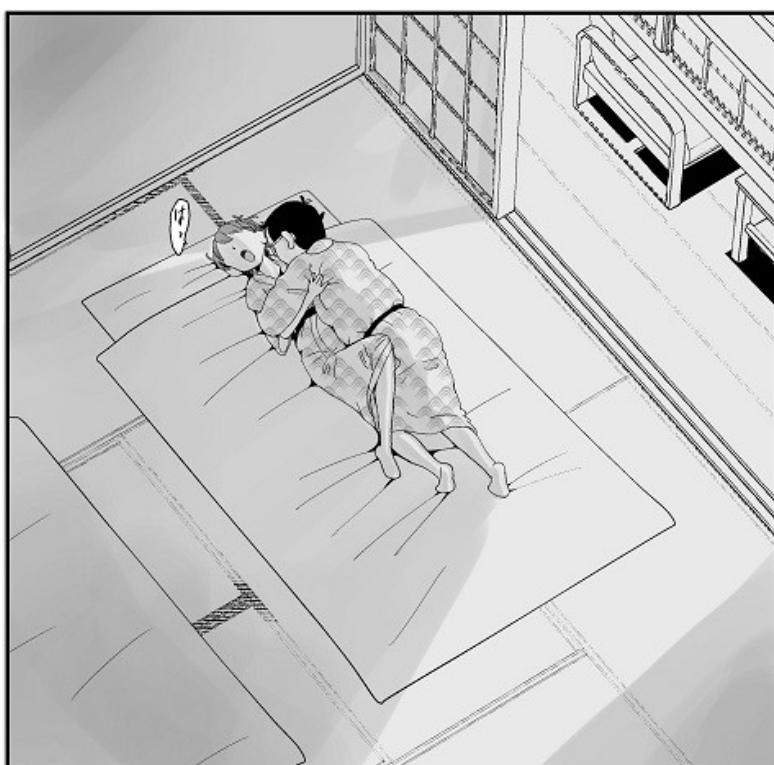
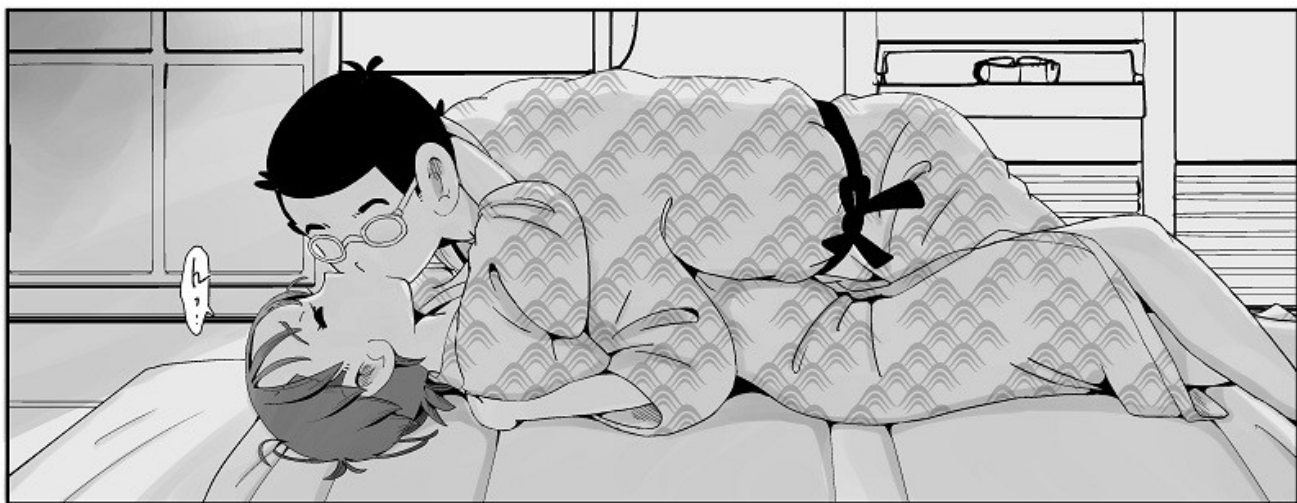


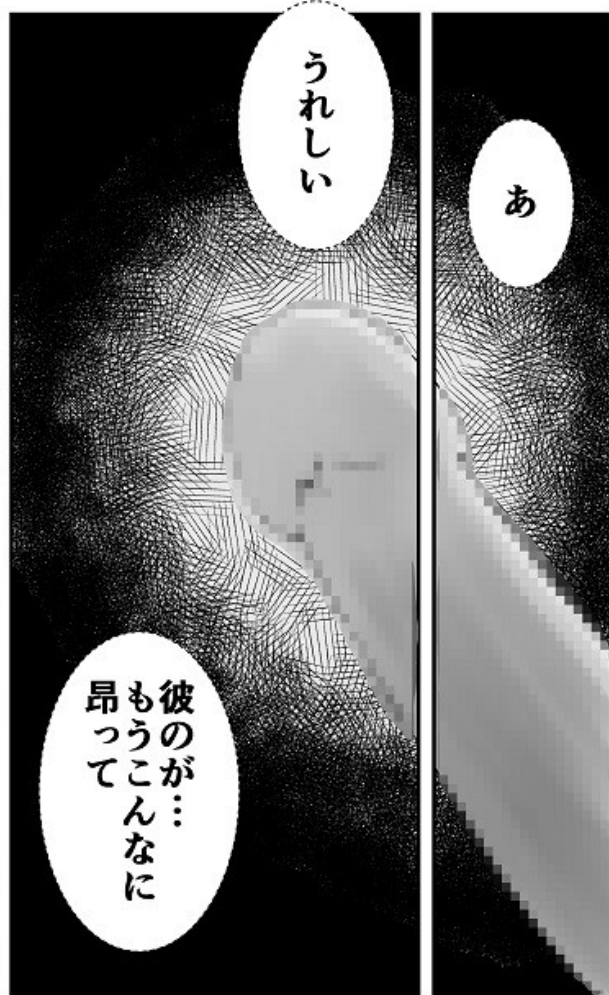


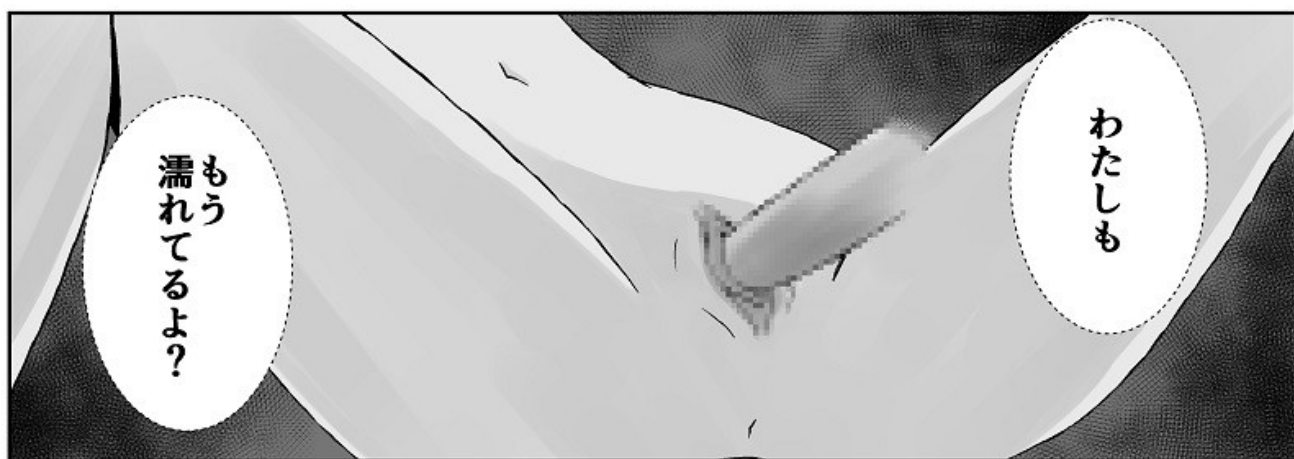
付き合って
半年も過ぎていて

今どき
珍しい人だ
うぶな人だ
でも優しく
あったた







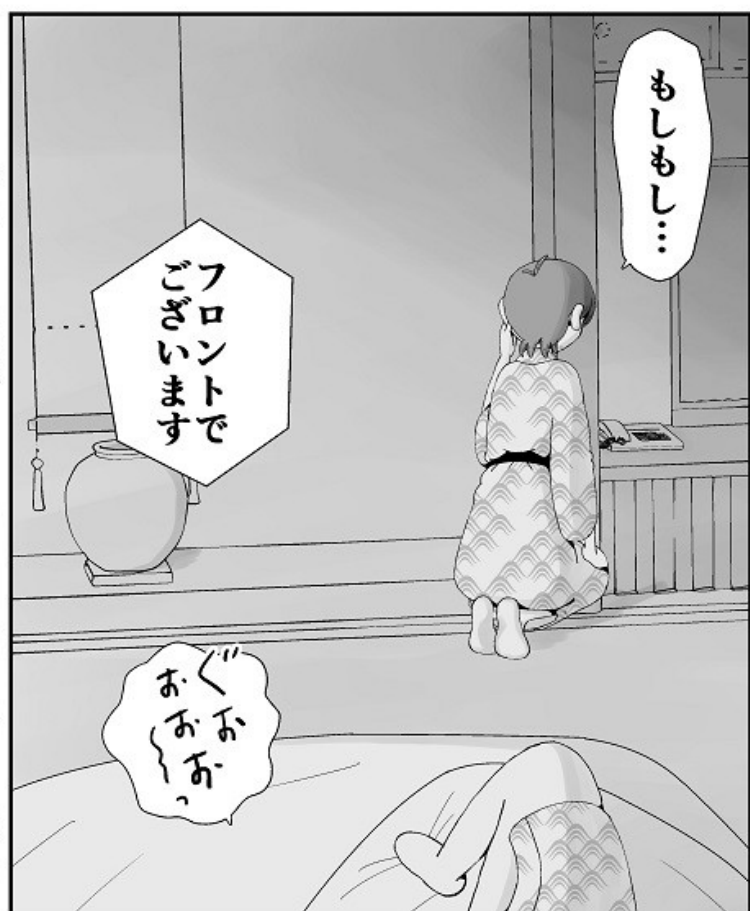


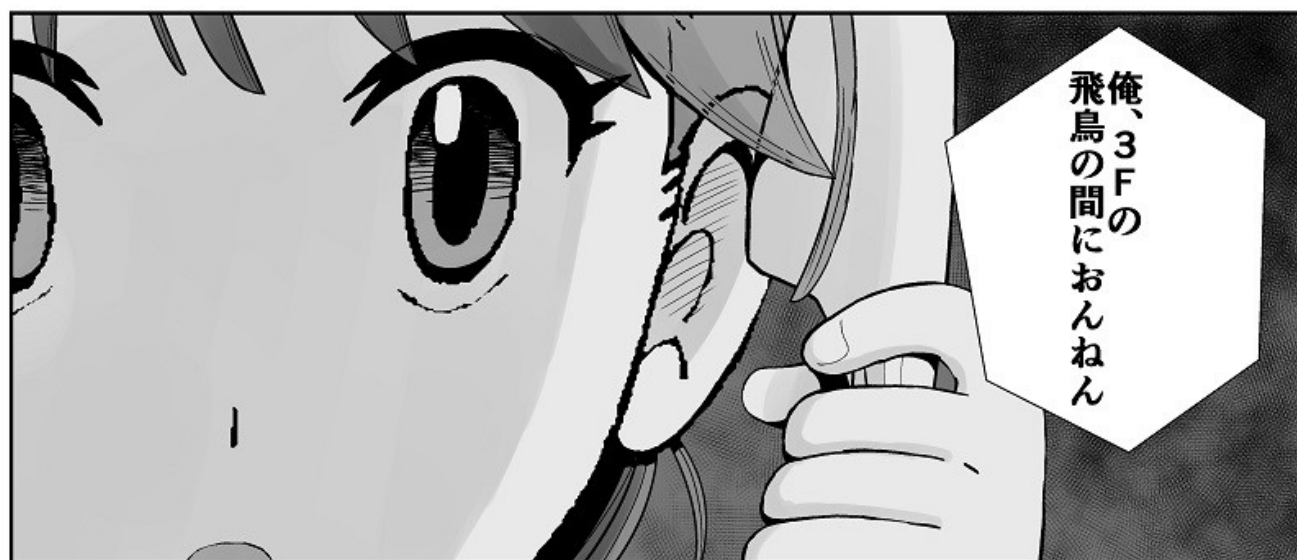
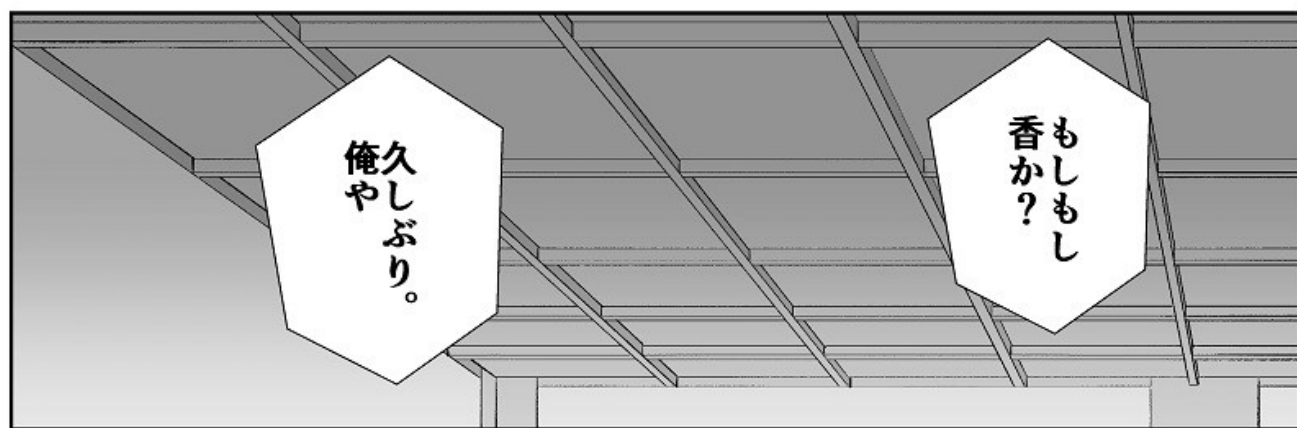
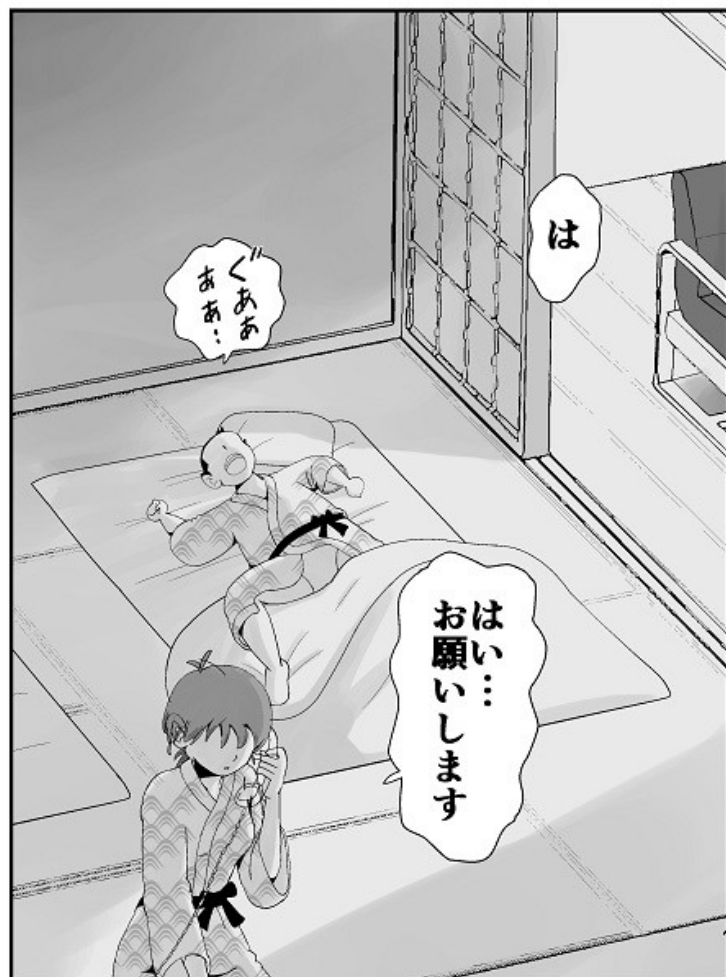


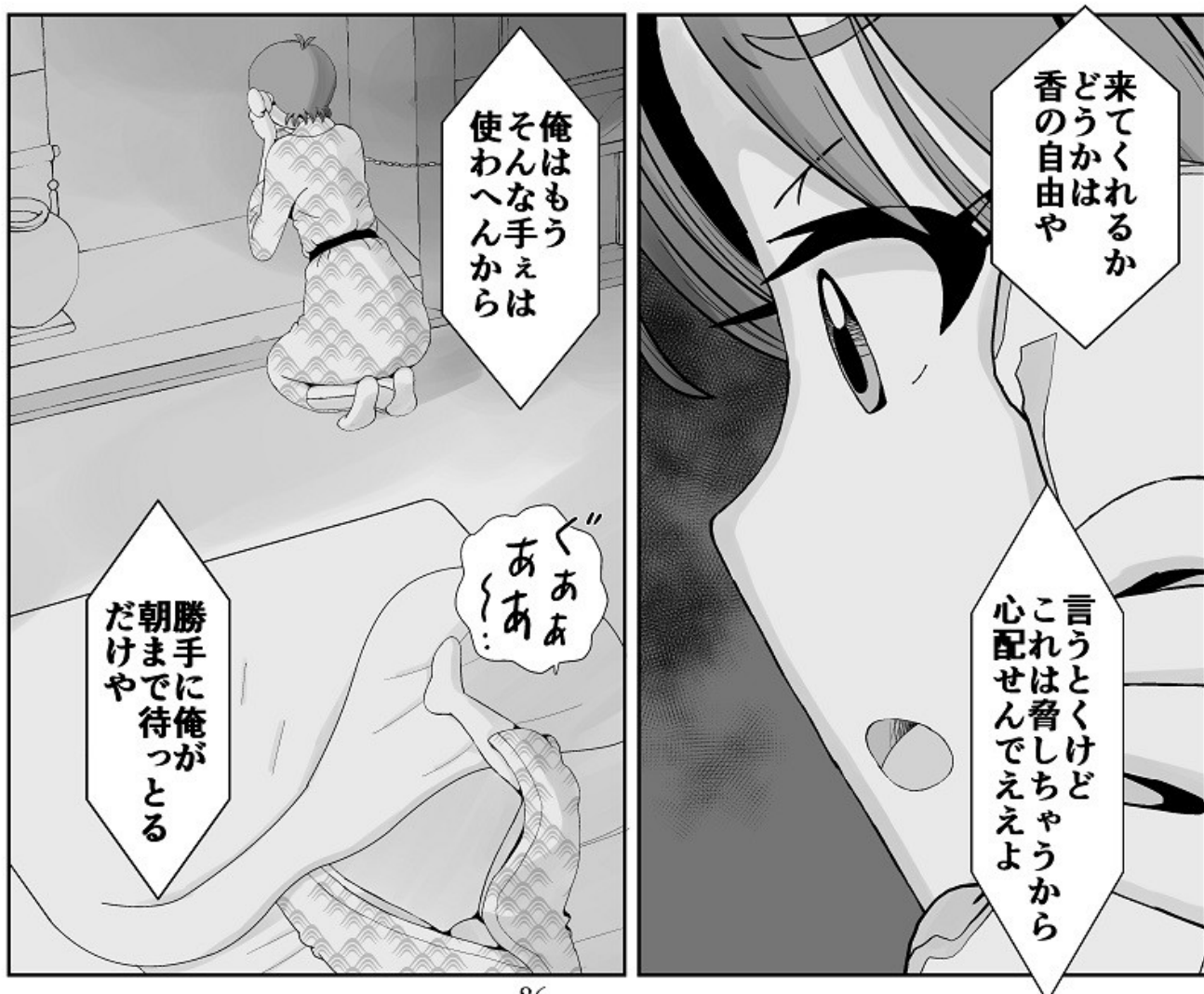
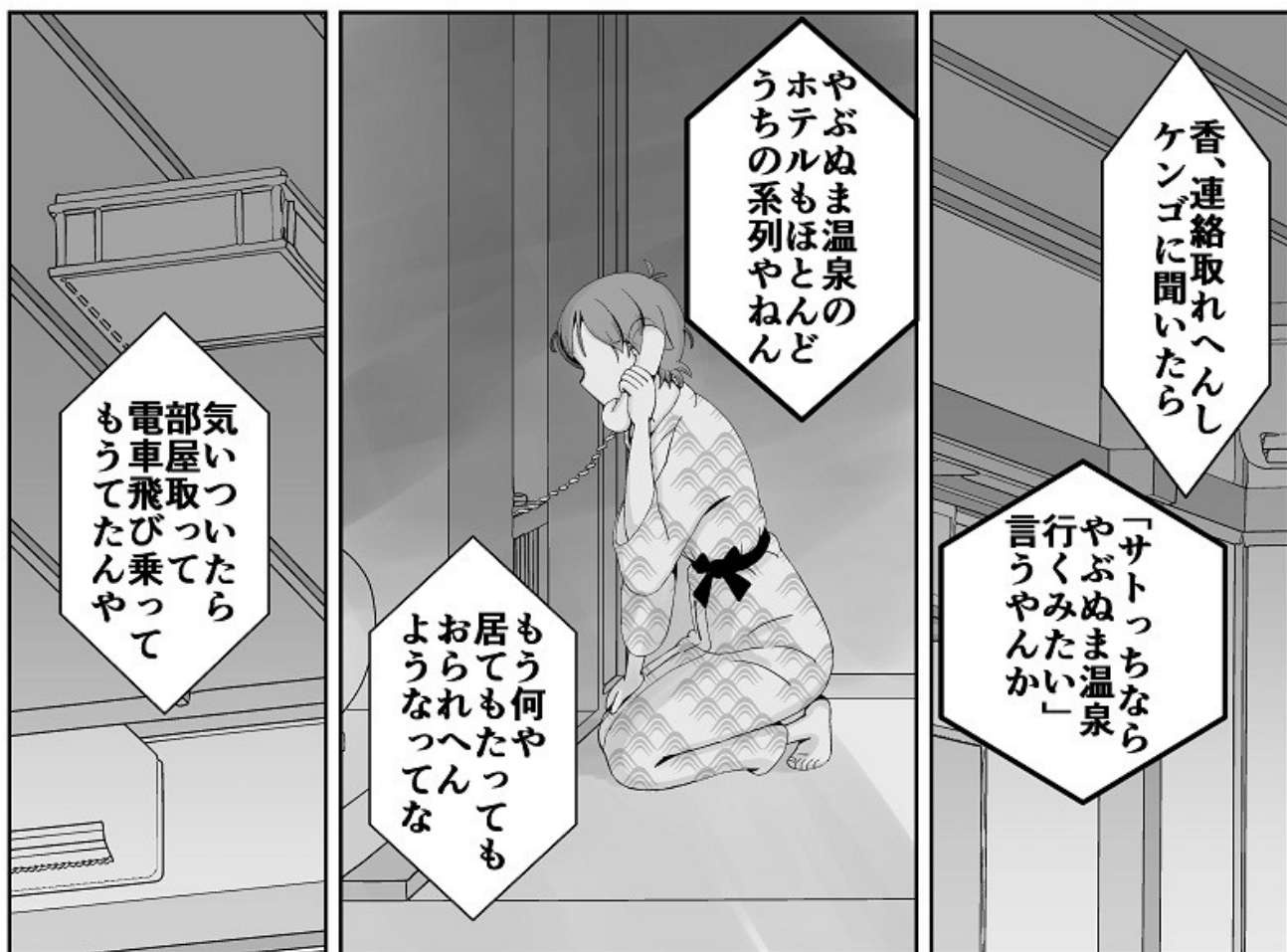








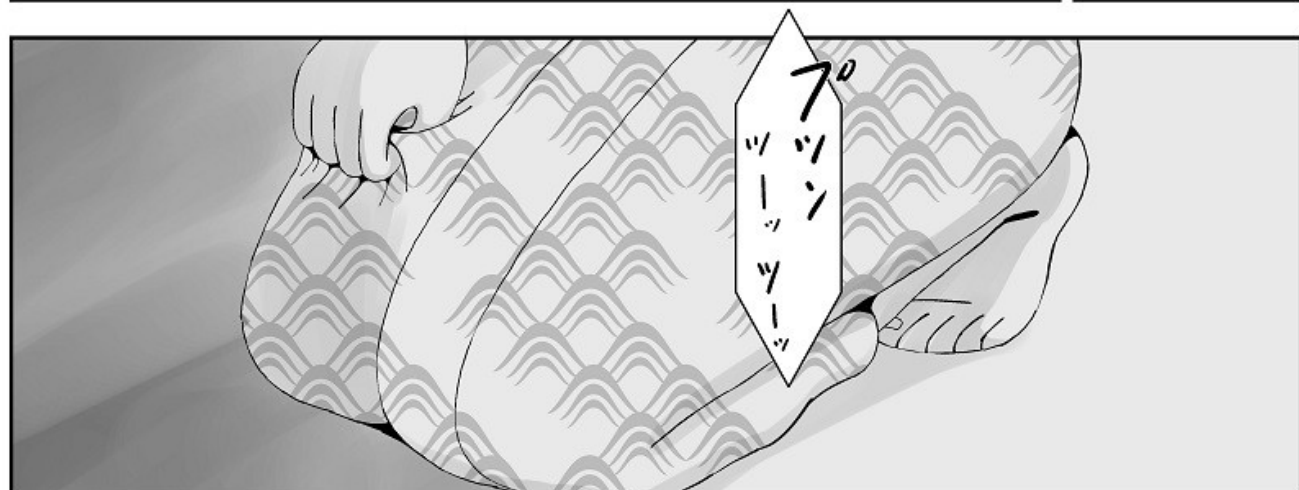




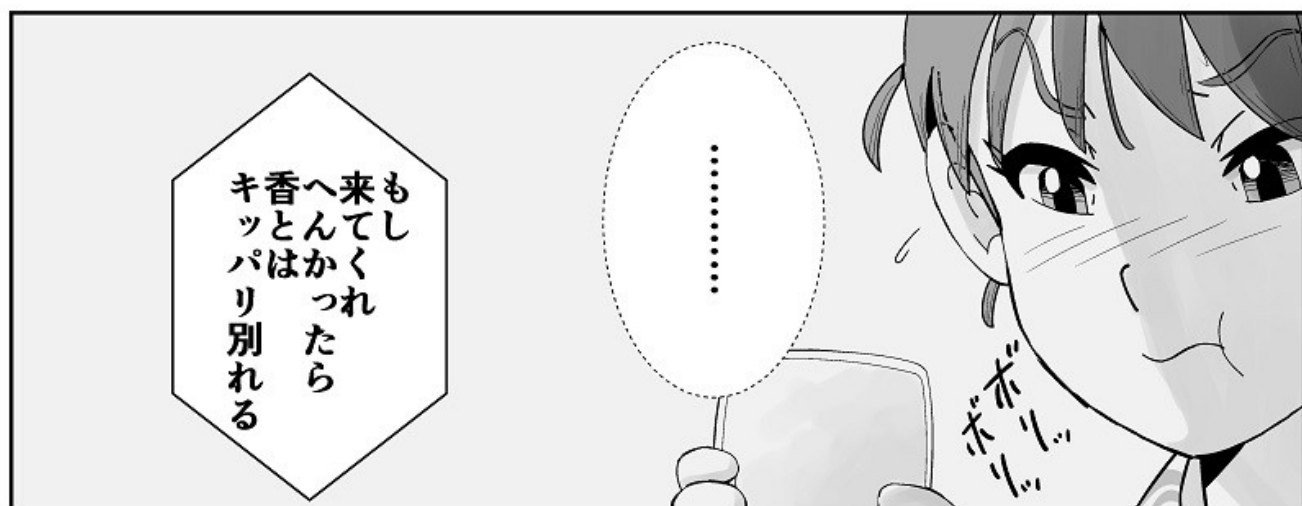


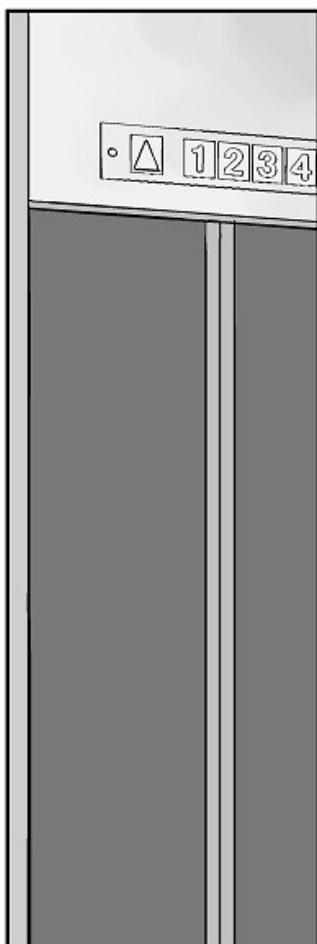
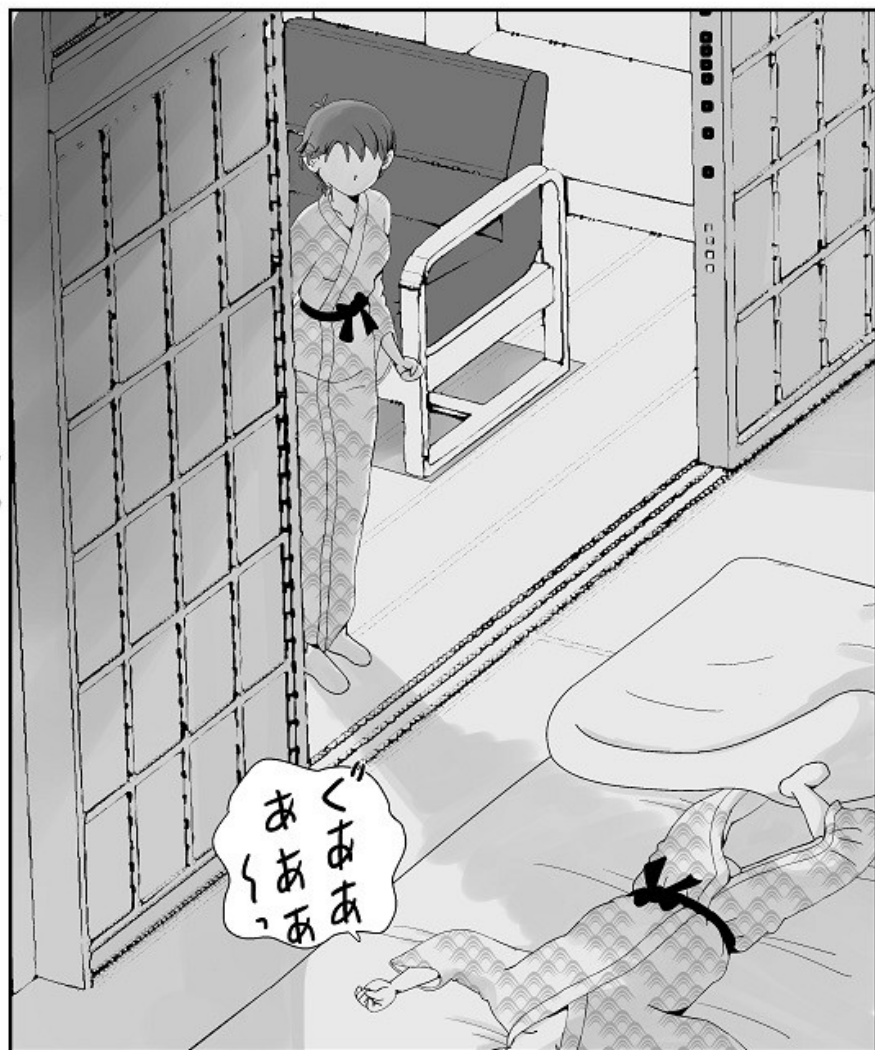
俺も男やから
二言はない

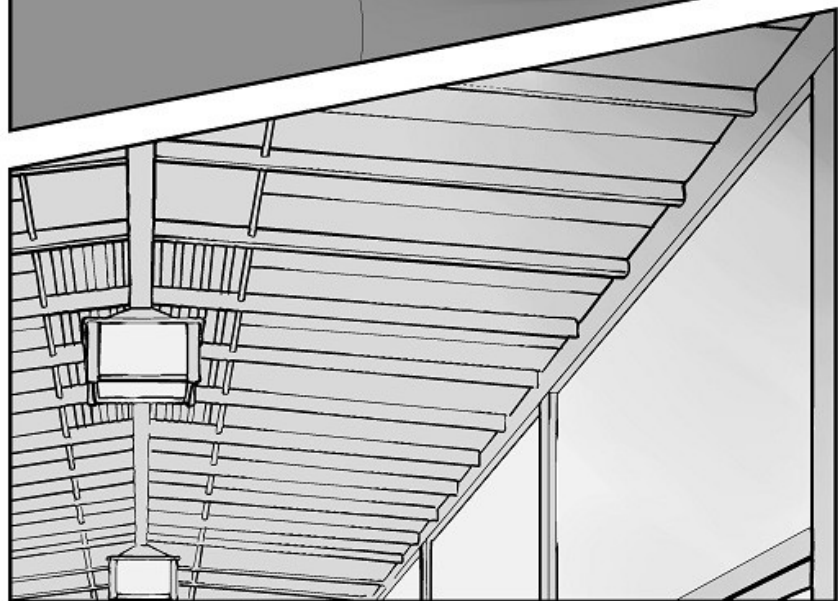
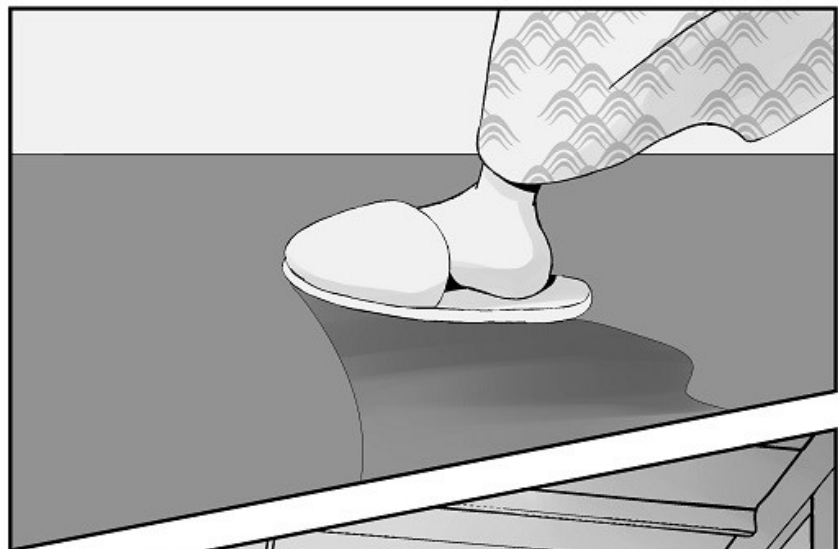
3Fの飛鳥の間や

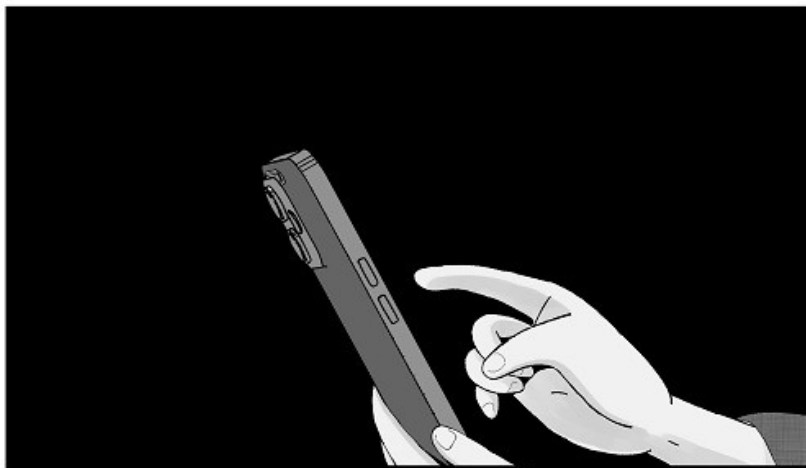


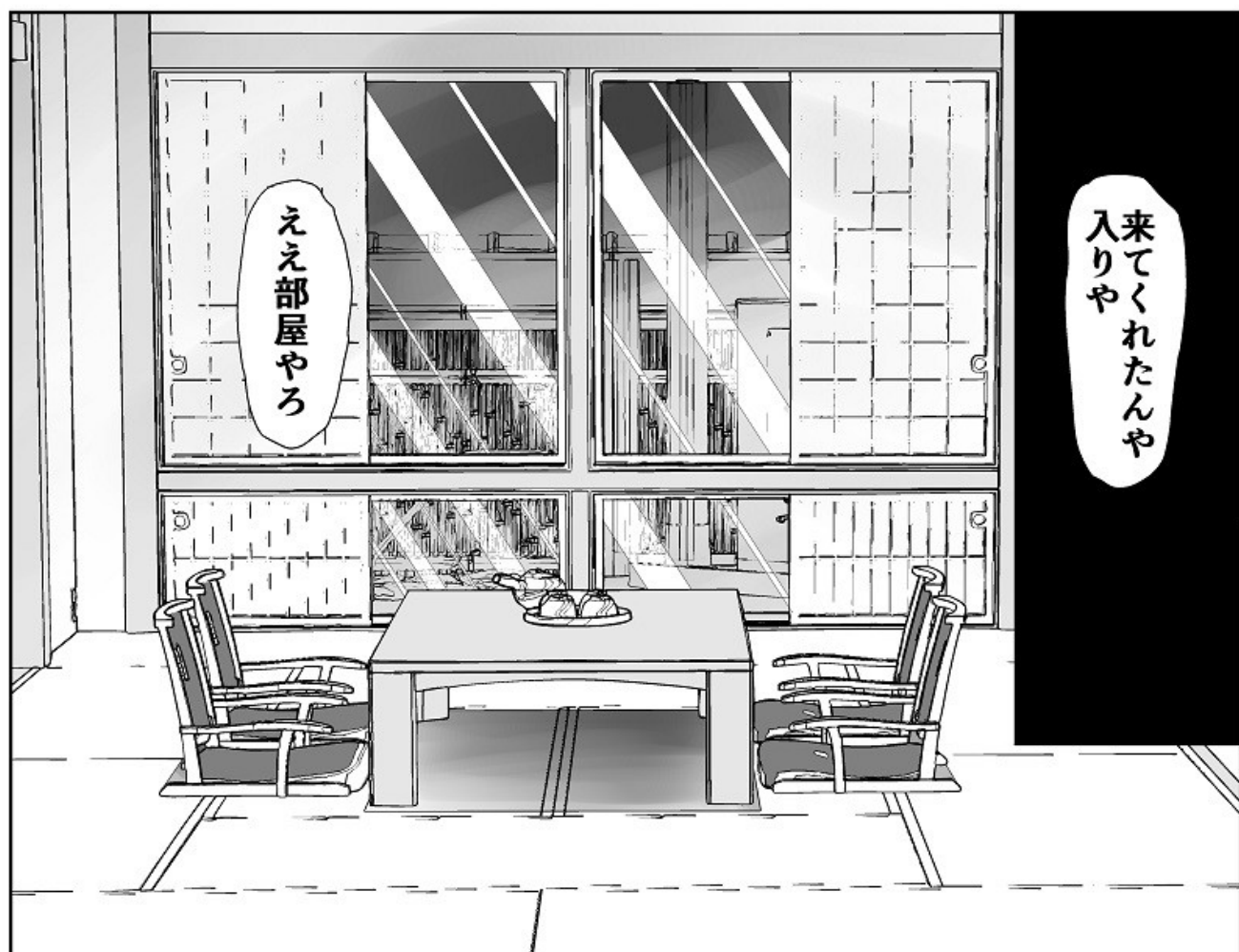


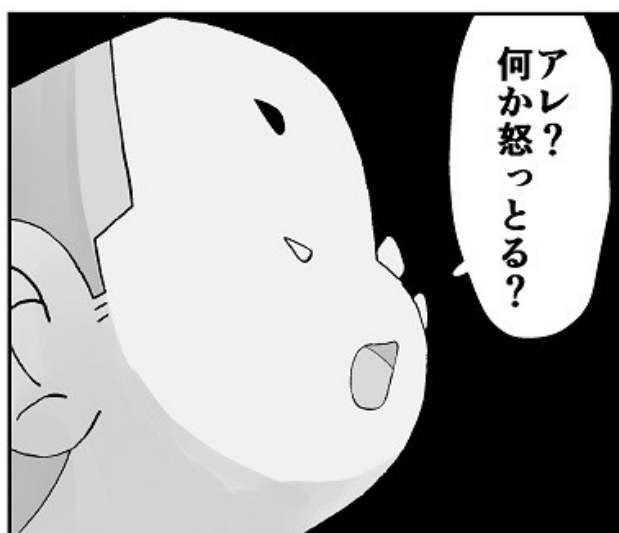






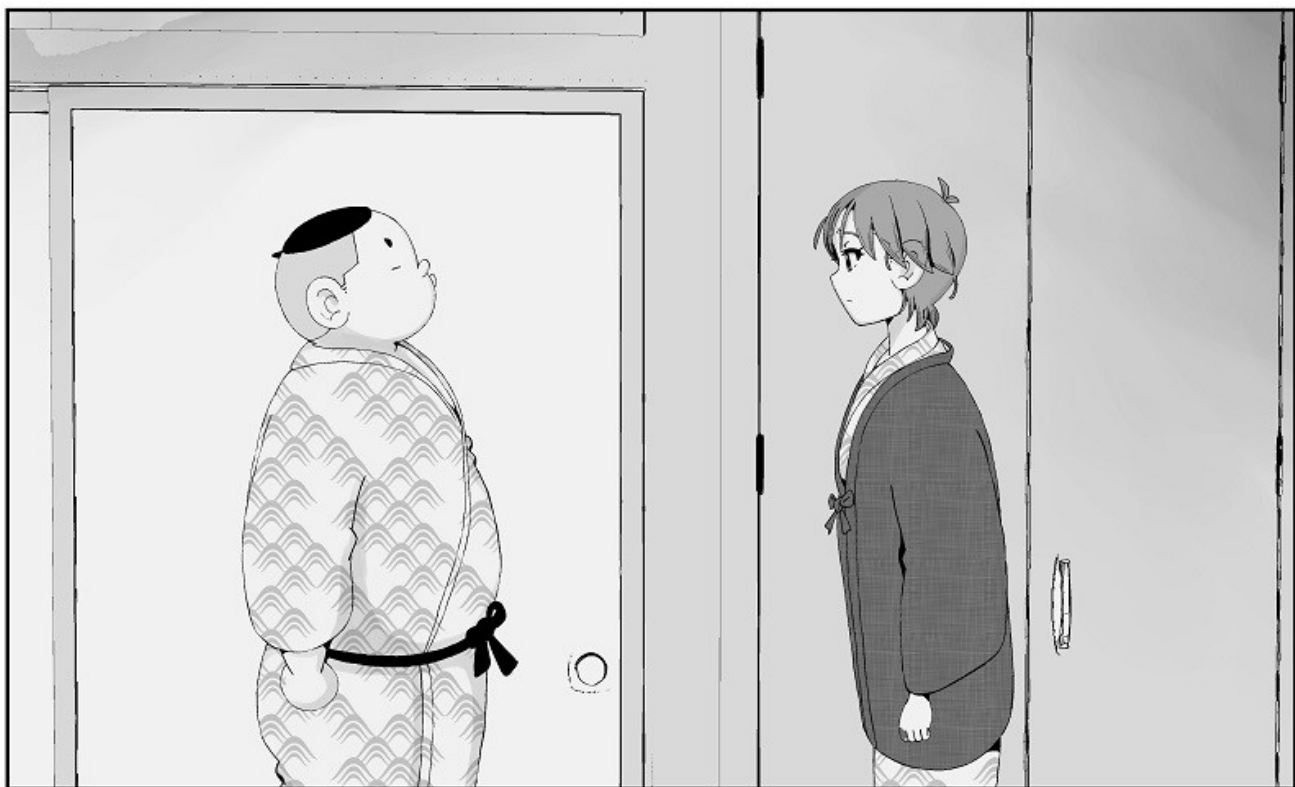




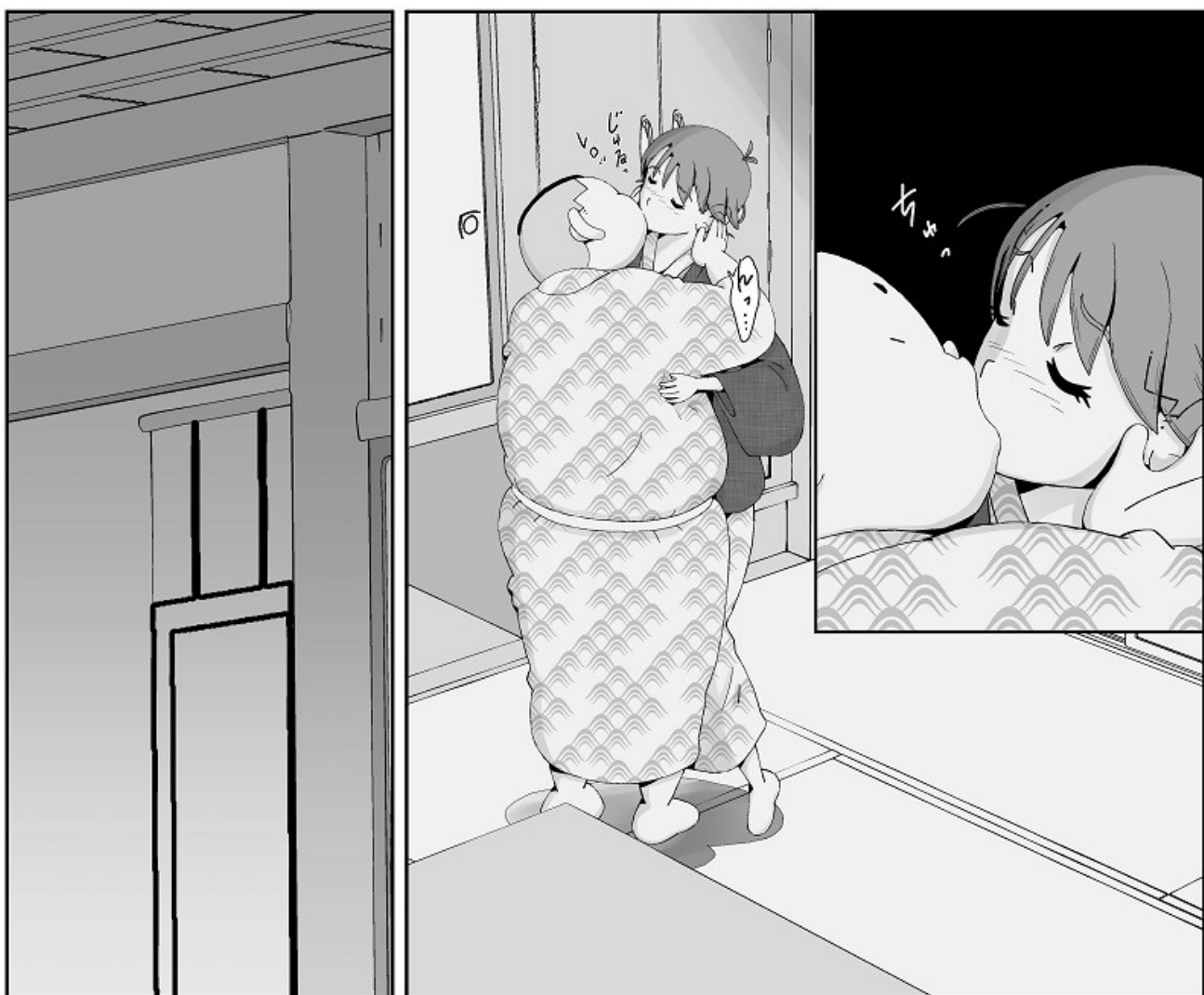


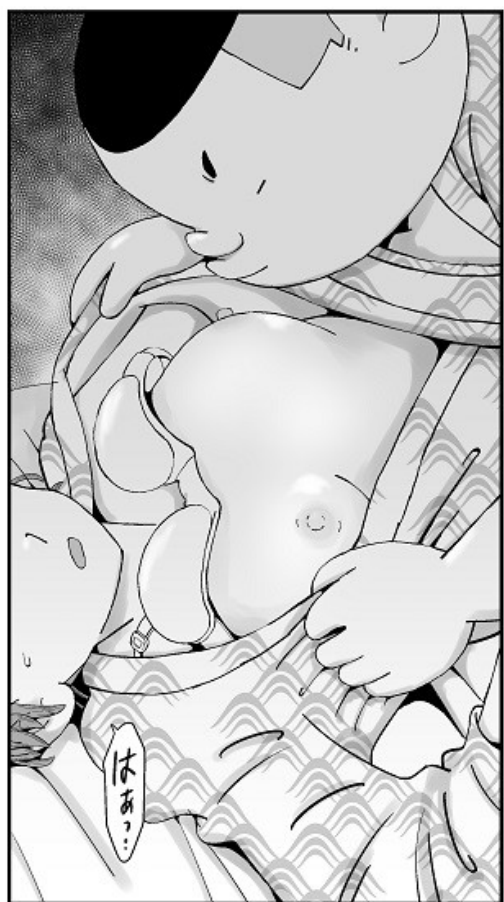


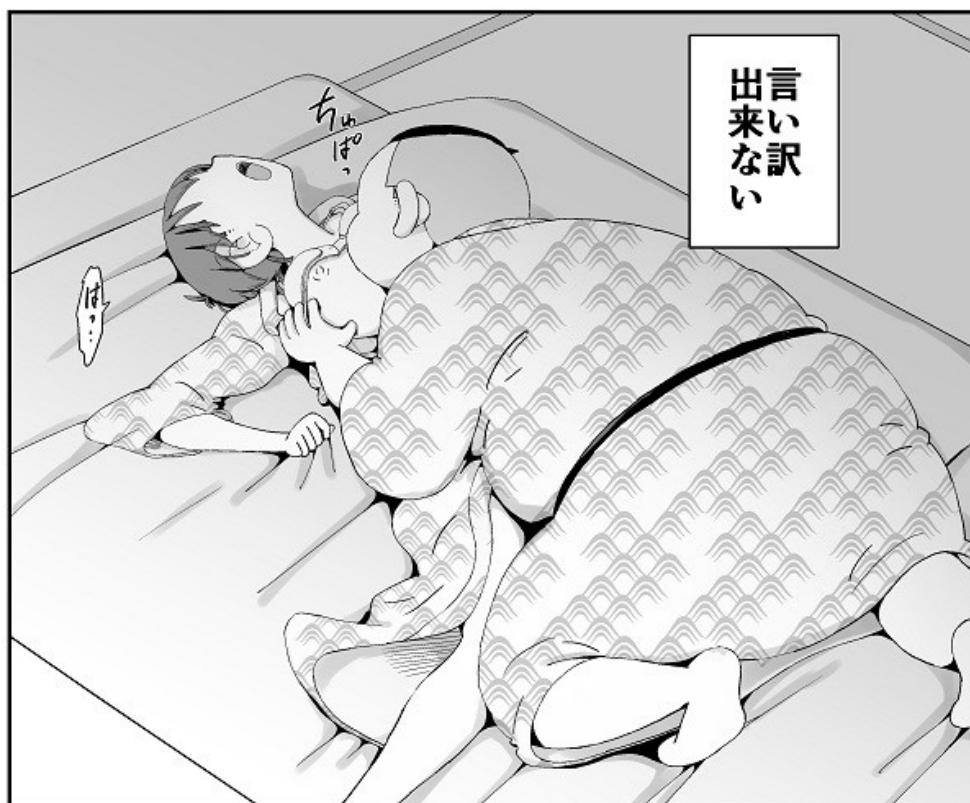






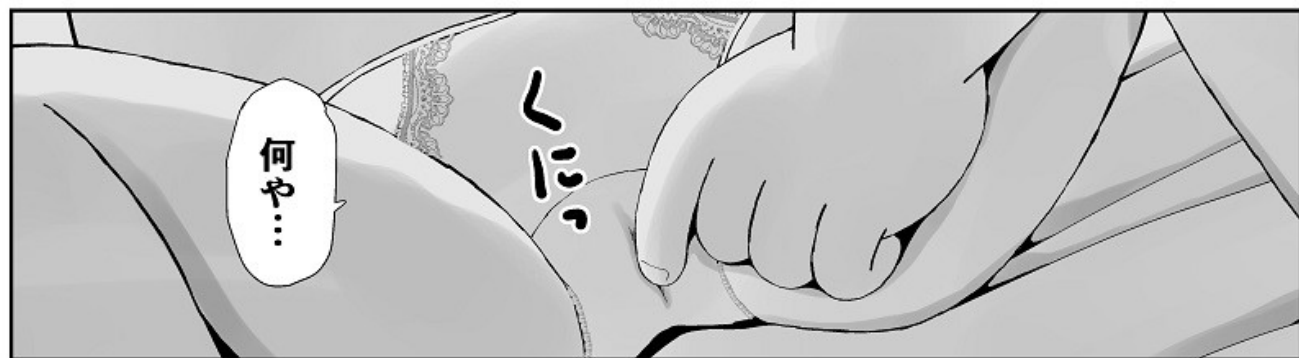


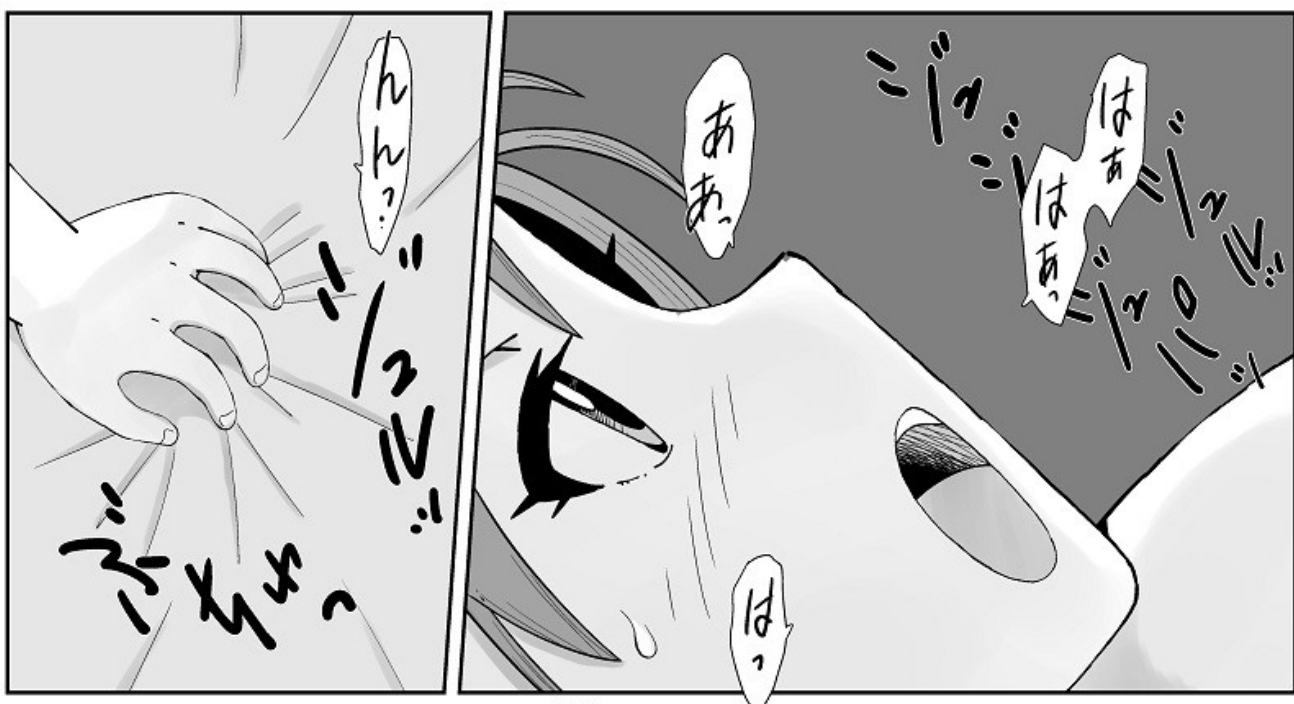
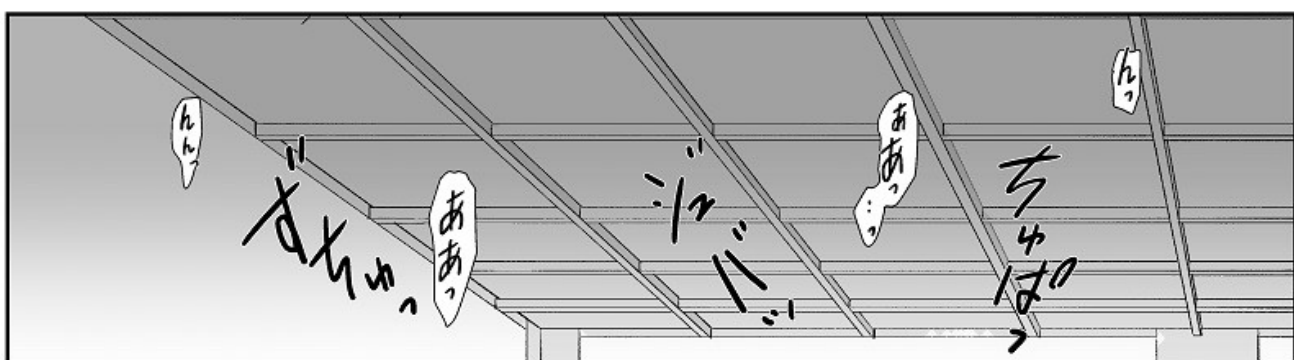


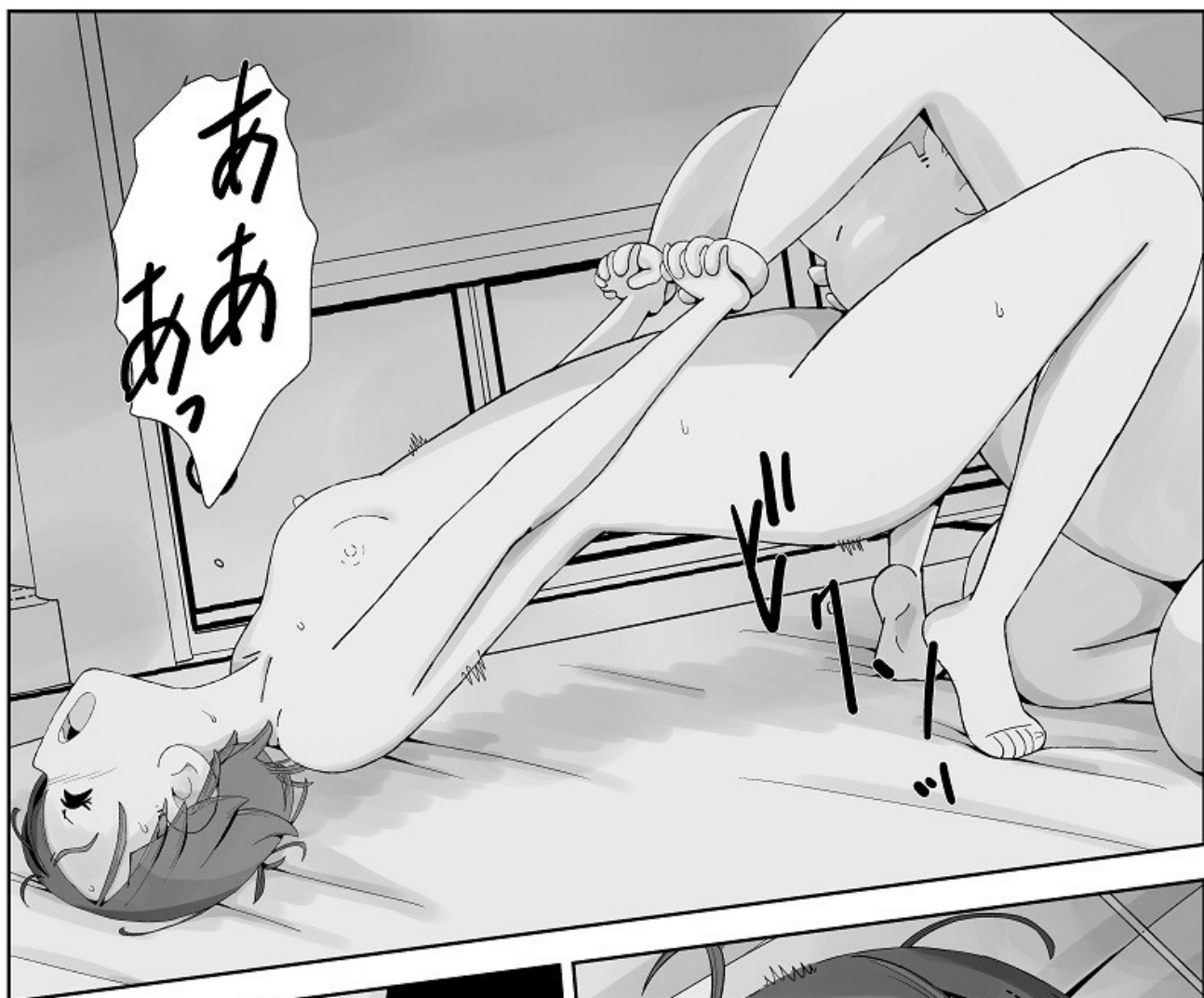


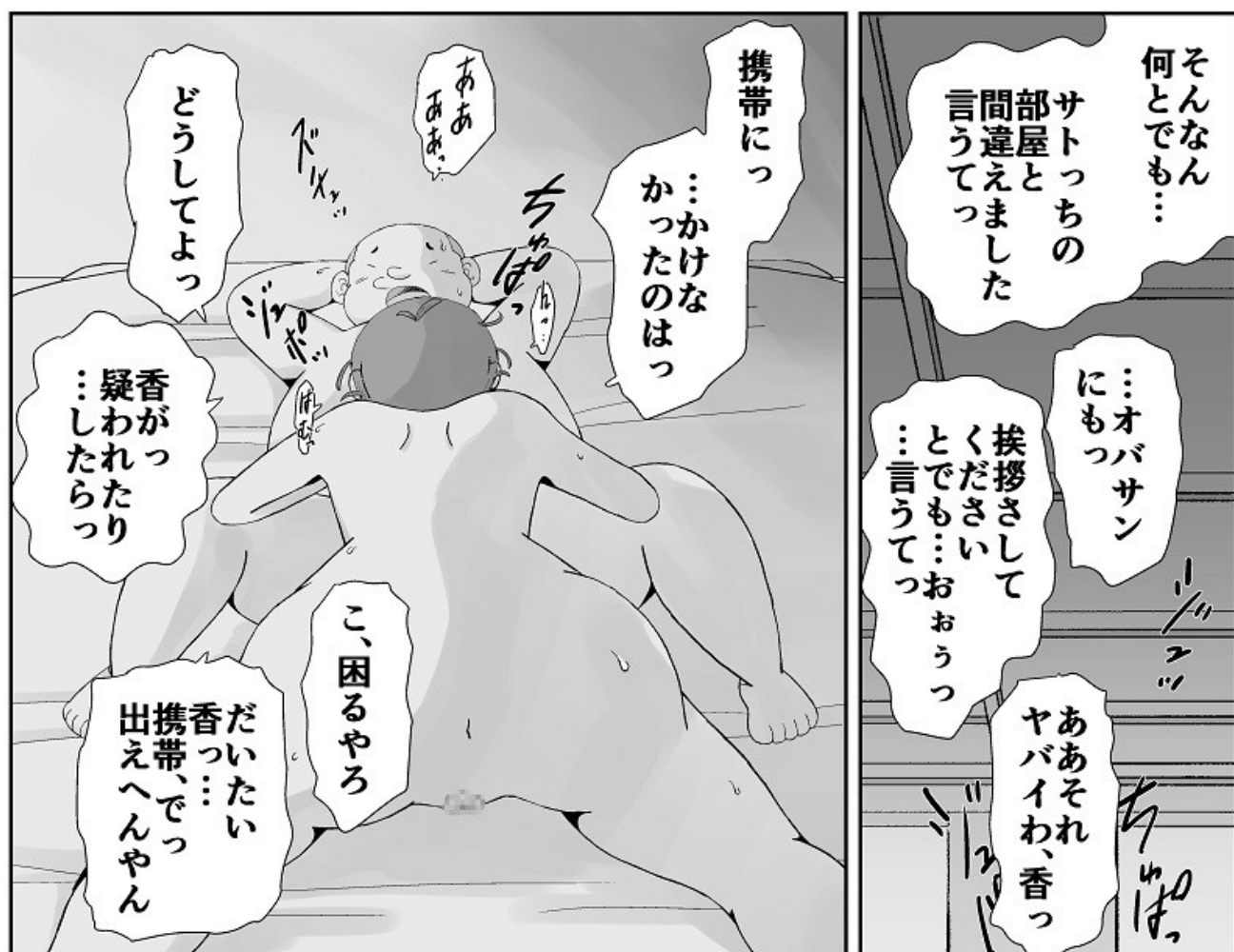
もう





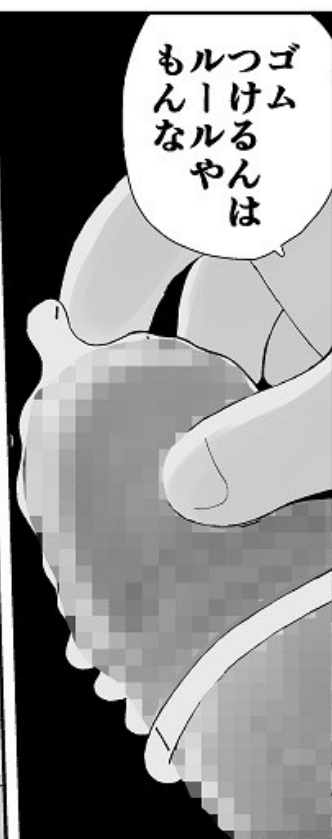




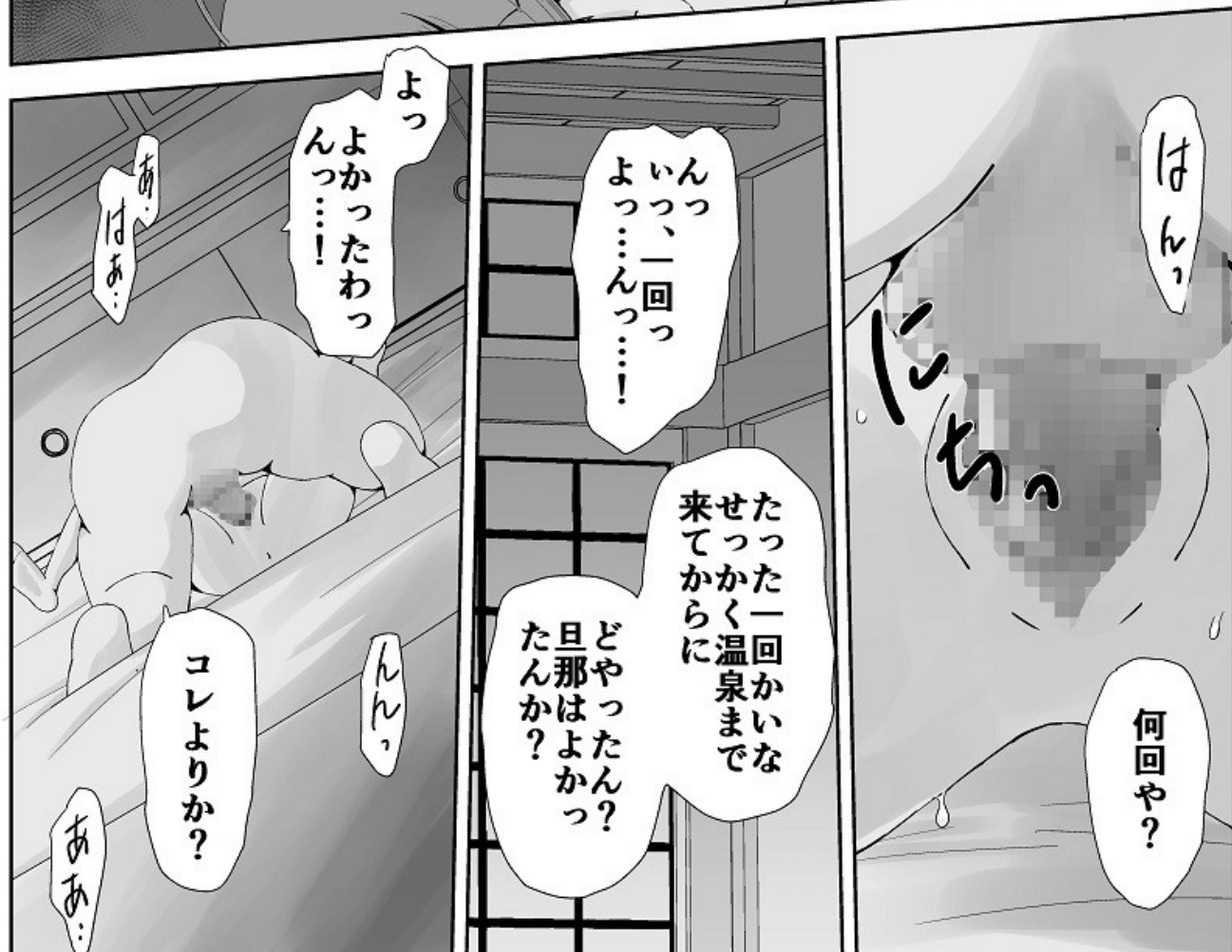
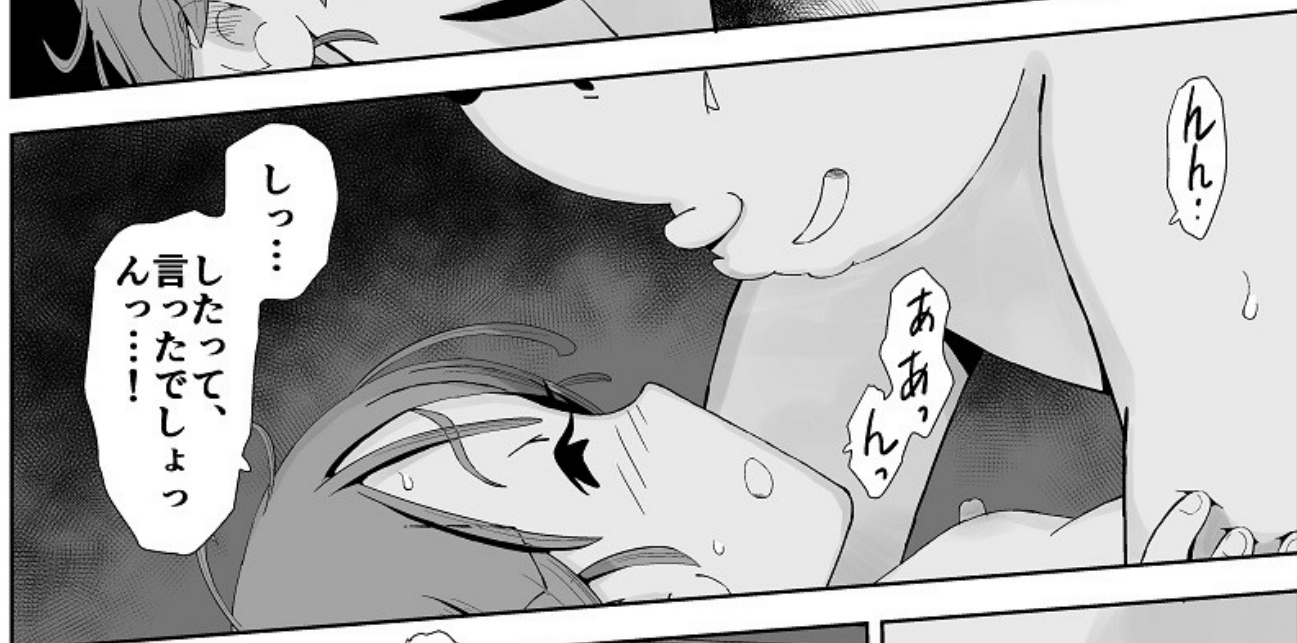




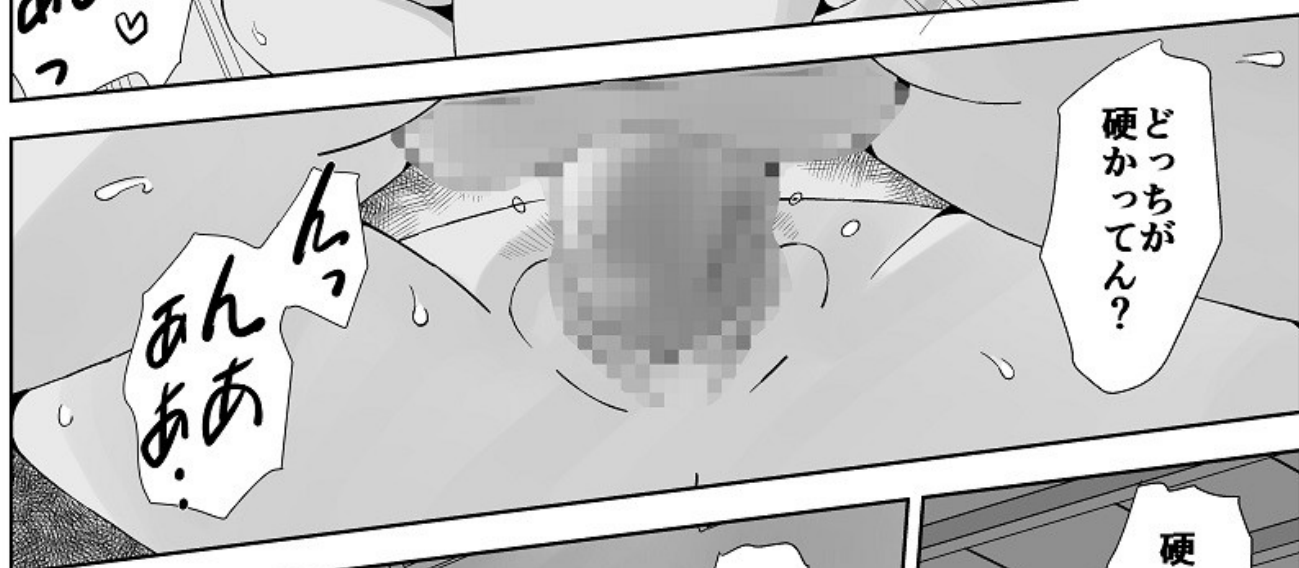


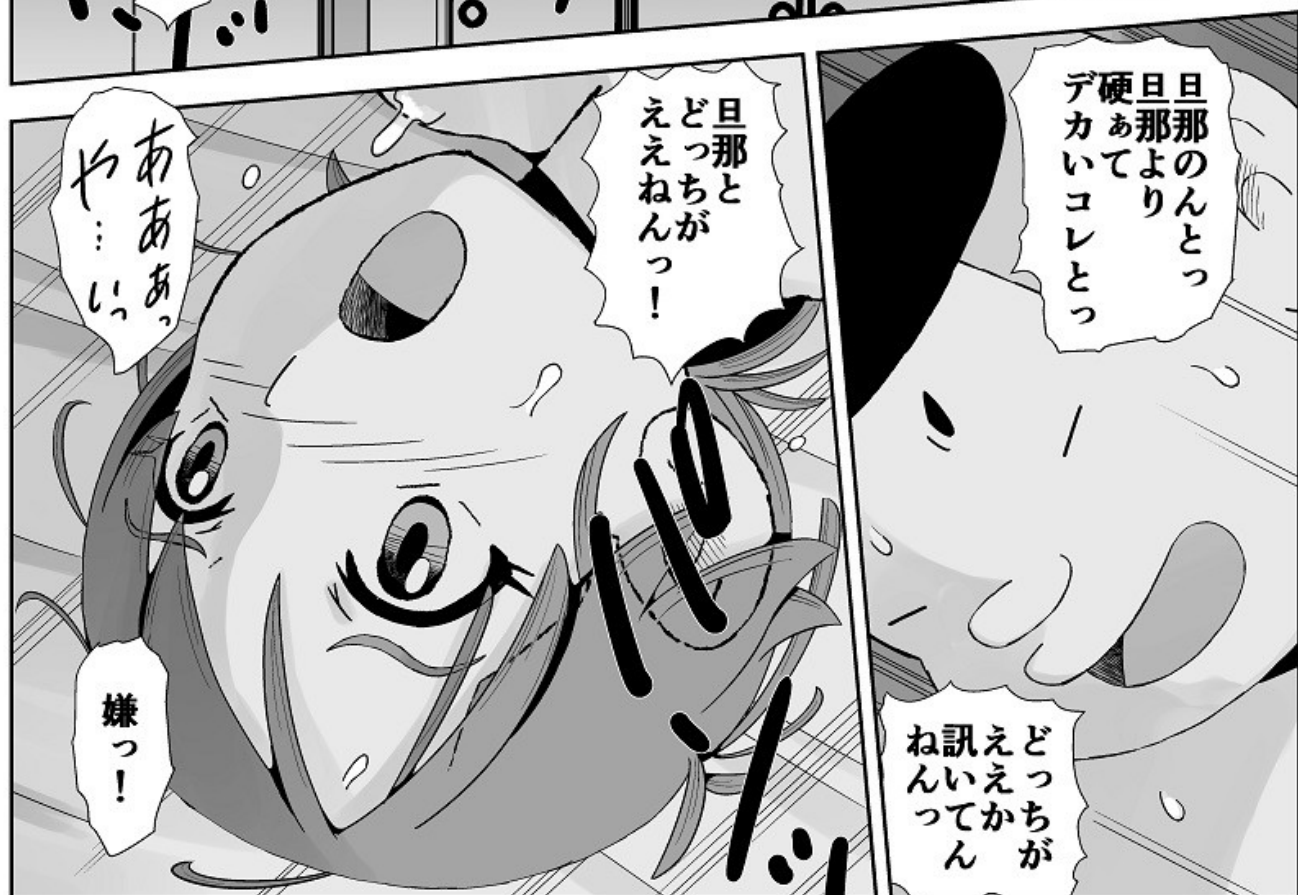
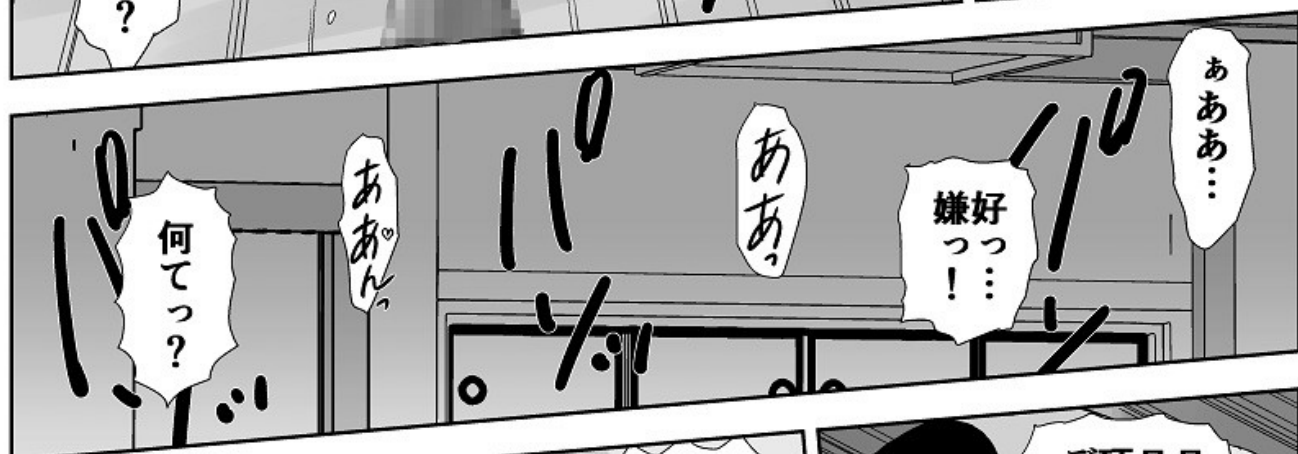
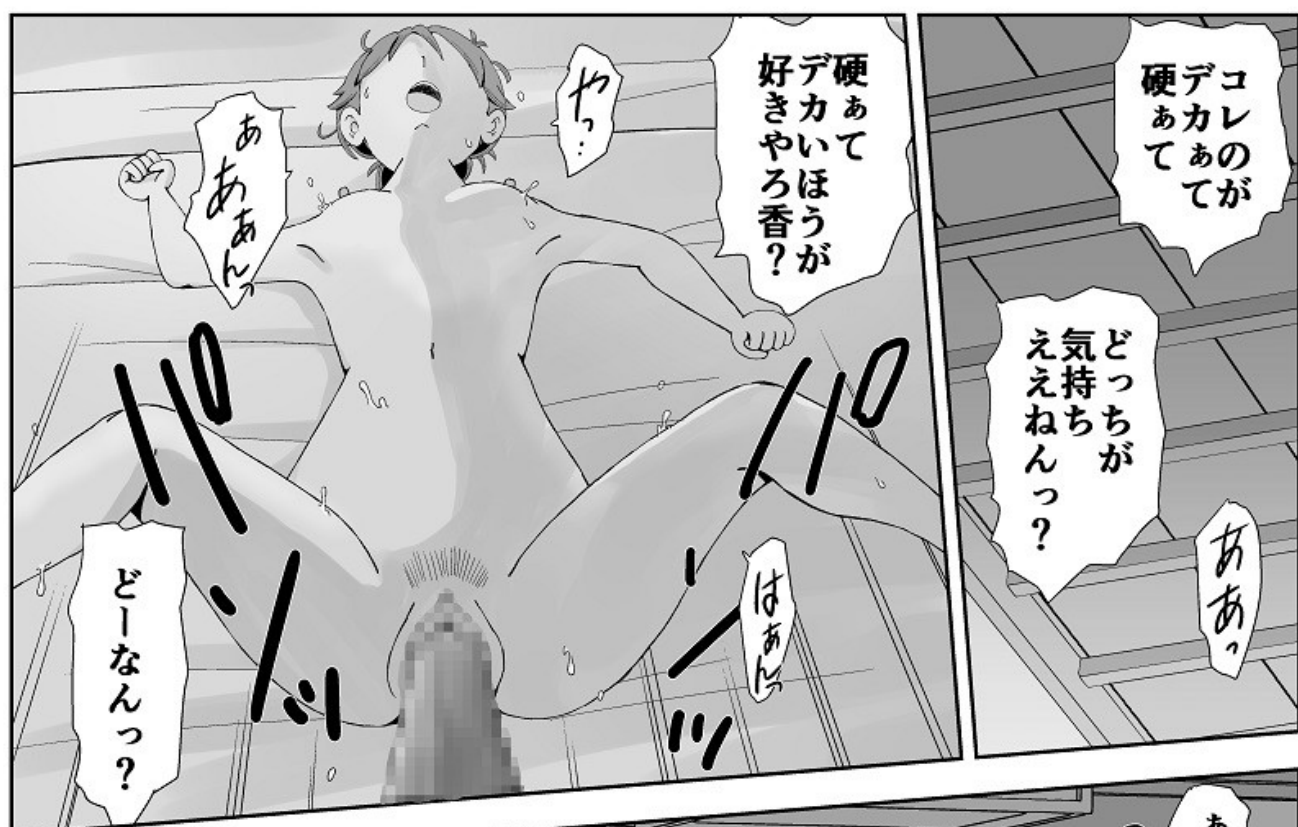


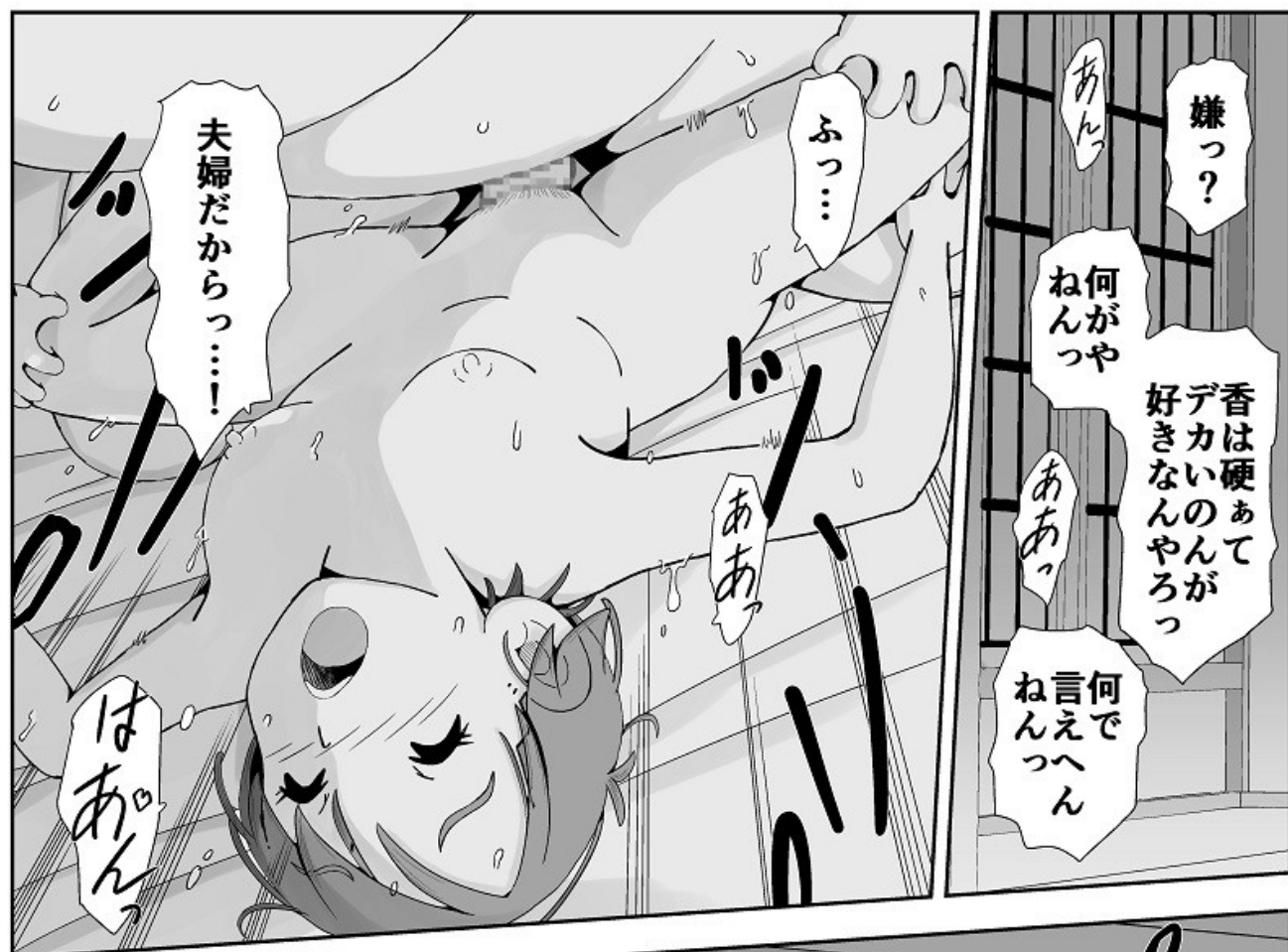


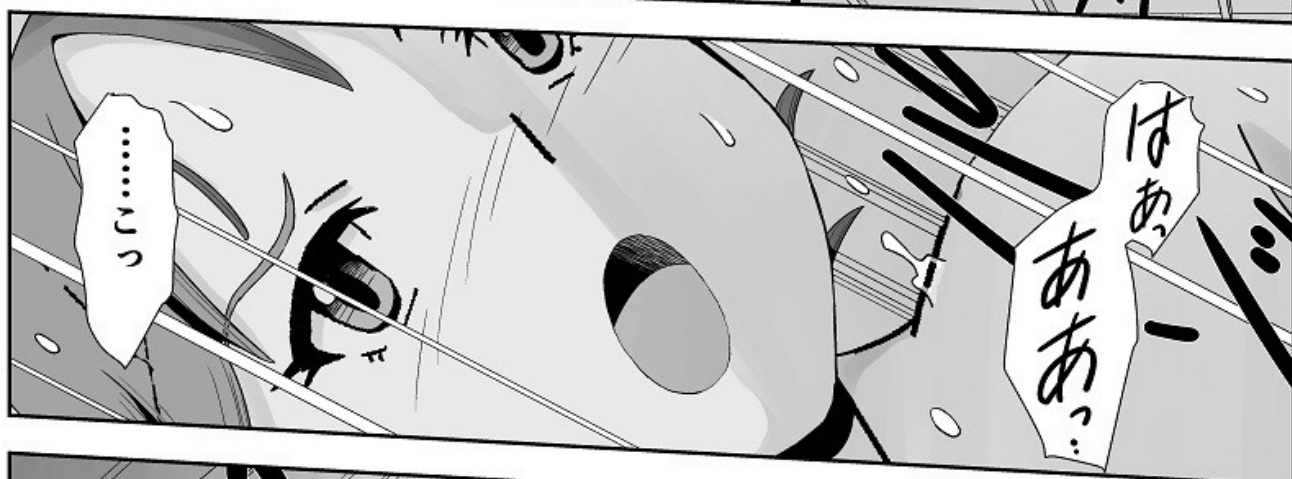
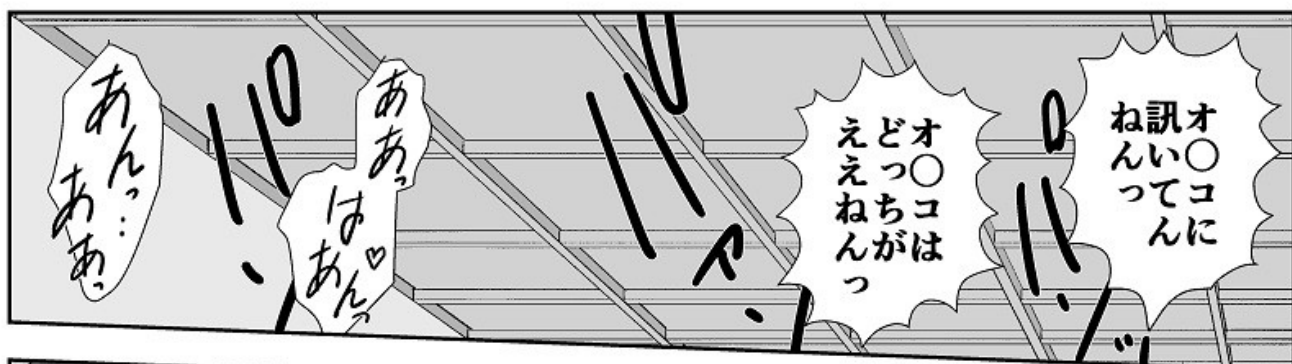


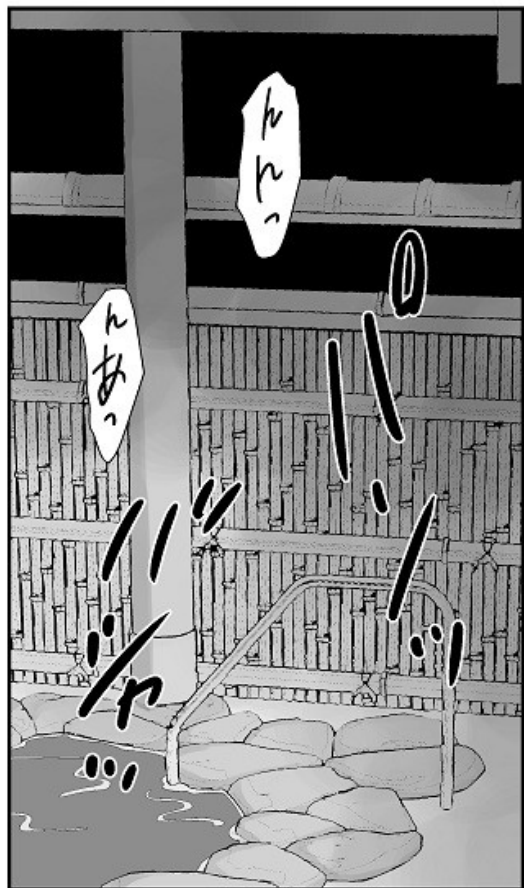




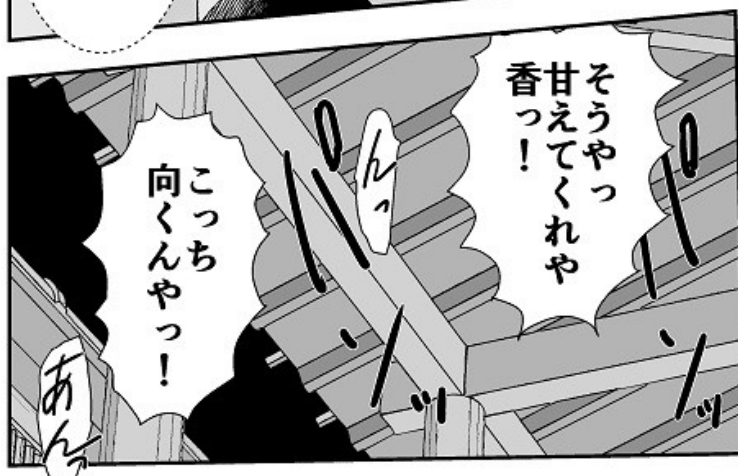






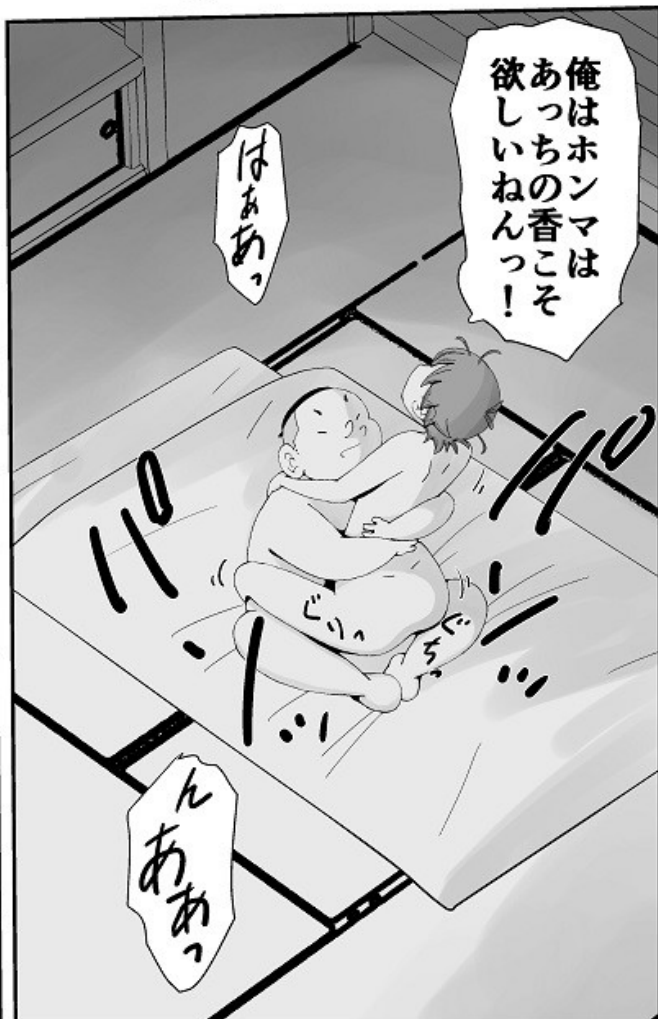


















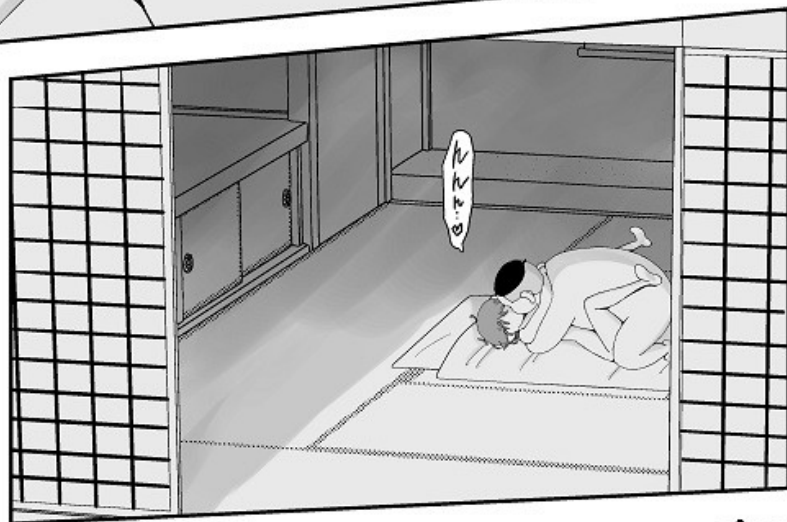


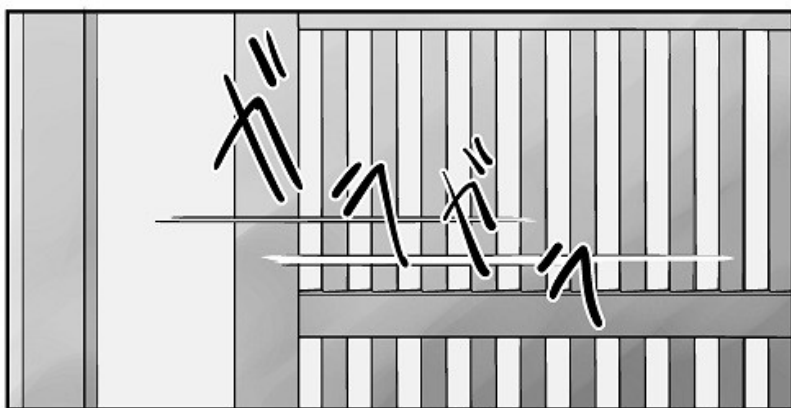
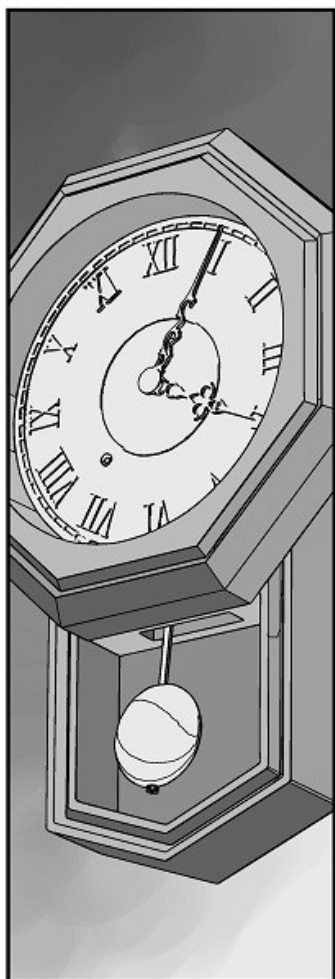








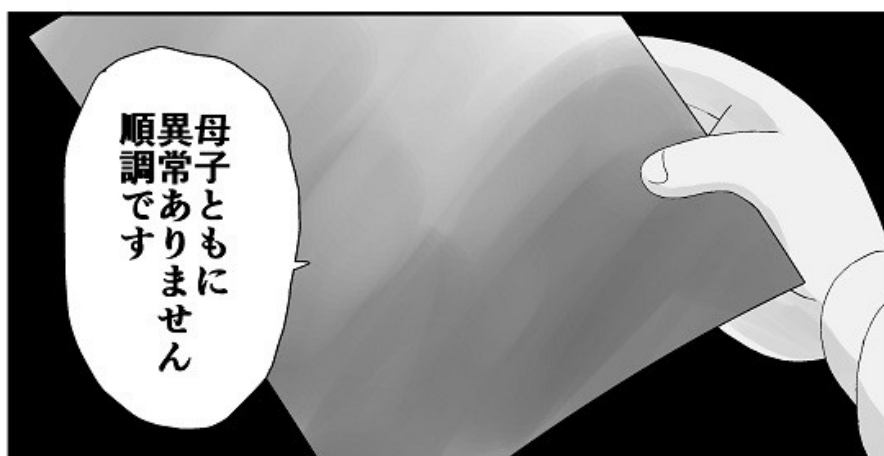
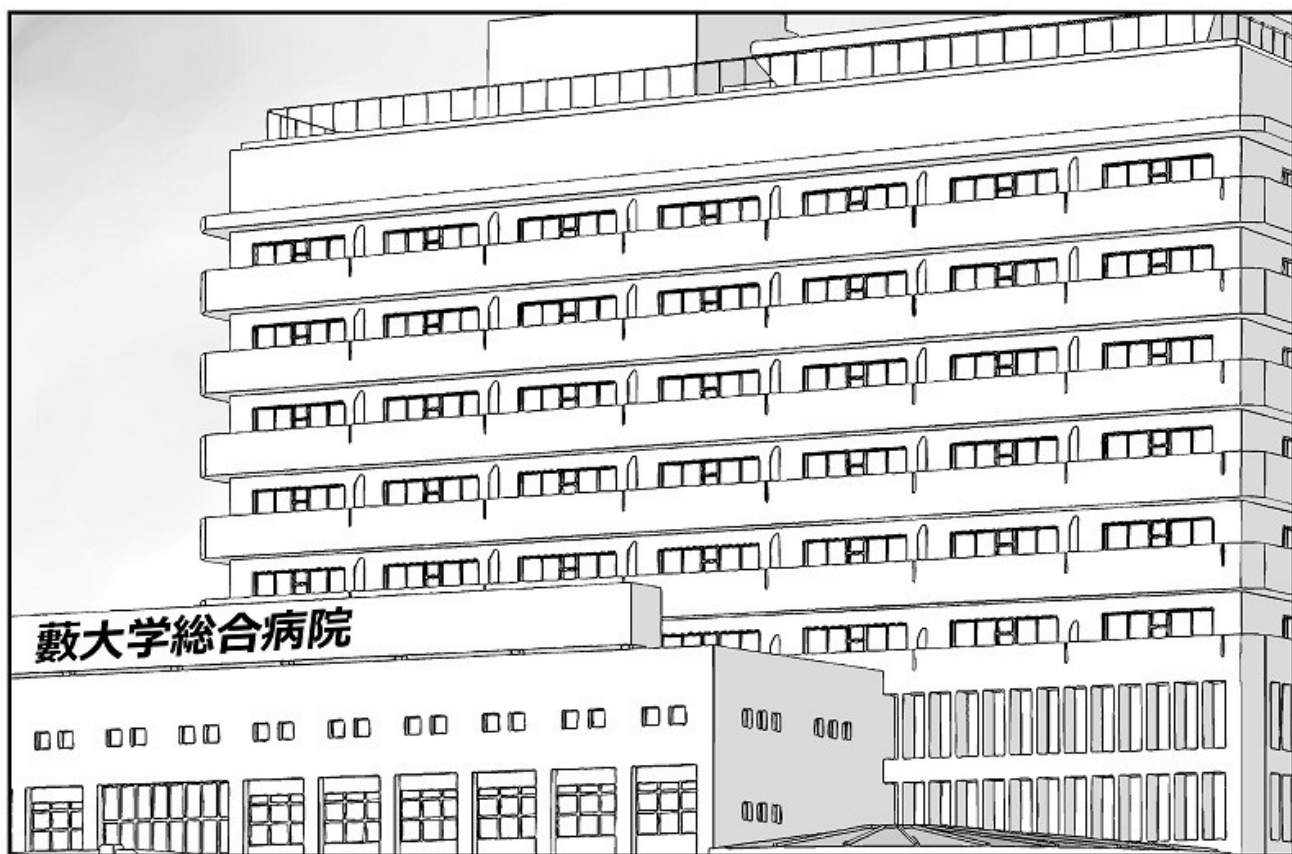


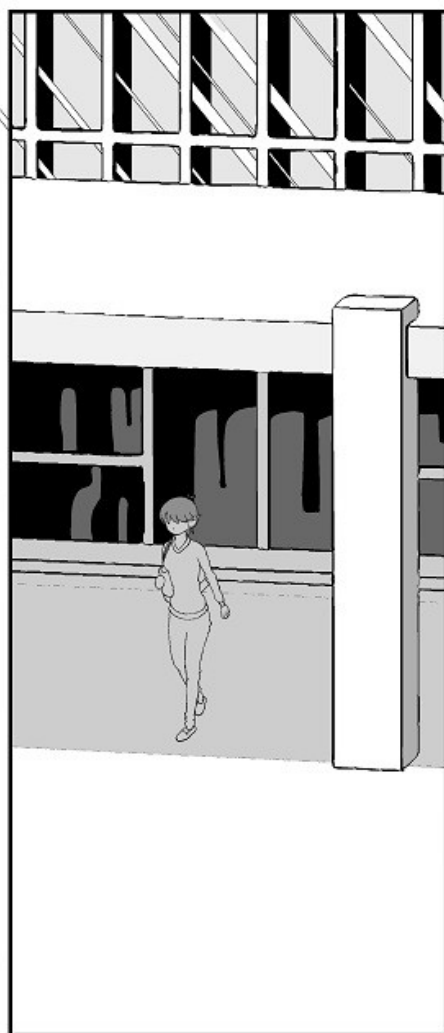
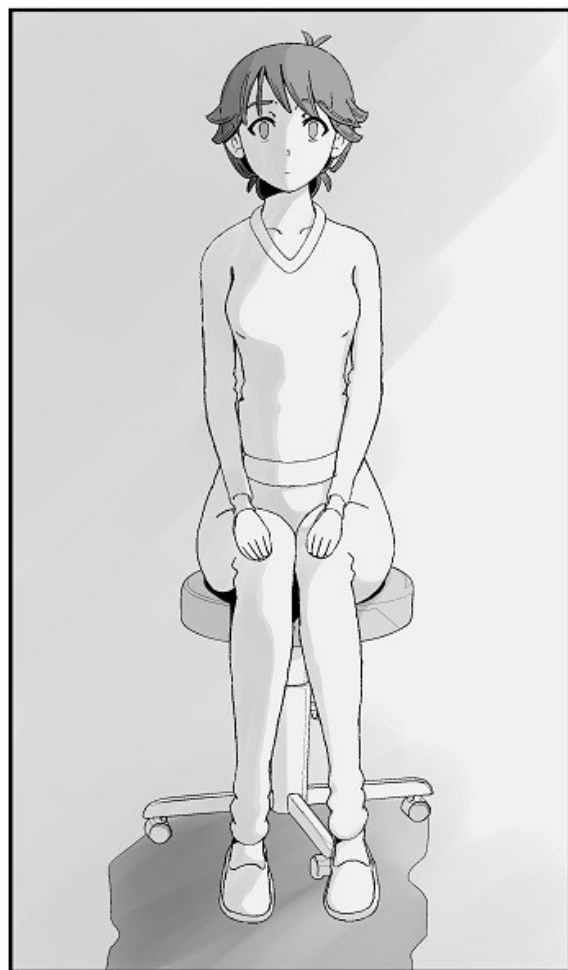
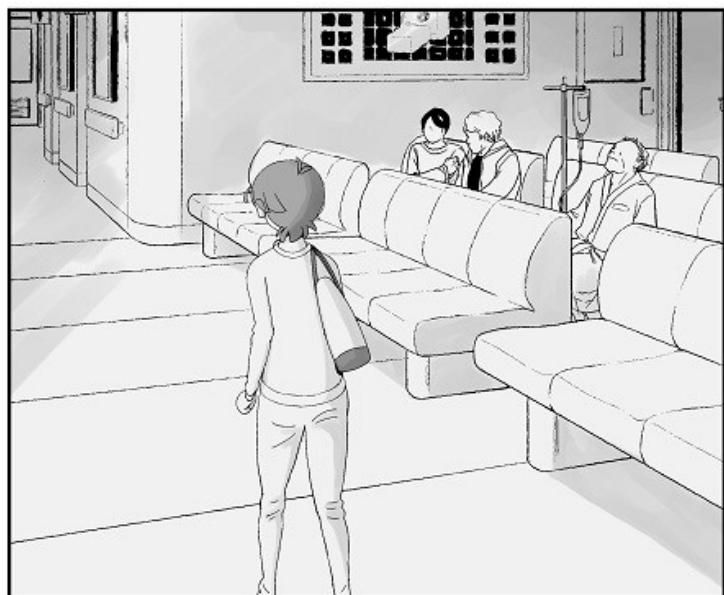


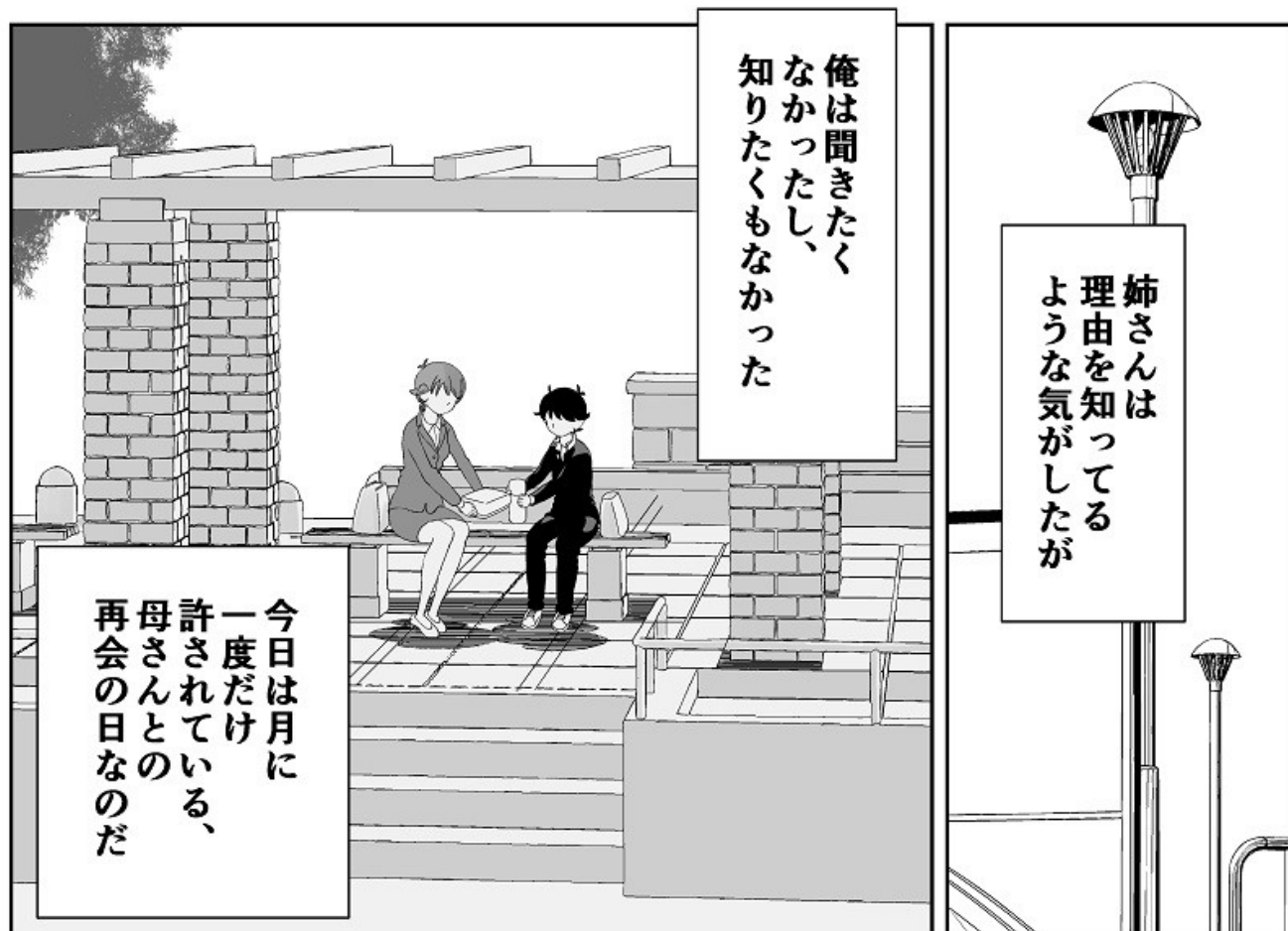


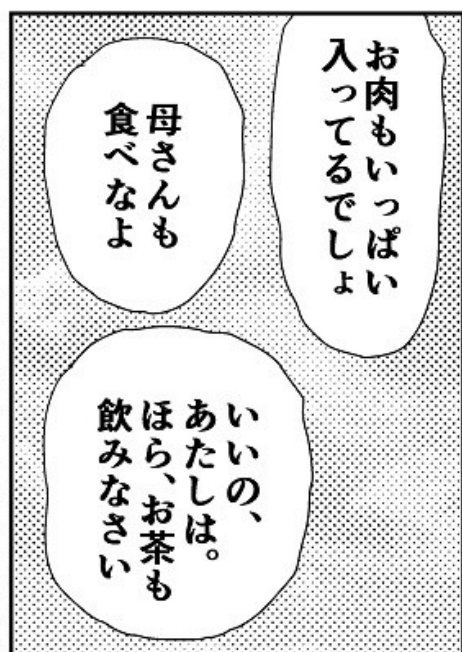
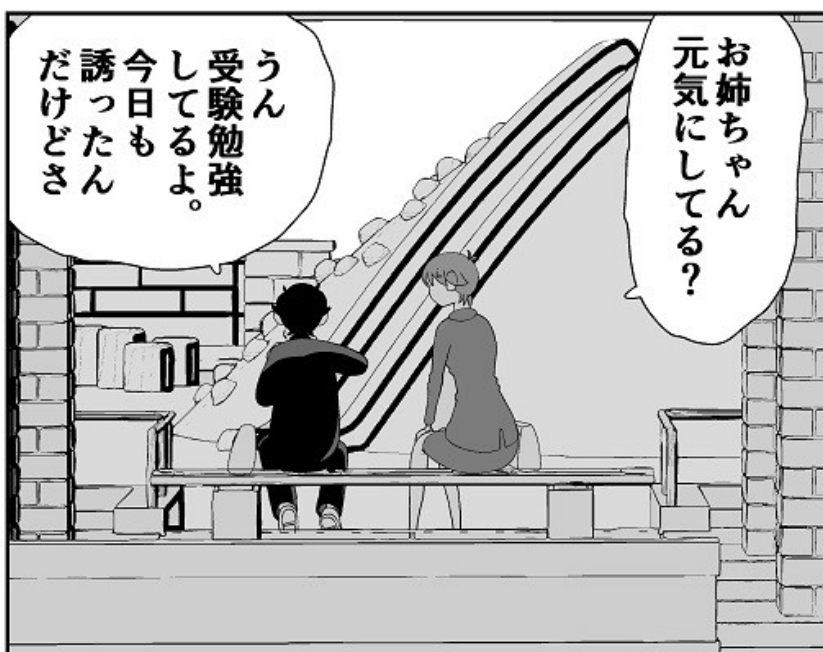
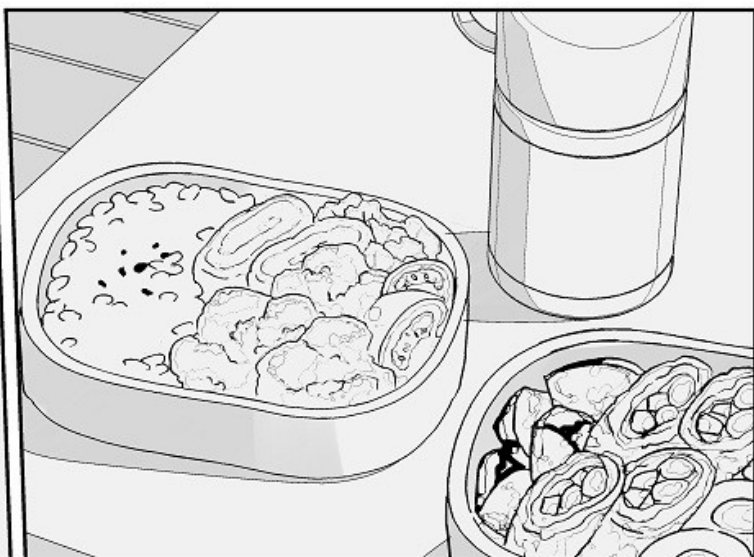










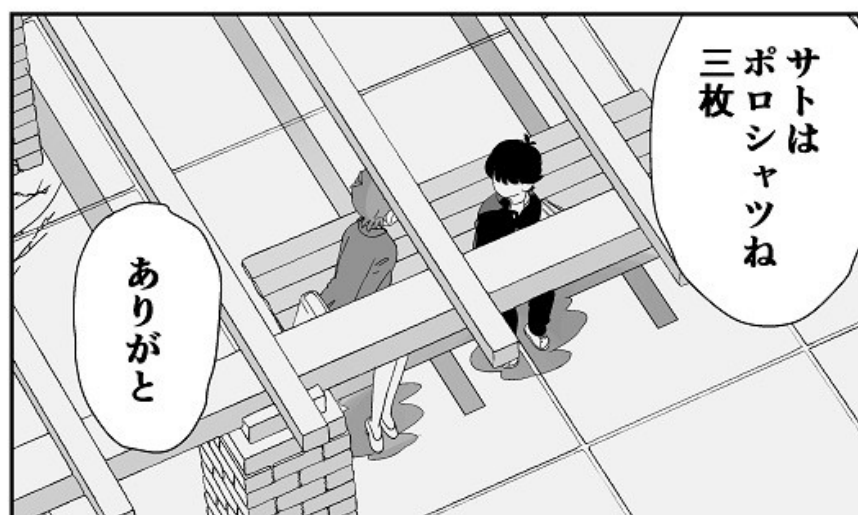




これ、
夏用の
ワンピース

お姉ちゃん
水色好きだから

うん



サトは
ポロシャツね
三枚

ありがとう



姉さんは
母さんが
出ていったあと
俺たちのご飯を
毎日作って
くれている

母さんのことは
絶対に許して
ないみたいだ



母さんは
今日も
スーツだった

どこかの会社に
勤めているのは
分かるが、
誰と住んでいるか
一人なのか
知らない



会える時間は
限られている

あまり
長くいると
弁護士の人に
怒られるらしい



それとこれ
おこづかい

いいよ

駄目。それと
こっちの封筒は
お父さんに
渡してね



